

## 2 特別の選考

特別の選考の種類	特別の選考の実施											その他	272 ページ	特 免			
	特別の選考の実施状況	特別免許状の活用状況	英語の資格	能 や 実 績	芸 術 の 技 ・ ス ポ ー ツ	動 機 経 験	国 際 貢 献 活	民 間 企 業 等	教 職 経 験	塾 一 教 師 養 成	望 学 大 学 院 進 了 希				地 域 等 特 定 教 科 ・		
	参照ページ	特別免許状の活用	170 ページ	179 ページ	197 ページ	205 ページ	226 ページ	256 ページ	261 ページ	264 ページ	特 免				特 免		
1 北海道	○	○			○			○	○			○					
2 青森県	○	○	○	○	○			○	○								
3 岩手県	○	○			○	○		○	○			○				博士号取得者	○*
4 宮城県	○								○								
5 秋田県	○	○			○	○		○	○							栄養教諭、博士号取得者	○*
6 山形県	○	*			○			○	*	○						教職大学院修了見込者	
7 福島県	○								○								
8 茨城県	○	○			○			○	○	○						大学等推薦	
9 栃木県	○	○	○		○	○		○	○	○						若手人材、特別支援学級担当等経験者	
10 群馬県	○	*	○		○*			○	*	○							
11 埼玉県	○	○	*		*	*		○	○	○						大学推薦	○*
12 千葉県	○	○						○	*			○	○				
13 東京都	○				○	○*				○		○	○				
14 神奈川県	○	○	○		○	○		○	*	○		○	○				
15 新潟県	○	○*			○			○*	○*								
16 富山県	○	○*	○		○	○		○		○		○	○			調理師、建築士、情報処理資格、医療資格	
17 石川県	○		○						○								
18 福井県	○				○							○				教育エキスパート(中高一貫、産業教育)、グローバル教育(英語)	
19 山梨県	○	○*	○		○			○*	○*	○		○					
20 長野県	○	○								○*						特別支援推進、博士号取得者、補欠合格者、大学推薦	○
21 岐阜県	○		○		○			○*								理工系、多文化共生	
22 静岡県	○	○				○		○*	○*	○		○	○			医療機関等勤務経験者	○
23 愛知県	○	○	○		○	○		○	○	○		○				外国語(ポルトガル、スペイン、中国語)堪能者、昨年度補欠者、介護理由退職者、教職大学院修了見込み者、特別支援教育担当	
24 三重県	○	*			○			○	*	○							
25 滋賀県	○				○												
26 京都府	○	○			○	○		○	○	○						英語ネイティブ、大学推薦	○
27 大阪府	○	○	○			○		○	○	○		○	○			理科教育推進、大学等推薦、特別支援教育推進、教員チャレンジテスト成績優秀者	
28 兵庫県	○	○						○	○								
29 奈良県	○	○	○					○	○	○		○*					
30 和歌山県	○	○			○	○										博士号取得者	○*
31 鳥取県	○	○			○			○	○	○							
32 島根県																	
33 岡山県	○	○	○	○	○			○	○	○		○				[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者	
34 広島県	○	○			○*	○*		○	○	○						グローバル人材(教職経験者(英語)(外国人留学生等)	○
35 山口県	○	○			○	○		○	○		○*					看護科教諭、博士号取得者	○*
36 徳島県	○	○			○			○	○	○							
37 香川県	○	○						○	○	○						実習助手・寄宿舎指導員	
38 愛媛県	○				○					○							
39 高知県	*	*						*	*								
40 福岡県	*																
41 佐賀県	○				○			○				○				小学校受験者で中・高英語免許状所有(見込み)者	
42 長崎県	○				○			○									
43 熊本県	○							*				○					
44 大分県	○	○			○			○	○								
45 宮崎県	○	○			○			○	○								
46 鹿児島県	○	○*			○			○*	○*	○*							
47 沖縄県	○*				○*											特定資格保有者	



(1) 英語の資格による特別の選考

(青森県)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校 英語	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格に加え、 1.出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者 2.出願時に実用英語技能検定試験1級、TOEIC860点以上、TOEFL PBT600点以上(CBT250点以上、iBT100点以上)のいずれかの資格等を有する者 3.免許状を有しない場合は、上記1.2.に加え、5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること							
資格要件の確認方法	実用英語技能検定試験合格証明書、TOEICやTOEFLのスコアシートの写しを提出							
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接 第二次試験:面接(模擬授業・個人面接)、適性検査、小論文、実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			2				2
	平成26年度採用者数(名)			0				0
	平成27年度受験者数(名)			1				1
	平成27年度採用者数(名)			0				0
	平成28年度受験者数(名)			2				2

(栃木県)

選考名称	英語の資格により一部試験を免除した選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	44	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、さらに、下記1.~3.のいずれかの資格を有する者。 1.TOEFL600点以上(インターネット形式100点以上)取得者 2.TOEIC900点以上取得者 3.実用英語技能検定(財団法人日本英語協会)1級合格者 ※1.2.については平成23年4月1日以降に資格を得た者(今年度実施試験の場合)							
資格要件の確認方法	証明する書類の写しを提出させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	対象となった者については、第1次試験の学力試験のうち英語の専門科目を免除し、一般教養と面接のみ行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		0	7				7
	平成26年度採用者数(名)		0	1				1
	平成27年度受験者数(名)		0	7				7
	平成27年度採用者数(名)		0	2				2
	平成28年度受験者数(名)		1	3				4

(群馬県)

選考名称	英語科教員特別選考試験	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	中学校及び高等学校の英語受験者	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ						
	(具体的に)		満	59	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級合格者、TOEFL、iBT100点以上取得者又はTOEIC900点以上取得者(ただし、TOEFL及びTOEICについては平成25年7月以降に取得している人)								
資格要件の確認方法	実用英語技能検定合格証の写し、TOEFL及びTOEIC得点証明書を提出								
選考方法・試験内容	「中学校教育に関する科目(英語)」若しくは、「高等学校に関する科目(英語)」のみ受験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)		3	6				9	
	平成26年度採用者数(名)		0	3				3	
	平成27年度受験者数(名)		4	3				7	
	平成27年度採用者数(名)		4	2				6	
	平成28年度受験者数(名)		4	4				8	

(神奈川県)

選考名称	英語資格所有者	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・英語	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ						
	(具体的に)		満	59	歳以下				
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成28年3月31日までに取得見込みの人で、TOEIC(IPテストは除く)900点以上、TOEFL-iBT(インターネット版TOEFL)100点以上、実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)1級のいずれか一つのスコアや級の取得者								
資格要件の確認方法	資格の原本提示								
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち、教科専門試験を免除								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)		3	18				21	
	平成26年度採用者数(名)		1	9				10	
	平成27年度受験者数(名)		3	37				40	
	平成27年度採用者数(名)		1	13				14	
	平成28年度受験者数(名)		2	33				35	

(富山県)

選考名称	特別選考 特定資格		新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用			無			
募集人員	若干名		年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)								満
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成28年3月31日までに取得見込みであり、以下の受検種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者 全ての種目…臨床心理士、中高理科(全科目)・工業(業業)…薬剤師、中高英語…TOEIC860点以上・TOEFL iBT100点以上又はPBT600点以上・実用英語技能検定1級、中高家庭…調理師、中高工業(建築)…1級建築士、中高看護…看護師、助産師、保健師、中高情報…情報処理技術者試験合格者(詳細は実施要項参照)、中高福祉…介護福祉士・医師・看護師、特別支援学校…理学療法士、作業療法士、言語聴覚士								
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			10					10
	平成26年度採用者数(名)			6					6
	平成27年度受験者数(名)			8					8
	平成27年度採用者数(名)			2					2
平成28年度受験者数(名)			12					12	

(石川県)

選考名称	英語に係る資格を有する英語受験者を対象とした選考		新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	中高・英語		特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)								満
資格要件	一般選考の受験資格を全て満たす中学校教諭等及び高等学校教諭等の英語受験者のうち、平成25年4月1日以降に、次のいずれかを取得した者 ・実用英語技能検定1級合格 ・TOEFL iBT 100点以上 ・TOEIC 900点以上								
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書と資格証明書の写しを提出、試験初日には資格証明書の原本を提示								
選考方法・試験内容	一般選考の試験内容から、筆記試験における教科専門を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			8	中に含む				8
	平成26年度採用者数(名)			1	3				4
	平成27年度受験者数(名)			5	中に含む				5
	平成27年度採用者数(名)			0	2				2
平成28年度受験者数(名)			9	中に含む				9	

(山梨県1)

選考名称	小学校英語教育推進特別選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	39	歳以下			
資格要件	次の1.~4.のいずれかの資格を有する者 1. 中学校教諭の英語の免許状又は高等学校教諭の英語の免許状を有する者(取得見込みを含む) 2. TOEFL筆記テスト 500点以上・インターネット方式(iBT) 61点以上 3. TOEIC 650点以上 4. 実用英語技能検定2級合格者							
資格要件の確認方法	スコアや資格を証明する書類(合格証等)の写しを出願時に提出させる。また、第二次検査日に、証明する書類(合格証等)の実物を提示させる。							
選考方法・試験内容	第二次検査において、小学校英語教育推進特別選考の基準に満たない場合は、一般選考(小学校)の基準で再度判定する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	21						21

(山梨県2)

選考名称	英語に関して特別な資格のある人を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校英語、高校英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	39	歳以下			
資格要件	TOEFL筆記テスト 600点以上、インターネット方式(iBT) 100点以上、TOEIC(財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会) 860点以上、実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会) 1級合格者							
資格要件の確認方法	スコアや資格を証明する書類(合格証等)の写しを出願時に提出させる。また、第二次検査日に、証明する書類(合格証等)の実物を提示させる。							
選考方法・試験内容	第一次検査において、英語の専門教養検査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		1	1				2
	平成26年度採用者数(名)		0	1				1
	平成27年度受験者数(名)		1	0				1
	平成27年度採用者数(名)		1	0				1
	平成28年度受験者数(名)		0	4				4

(岐阜県)

選考名称	英語特別選考	新規・継続		継続					
対象となる校種・教科	高等学校・英語	特別免許状の活用		無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	高度の英語表現能力を有し、次に挙げるいずれかの検定試験で基準を満たす成績を収めた者 1. TOEIC: 860点以上 2. TOEFL: 600点以上 (CBT: 250点以上、iBT: 100点以上) 3. 実用英語技能検定: 1級								
資格要件の確認方法	出願時に成績を証明する書類の写しを提出								
選考方法・試験内容	第1次選考試験において、筆記試験をスピーチとディスカッションによる口頭試験に代える。他は一般受験生と同一。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)			13				13	
	平成26年度採用者数(名)			3				3	
	平成27年度受験者数(名)			8				8	
	平成27年度採用者数(名)			6				6	
	平成28年度受験者数(名)			8				8	

(愛知県)

選考名称	英語有資格者特別選考	新規・継続		継続					
対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校・英語	特別免許状の活用		無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	次のいずれかの要件を満たす人 ア TOEFL(国際教育交換協議会)において、PBT580点以上又はiBT92点以上(平成25年7月以降の得点に限る)を取得した人 イ TOEIC(財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)において、860点以上(平成25年7月以降の得点に限る)を取得した人 ウ 実用英語検定(財団法人日本英語検定協会)1級を平成25年7月以降に取得した人								
資格要件の確認方法	出願資格を満たすことを証明する書類として、主催者団体が発行する公式認定書又は合格証明書(いずれも原本に限る)を出願時に提出する。								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第2次試験の実技試験を免除する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)		19	34	1			54	
	平成26年度採用者数(名)		1	16	0			17	
	平成27年度受験者数(名)		13	35	0			48	
	平成27年度採用者数(名)		4	21	1			26	
	平成28年度受験者数(名)		5	28	0			33	

(大阪府)

選考名称	英語教育推進の選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	「中学校・中学部」及び「高校・高等部」の英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 50 歳以下					
資格要件	次の1.から4.のいずれかの資格の合格者又はスコア取得者で、1.については平成27年3月31日までに取得している者、2.3.4.については平成25年4月1日から平成27年3月31日までに受験し、スコアを取得している者。 1.実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)1級 2.TOEFL iBT 80点以上 3.IELTS 6.5以上(アカデミックモジュールに限る。オーバーオール・バンドスコア) 4.TOEIC 880点以上(公開テストに限る)							
資格要件の確認方法	1.は『合格証書』、『合格証明書』、『Certification Card』のいずれか、2.は『受験者用控えスコア票(Examinee Score Report)』、3.は『成績証明書(Test Report Form)』、4.は『公式認定証(Official Score Certificate)』の写しを出願時に添付。第2次選考の面接テスト受験当日に資格要件を証明する書類の原本を提示。							
選考方法・試験内容	第1次選考:面接テスト 第2次選考:面接テスト、実技テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	17	73	0	0	0	90
	平成26年度採用者数(名)	0	5	28	0	0	0	33
	平成27年度受験者数(名)	0	11	49	0	0	0	60
	平成27年度採用者数(名)	0	2	20	0	0	0	22
	平成28年度受験者数(名)	0	7	62	0	0	0	69

(奈良県)

選考名称	小学校英語教育推進特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	採用予定数を明示する	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に) 10名程度		満 50 歳以下					
資格要件	小学校教諭の普通免許状以外に英語の中学校又は高等学校教諭普通免許状所有(平成27年3月31日までの取得見込みを含む)、若しくは、実用英語技能検定(日本英語検定協会)2級合格以上、TOEFL(国際教育交換協議会)PBT500点以上若しくはCBT173点以上、iBT61点以上取得又は、TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)650点以上取得のうち、いずれかの資格を所有する人							
資格要件の確認方法	第1次試験時の教員免許証コピー、資格証明書コピーの提出							
選考方法・試験内容	第2次試験で英語力を確認する個人面接を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	21						21
	平成27年度採用者数(名)	3						3
	平成28年度受験者数(名)	15						15

(岡山県・岡山市)

選考名称	特別選考A[英語の資格による特別選考]		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	1.中学校・高等学校の「英語」 2.高等学校の「数学・理科」		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	<p>1. 次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(iBT)100点以上取得者又はTOEIC870点以上取得者(公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成25年7月11日以降に受験したものに限る。</p> <p>2. 次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。ただし、志望する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は取得見込みでない者も出願することができる。 (イ)実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)準1級合格者、TOEFL(iBT)80点以上取得者又はTOEIC730点以上取得者(公開テストによるスコアのみを対象とする。)。ただし、TOEFLとTOEICについては平成25年7月11日以降に受験したものに限る。 (ウ)出願する教科(科目)の高等学校教諭普通免許状を有する者、又はそれと同等の知識・能力を有すると岡山県教育委員会教育長が認めた者。</p>								
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び実施団体の発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写しを提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			2	18				20
	平成26年度採用者数(名)			1	5				6
	平成27年度受験者数(名)			7	14				21
	平成27年度採用者数(名)			0	5				5
	平成28年度受験者数(名)			8	21				29

(さいたま市)

選考名称	小学校英語教育推進特別選考		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	58	歳以下		
資格要件	<p>小学校における英語教育を推進する意欲があり、小学校教諭普通免許状を所有している(平成28年3月31日までに取得見込みも含む)とともに、次のいずれかに該当する者。</p> <p>1. 中学校教諭の英語の普通免許状を所有している(平成28年3月31日までに取得見込みも含む)者。</p> <p>2. 実用英語技能検定(日本英語検定協会)準1級以上合格者。</p> <p>3. TOEFL(国際教育交換協議会)550点以上(iBTの場合は80点以上)取得者。</p> <p>4. TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)730点以上取得者。</p> <p>*上記2.~4.の資格の有効期限は設定していない。</p>								
資格要件の確認方法	中学校教諭の英語の普通免許状の写し(取得見込み証明書)又は英語に関する資格について各実施団体が発行する証明書の写しの提出								
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、筆答試験を免除し、面接試験(集団面接と英語による集団面接)を実施。第2次試験において、小学校教員の実技試験のほか、英語に関する実技試験を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
	平成28年度受験者数(名)			12					12

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅳ(英語資格所有者 特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・英語		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	TOEIC(IPテストは除く)730点以上、TOEFL-iBT(インターネット版TOEFL)80点以上、実用英語技能検定準1級以上のいずれか一つのスコアや級を取得し、必要とする証明書等を提出できる人							
資格要件の確認方法	第2次試験(実技試験)当日に、資格に関わる証明書等の原本を確認するとともに写しを提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、一般教養・教職専門試験、集団討論 第2次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		-					0
	平成26年度採用者数(名)		-					0
	平成27年度受験者数(名)		13					13
	平成27年度採用者数(名)		4					4
	平成28年度受験者数(名)		17					17

(相模原市)

選考名称	英語資格所有者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・英語		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	中学校・英語の教諭普通免許状を所有している人又は平成28年3月31日までに取得見込みの人で、TOEFL-iBT(インターネット版TOEFL)80点以上、TOEIC(IPテストは除く)730点以上、実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)準1級以上のいずれか一つのスコアや級の取得者							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、資格に関わる証明書の写しを提出							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、教科専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		11					11
	平成26年度採用者数(名)		3					3
	平成27年度受験者数(名)		17					17
	平成27年度採用者数(名)		3					3
	平成28年度受験者数(名)		6					6

(新潟市)

選考名称	中学校教諭「英語」受験者特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校教諭 英語	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	受験資格を満たしている人で、中学校教諭「英語」を受験し、以下のa～cのいずれかの条件を満たす人 a 実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会)1級合格者 b TOEFLのiBT110点以上 c TOEIC945点以上							
資格要件の確認方法	a～cのいずれかを証明する書類の写しを出願時に提出。							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)							0

(2) スポーツ・芸術での技能や実績による特別の選考

(北海道・札幌市)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	養護教諭及び栄養教諭を除く全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	小・特小・ 中・特中39、 高・特高49	歳以下		
資格要件	1.スポーツの分野において、国際的規模の競技会に日本代表として出場した者又は日本選手権若しくはこれに準ずる全国規模の大会において優秀な成績を収めた者 2.音楽、美術等の芸術の分野において、国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者又は全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な実績を納めた者 3.その他上記に準ずる程度の顕著な活動経験又は技能を有する者で、その経験等が児童生徒への教育効果の面で特に期待できるもの								
資格要件の確認方法	新聞記事や表彰状等の証明になる資料の写しを出願時に提出し、第2次検査時に当該資料の原本を確認する。								
選考方法・試験内容	第1次検査については免除。第2次検査については一般選考と同様である。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			3	2	1			6
	平成26年度採用者数(名)					1	1		2
	平成27年度受験者数(名)					2			2
	平成27年度採用者数(名)								0
				2					2

(青森県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全教科・校種		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格に加え、スポーツの分野において、平成22年4月1日以降、以下の実績を有する者 1. 国際的又は全国的規模の大会で、特別に優秀な実績を有する者 2. 上記1.を指導育成した実績を有する者								
資格要件の確認方法	賞状や新聞記事の写し、団体競技の場合はメンバー表等の写しを提出								
選考方法・試験内容	(1)書類審査、(2)面接審査、(3)最終選考(第二次試験と同じ内容(ただし、小学校受験者は体育実技を、中高保健体育受験者は実技試験の全部を免除する。))								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		1	2	7				10
	平成26年度採用者数(名)								0
	平成27年度受験者数(名)				1	8			9
	平成27年度採用者数(名)								0
				1	8				9

(岩手県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・高等学校		特別免許状の活用		有				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	国民体育大会正式競技において、平成24年度以降に行われた国際大会又は全国大会で、優秀な成績を有する者								
資格要件の確認方法	実績を証明する表彰状や新聞記事等の写しを提出させ確認								
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			13	26				39
	平成26年度採用者数(名)			0	2				2
	平成27年度受験者数(名)			10	21				31
	平成27年度採用者数(名)			1	3				4
	平成28年度受験者数(名)			5	15				20

(秋田県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校教諭等		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	高等学校卒業後に、国際レベルの大会(オリンピック、世界選手権等)に日本代表選手として出場した者								
資格要件の確認方法	志願書、最終学校の卒業(見込み)証明書、在職証明書、実績証明書、所持資格の証明書の写し								
選考方法・試験内容	第一次選考試験:総合教養、小論文、面接 第二次選考試験:模擬授業、小論文、面接、適性検査								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				3				3
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				4				4
	平成27年度採用者数(名)				0				0
	平成28年度受験者数(名)				3				3

(山形県)

選考名称	スポーツ特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校・保健体育	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 44 歳以下					
資格要件	一般選考の志願資格を有し、高等学校卒業後、次に掲げる競技種目において、国際大会に日本代表で出場した者又は全国レベルの大会で3位以上の成績を収めた者。ただし、団体競技等にあつては選手として登録された者に限る。(競技種目：陸上競技、体操、野球、ソフトテニス、卓球、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ソフトボール、バドミントン、柔道、剣道、水泳、スキー、レスリング、ボクシング、フェンシング、ウエイトリフティング、自転車、ホッケー、アーチェリー、スケート)							
資格要件の確認方法	「スポーツ特別選考調書」(様式は県ホームページよりダウンロード)及び実績を証明できる書類の写し							
選考方法・試験内容	第一次選考試験は「小論文」及び「面接」。第二次選考試験は一般選考と同様に実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)			18				18
	平成27年度採用者数(名)			1				1
平成28年度受験者数(名)			8				8	

(茨城県)

選考名称	スポーツ指導者特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	一般選考で採用する中学校・高等学校の全教科・科目	特別免許状の活用	無					
募集人員	採用予定数を明示する	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に) 中学校は2種目各1名程度 高等学校は1種目1名程度		満 44 歳以下					
資格要件	一般選考の受験資格を満たした者で、県教委が示した競技種目において、指導実績又は競技実績のいずれかで示された要件を満たす方。いずれの場合も国際大会又は国民体育大会等での実績が必要。							
資格要件の確認方法	スポーツ実績一覧(様式あり)及び実績を証明できる書類の写し、若しくは指導育成の履歴一覧及び指導者と指導した選手の要件に係る関係を明らかにする書類を提出する。							
選考方法・試験内容	第1次試験は一般選考と同様に行い、第2次試験は適性検査と特別選考面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		5	9				14
	平成26年度採用者数(名)		3	6				9
	平成27年度受験者数(名)		1	4				5
	平成27年度採用者数(名)		1	2				3
平成28年度受験者数(名)		2	1				3	

(栃木県)

選考名称	スポーツの実績により一部試験を免除した選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の全ての教科・科目	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	44	歳以下			
資格要件	・A選考(指導実績)・・・指定種目あり。中学生以上の全国的な規模以上の大会に出場した者を直接指導した実績を有する者。 (競技実績)・・・全国的な規模以上の大会において優秀な成績を収めた者。 ・B選考(ハイレベルな競技実績)・・・指定種目なし。世界レベルの競技会に日本代表として出場した者、全国的な規模の大会において特に優秀な成績を収めた者。							
資格要件の確認方法	大会の成績調書及び大会要項、実績を証明できるものを提出させ、書類選考を実施。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果対象となった者は、一般教養試験を免除し、専門科目試験と集団面接を実施する。ただし、保健体育で出願する者は1次試験の全てを免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	8	53	71	11	3		146
	平成27年度採用者数(名)	0	7	8	5	0		20
	平成28年度受験者数(名)	-	38	57	-	-		95

(群馬県)

選考名称	スポーツ特別選考試験	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	中学校及び高等学校の保健体育受験者	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	高等学校卒業後に、国際規模の競技会(オリンピック競技大会、世界選手権大会、アジア大会等)に日本代表として出場した人又は、全国規模の競技会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本学生選手権大会及びこれに準ずる大会)で、4位以上の成績を収めた人							
資格要件の確認方法	スポーツ特別選考実績報告書、実績を証明できる書類の写し							
選考方法・試験内容	「中学校に関する科目(保健体育)」若しくは、「高等学校に関する科目(保健体育)」のみ受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							-
	平成26年度採用者数(名)							-
	平成27年度受験者数(名)							-
	平成27年度採用者数(名)							-
	平成28年度受験者数(名)		13	25				38

(東京都)

選考名称	スポーツ・文化・芸術特別選考		新規・継続		継続					
対象となる校種・教科	一般選考で募集している中高共通・教科(科目等)		特別免許状の活用		無					
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)				満	39	歳以下			
資格要件	必要な免許状や年齢要件等は一般選考と同様。次のいずれかの実績を有する者が申込み可能。 1. スポーツの分野において、国際大会(オリンピック、世界選手権大会、アジア大会及びこれらに準ずる国際大会)又は全国大会(国民体育大会、全日本選手権大会)で優秀な実績(国際大会においては日本代表として出場、全国大会においては原則として8位以内入賞)を有する者(ただし、大学以降の実績に限るとともに、団体競技にあつては正選手として登録され出場した者に限る。)又はこれらの者を指導育成した実績(経験)を有する者 2. 文化・芸術の分野において国際レベルのコンクール・展覧会等に日本代表若しくはこれに準じる資格により出場した者、全国レベルのコンクール・展覧会等において入賞以上の成績を収めた者(ただし、大学以降の実績に限る。)又はこれらの者を指導育成した実績(経験)を有する者									
資格要件の確認方法	出願時に「正選手としての参加の有無」、「大会規模」、「参加者数」、「芸術分野の賞の相当する順位」など実績の証明できる新聞記事、表彰状等の写し若しくは指導育成の履歴書を申込時に提出する。									
選考方法・試験内容	個人面接及び論文									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)									10
	平成26年度採用者数(名)									6
	平成27年度受験者数(名)									8
	平成27年度採用者数(名)									4
平成28年度受験者数(名)									0	

(神奈川県)

選考名称	スポーツ・芸術実績者		新規・継続		継続					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校(音楽、美術、保健体育)対象		特別免許状の活用		無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)				満	59	歳以下			
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成28年3月31日までに取得見込みの人で、国際的又は全国規模の競技会、コンクール、展覧会等における、教科に関する高等学校以降の特別に優秀な実績(平成19年4月1日以降の実績に限る)があり、学校教育活動に活かされると神奈川県教育委員会が認める人									
資格要件の確認方法	賞状、新聞記事等の提示									
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち、教科専門試験を免除									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)			7	34					41
	平成26年度採用者数(名)			1	2					3
	平成27年度受験者数(名)			6	26					32
	平成27年度採用者数(名)			1	1					2
平成28年度受験者数(名)			5	21					26	

(新潟県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考制度		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	教育職員免許状等の教員採用における資格を満たしており、次の各条件のいずれかを満たす者。 ア スポーツの分野において、オリンピック、又はそれに相当する世界大会レベルの競技会出場経験があり、優秀な成績を収めた者。 イ 美術、音楽、演劇等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等において優秀な成績を収めた者。							
資格要件の確認方法	受験者本人の申し出による書類選考(表彰状、競技会の結果報告書、競技団体等の証明書等を含む)							
選考方法・試験内容	・書類選考により選ばれた者について面接を行い、審査を経て選考する。 ・出願の期間は設けず、随時募集する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)			1				1

(福井県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考①スポーツ分野		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	7名程度(一般選考の採用予定者数に含める)			満	59	歳以下	
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、国民体育大会の正式競技及び硬式野球において、次に掲げる実績を平成22年4月1日以降に収め、それ以後も引き続き活動を続けている者 1. 国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会及びこれに準ずる大会)に日本代表として出場した者 2. 全国レベルの大会(日本選手権大会及びこれに準ずる大会)において団体種目はベスト4以上、個人種目はベスト8以上の成績を収めた者(ただし、団体種目については正選手として出場した者に限る。また、教職員の全国大会や、全国大会の2部は除く。)							
資格要件の確認方法	大会の賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書又は日本代表として出場したことを証明する書類の提出							
選考方法・試験内容	小論文、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2	25					27
	平成26年度採用者数(名)	1	1	1	3			6
	平成27年度受験者数(名)	1	28		1			30
	平成27年度採用者数(名)			2	5			7
	平成28年度受験者数(名)							25

(富山県)

選考名称	特別選考 スポーツ実績	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中高 保健体育	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成28年3月31日までに取得見込みであり、以下の1.又は2.に該当する者 1. 国際規模の競技会(オリンピック大会、世界選手権、アジア大会等)に日本代表として出場した競技者又はその指導者 2. 全国規模の競技会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本学生選手権大会、及びこれに準ずる大会)で4位以上の成績を収めた競技者又はその指導者							
資格要件の確認方法	特別選考「スポーツ実績」報告書と、特に優れた競技実績の賞状・記録証の写し又は競技団体が発行する成績証明書等を提出させる。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		24					24
	平成26年度採用者数(名)		4					4
	平成27年度受験者数(名)		25					25
	平成27年度採用者数(名)		5					5
	平成28年度受験者数(名)		20					20

(山梨県)

選考名称	スポーツ実績による特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校保健体育、高等学校保健体育	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 39 歳以下					
資格要件	世界レベルのスポーツの競技会に日本代表として出場した者、又は、全国的な規模の大会で特に優秀な成績を収めた者							
資格要件の確認方法	スコアや資格を証明する書類(賞状等)の写しを出願時に提出させる。また、第二次検査日には実物を提示させる。							
選考方法・試験内容	第一次検査において、保健体育の専門教養検査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		1	5				6
	平成26年度採用者数(名)		0	0				0
	平成27年度受験者数(名)		0	5				5
	平成27年度採用者数(名)		0	0				0
	平成28年度受験者数(名)		0	5				5

(岐阜県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校・保健体育、高等学校・保健体育		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	高等学校卒業後に、スポーツの分野で、国際レベルの大会に日本代表として出場した者、又は全国レベルの大会でベスト4以上の実績を有する者							
資格要件の確認方法	出願時に実績調書とその根拠資料を提出させ、それをもとに判定会議を実施。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験において、筆記試験を免除し面接のみ行う。他は一般受験生と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		6	31				37
	平成26年度採用者数(名)		1	5				6
	平成27年度受験者数(名)		10	20				30
	平成27年度採用者数(名)		4	1				5
	平成28年度受験者数(名)		4	23				27

(愛知県)

選考名称	芸術(音楽・美術)・スポーツ特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	芸術(音楽・美術)の分野又はスポーツの分野において次の要件を満たす人 ア 芸術分野 音楽又は美術の分野において次のいずれかに該当する人(小・中学校における実績は除く。) (ア) 平成17年7月以降に国際レベルのコンクール、展覧会で優秀な成績を収めた人 (イ) 平成17年7月以降に全国レベルのコンクール、展覧会で最優秀相当の成績を収めた人 イ スポーツの分野 スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人 (ア) 平成17年7月以降に国際規模の競技会等に日本代表選手として出場した人 国際規模の競技会等とは、オリンピック競技大会、ユニバーシアード競技大会、アジア競技大会及び原則としてオリンピック実施競技を統括する国際競技連盟が主催する世界選手権大会等 (イ) 平成17年7月以降に全国規模の競技会等において優勝した人(小・中学校における実績は除く) 全国規模の競技会等とは、国民体育大会及び公益財団法人日本体育協会又は公益財団法人日本オリンピック委員会の加盟団体が主催する全日本選手権大会等							
資格要件の確認方法	「芸術(音楽・美術)・スポーツ特別選考申告書」に実績を証明する書類(特別選考の出願資格を確認できる賞状の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等)を出願時に提出する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	9	14	31	7	1	0	62
	平成26年度採用者数(名)	2	1	5	4	0	0	12
	平成27年度受験者数(名)	2	11	19	5	2	0	39
	平成27年度採用者数(名)	0	3	4	1	0	0	8
	平成28年度受験者数(名)	5	12	27	4	2	0	50

(滋賀県)

選考名称	スポーツ特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	10人程度			満	49	歳以下	
資格要件	スポーツの分野において競技者又は指導者として、次の1.2.の要件のいずれかを満たす場合、提出された書類の審査の結果によりスポーツ特別選考を受験することができる。ただし、競技者として申し込む場合は、実績が高等学校卒業後のものに限る。また、指導者として申し込む場合は、競技指導における監督に限る。1.国際規模の競技会等に日本代表選手として出場した競技者又はその指導者 2.全国規模の競技会等において8位以上の成績を収めた競技者又はその指導者							
資格要件の確認方法	出願時に所定の「スポーツ特別選考実績報告書」及び実績を証明する書類(賞状の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等)を提出する。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験における一般教養・教職教養、専門教科・科目の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		5	22	1			28
	平成27年度採用者数(名)		3	7	1			11
	平成28年度受験者数(名)		5	25	1			31

(京都府)

選考名称	スペシャリスト特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・保健体育		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	10名以内			満	49	歳以下	
資格要件	保健体育の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する方、選手として、国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において優秀な成績を収めた方、特別免許状の授与条件を満たす方。							
資格要件の確認方法	志願書類として競技成績が確認できる書類(表彰状写し等)を提出させて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践カテスト(実技試験を免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			16				16
	平成26年度採用者数(名)			3				3
	平成27年度受験者数(名)			9				9
	平成27年度採用者数(名)			4				4
	平成28年度受験者数(名)			10				10

(和歌山県)

選考名称	芸術・スポーツ分野特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	芸術分野:音楽、美術、書道等の芸術分野で国際的又は全国規模のコンクール等において上位入賞するなど、優秀な実績を有する人又はその指導者であること。 スポーツ分野:国際大会に日本代表として出場した人又はその指導者であること。全国規模の大会で特に優秀な成績を収めた人又はその指導者であること。							
資格要件の確認方法	実績や成績を客観的に証明できる書類(写し)							
選考方法・試験内容	特選A(教員免許状を有しない人)・・・一次:校種・教科専門、作文、面接 二次:適性検査、論文、実技、面接 特選B(芸術及び保健体育以外の教員免許状を有する人)・・・一次:校種・教科専門、作文、面接 二次:適性検査、実技、面接 一次又は二次で論文 特選C(芸術及び保健体育の教員免許状を有する人)・・・一次:作文、面接 二次:適性検査、論文、実技、面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	13	25	0	0		38
	平成26年度採用者数(名)	0	6	6	0	0		12
	平成27年度受験者数(名)	0	20	25	1	0		46
	平成27年度採用者数(名)	0	9	5	0	0		14
	平成28年度受験者数(名)	1	8	13	2	0		24

(鳥取県)

選考名称	スポーツ・芸術の分野に秀でた者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校教諭、中学校・高等学校教諭共通及び高等学校教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	一般選考の受験資格に加え、高等学校卒業後にスポーツの分野で国際的な大会に日本代表として出場した者若しくは全国的な大会でベスト4以上に入賞した者又は芸術の分野で国際的又は全国的なコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者							
資格要件の確認方法	実績内容を客観的に示す書類							
選考方法・試験内容	選考方法:スポーツ・芸術の分野での実績に応じて加点 試験内容:他の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							21
	平成26年度採用者数(名)		1					1
	平成27年度受験者数(名)							15
	平成27年度採用者数(名)			1				1
	平成28年度受験者数(名)							18

(岡山県・岡山市)

選考名称	特別選考B[スポーツの実績による特別選考]	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校の「保健体育」	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	44	歳以下			
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)平成24年4月1日以降、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場し、8位以上の成績を収めた者。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び大会の賞状の写し又は競技団体が発行する成績証明書(開封無効)を提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		1	0				1
	平成26年度採用者数(名)		0	0				0
	平成27年度受験者数(名)		0	2				2
	平成27年度採用者数(名)		0	0				0
	平成28年度受験者数(名)		1	1				2

(広島県・広島市)

選考名称	スポーツ実績のある者を対象とした特別選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	高等学校(保健体育)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であり、かつ、昭和31年4月2日以降に生まれた者であって、次の要件を満たす者 ・高等学校を卒業していること。又は、高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有していること。 ・高等学校卒業後、全国大会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会及びこれらに準ずる全国大会)で3位以上の成績を収めた者(ただし、団体競技については正選手として出場した者に限る)であること。 採用候補者として登載された場合、該当教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。							
資格要件の確認方法	実績を証明する書類を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:個人面接、グループワーク 第2次試験:個人面接、模擬授業、実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)			30				30

(山口県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	中学校の保健体育、音楽、美術 高等学校の保健体育、芸術(音楽、美術、書道)		特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)					満	49	歳以下	
資格要件	<p>○ 高等学校卒業以降、次の1～4.のいずれかに該当する者で、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの。ただし、成績及び実績は、平成22年4月1日以降のものに限る。</p> <p>□ スポーツ分野(※)</p> <p>1. オリンピックや世界選手権等の国際的な大会に日本代表として出場し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>2. 日本選手権等の全国的な大会のトップレベルの選手が参加する競技の、団体戦若しくは個人戦において、原則としてベスト4以上に入賞し、一定の期間その競技力を維持し、活躍が認められる者(ただし、団体戦の場合には、正選手であった者)又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>(※) スポーツ分野の対象種目</p> <p>陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、スケート、アイスホッケー、スキー、硬式野球、トライアスロン</p> <p>□ 芸術分野</p> <p>3. 国際的なコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めた者又はその者を指導育成した実績を有する者</p> <p>4. 全国的なコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めた者又はその者を指導育成した実績を有する者</p>								
資格要件の確認方法	競技歴や入賞した大会、コンクール等の正式名称、主催者、開催年月日、開催場所、成績等(種目、階級、賞の種類)を作成した者を提出。また、実績が確認できる賞状や新聞記事、団体戦の場合にはメンバー表等の写しを提出。								
選考方法・試験内容	<p>第一次試験: 個人面接(口述試験)、集団面接(討議)</p> <p>第二次試験: 適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接</p>								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			6	10				16
	平成26年度採用者数(名)			3	1				4
	平成27年度受験者数(名)			6	8				14
	平成27年度採用者数(名)			1	0				1
平成28年度受験者数(名)			9	15				24	

(徳島県)

選考名称	スポーツ特別選考ア、イ		新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	中学校教諭 高等学校教諭・保健体育		特別免許状の活用			無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)					満	39	歳以下	
資格要件	<p>ア: 免許状必要 高等学校卒業後、平成22年4月1日以降に、国際レベルの大会(オリンピック大会・アジア大会・世界選手権等)において日本代表として出場、又は日本選手権大会やこれに準ずる全国レベルの大会において優勝又は準優勝した者で、今後も現役選手として活躍できる者。ただし、学生大会やジュニア選手権大会等、参加年齢制限を加えた大会を除く。また、団体種目の場合は、その大会に選手として登録されていた者とする。</p> <p>イ: 免許状必要 高等学校卒業後、日本選手権大会又はこれに準ずる全国レベルの大会において、(個人種目)8位以内に入賞した者(団体種目)4位以内で、かつ、その大会に選手として登録されていた者。</p>								
資格要件の確認方法	実績等の概要及び現在の活動状況をまとめたもの(様式は自由でA4版1枚。校種、氏名を明記)と大会要項、実績を証明できるもの。実績を証明できるものとは、例えば、表彰状、新聞記事等の写しなど。								
選考方法・試験内容	<p>ア: 第1次審査(筆記審査(専門・教養)と実技審査、集団面接審査)を免除する。</p> <p>イ: 第1次審査の筆記審査(専門)を免除する。</p>								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			4	12				16
	平成26年度採用者数(名)			0	1				1
	平成27年度受験者数(名)			5	7				12
	平成27年度採用者数(名)			1	0				1
平成28年度受験者数(名)			6	6				12	

(愛媛県)

選考名称	愛顔(えがお)のえひめスポーツ振興特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	5名程度			満	39	歳以下	
資格要件	国民体育大会の正式競技において、次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者(現在も同一競技における競技活動を継続している者に限る。) (ア)平成22年4月1日以降に、国際競技大会(オリンピック競技大会、世界選手権大会、アジア競技大会及びそれらと同等の国際的な規模のスポーツの競技会をいう。)に日本代表として選ばれた者 (イ)平成24年4月1日以降に、全国大会(国民体育大会、全日本選手権大会、全日本実業団選手権大会、全日本学生選手権大会及びそれらと同等の全国的な規模のスポーツの競技会をいう。)でベスト4以上の成績を収めた者。ただし、高校卒業後の実績とし、団体種目においては、正選手として出場した者とする。							
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しを提出させるとともに、試験当日に現物を確認する。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験の筆記試験の一部(一般教養及び教職専門科目)を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	1	7	0	0	0	9
	平成26年度採用者数(名)	0	0	4	0	0	0	4
	平成27年度受験者数(名)	2	4	9	0	0	0	15
	平成27年度採用者数(名)	0	3	3	0	0	0	6
	平成28年度受験者数(名)	0	2	8	0	0	0	10

(佐賀県)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	スポーツ・芸術の分野において下記に次に示す「特に秀でた技能・実績」を有する者。 1 スポーツの分野において、世界レベルの競技会(国内大会を除く)で優秀な成績を収めた者 2 美術・音楽等の芸術の分野において、世界レベルのコンクール、展覧会等(国内コンクールを除く)で優秀な成績を収めた者							
資格要件の確認方法	大会等の新聞記事、賞状等、実績を証明するもの(実績調書)を提出させ、事務局で照合し確認を行う。							
選考方法・試験内容	一次選考…書類選考 二次選考…小論文、適性検査、面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)			1				1

(長崎県)

選考名称	スポーツ指導者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	平成20年4月1日以降平成27年5月31日までにおいて、国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場した選手の指導者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた選手の指導者。								
資格要件の確認方法	指導者と指導した選手の要件に係る関係を明らかにする書類(大会要項の写し、賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書等)の提出を求める。								
選考方法・試験内容	第1次試験の「教職・一般教養試験」を免除。ただし、保健体育受験者は、実技試験も免除。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				1				1
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				2				2
	平成27年度採用者数(名)				0				0
平成28年度受験者数(名)				1				1	

(大分県)

選考名称	特別選考(Ⅲ)(スペシャリスト特別選考)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	2名			満	40	歳以下		
資格要件	一般選考に必要とされる要件に加え、次の(1)及び(2)の要件を全て満たす者に限る。 (1) 平成18年4月1日以降平成27年5月31日までにおいて、次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 国際レベルの大会に日本代表として出場した団体又は個人を指導した実績を有する者 イ 全国規模の大会でベスト4以上の成績を収めた団体又は個人を指導した実績を有する者 (2) 全国高等学校体育連盟及び日本高等学校野球連盟に大分県が加盟している競技種目の指導者である者								
資格要件の確認方法	本県が示す別紙様式の記載に従い、所属団体等の代表者による、指導歴が示された証明書を提出する。受験資格の要件を満たしているか否かは、審査委員会で審査される。								
選考方法・試験内容	審査委員会で、資格要件を有すると判断されたものは、第1次試験及び第2次試験を免除し、第3次試験はプレゼンテーション及び面接試験を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				5				5
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				2				2
	平成27年度採用者数(名)				1				1
平成28年度受験者数(名)				4				4	

(宮崎県)

選考名称	スポーツ・芸術の分野に係る特別選考試験		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	○スポーツ・芸術の分野において特に秀でた技能・実績を有する者 ・スポーツの分野(バレーボール、自転車、フェンシング)において、大学等に在学中又は社会人として、全国レベルの大会以上の競技会で優秀な成績を収めた者(指導者を含む) ・音楽、美術、演劇等の芸術の分野において、大学等に在学中又は社会人として、世界レベルのコンクール、全国レベルの展覧会等において優秀な成績を収めた者(指導者を含む)							
資格要件の確認方法	技能・実績調書ほか参考資料							
選考方法・試験内容	論文及び個人面接。合格者は一般選考試験の第一次選考試験合格者と共に第二次選考試験を受験。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			24				24
	平成26年度採用者数(名)			2				2
	平成27年度受験者数(名)	1	5	8	3	1		18
	平成27年度採用者数(名)	0	1	2	2	0		5
平成28年度受験者数(名)	1	4	11				16	

(鹿児島県)

選考名称	保健体育特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校中学部高等部の保健体育		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	40	歳以下	
資格要件	(1) 国際レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場した実績を有する者及びその指導者 (2) 日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において、団体3位以内(メンバー)、個人3位以内の実績を有する者及びその指導者							
資格要件の確認方法	出願時に証明書の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
選考方法・試験内容	出願時の証明書をもとに審査会で選考 1次試験における教職教養試験及び体育実技の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			6				6
	平成26年度採用者数(名)			2				2
	平成27年度受験者数(名)		1	5				6
	平成27年度採用者数(名)		1	1				2
平成28年度受験者数(名)			6				6	

(沖縄県)

選考名称	スポーツ・芸術での技能や実績による特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校保健体育、高等学校保健体育、中高共通音楽、中高共通美術		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	45	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格に加え、次のア又はイの条件に該当する者 ア スポーツ分野 中学校教諭等「保健体育」又は高等学校教諭等「保健体育」を受験する者で、秀でた技能・実績を持ち、高等学校卒業後に国際的規模の競技会(オリンピック、ワールドカップ、世界選手権、ユニバーシアード、アジア大会等)に日本代表として出場し、優秀な成績を収めた者やその指導者 イ 芸術分野 中学校・高等学校教諭等(共通)の「音楽」又は「美術」を受験する者で、受験する教科に関連する分野において秀でた技能・実績を持ち、高等学校卒業後に国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者やその指導者								
資格要件の確認方法	大会への参加証明書、大会要項の写し、新聞記事、賞状の写し、競技団体が発行する成績証明書等								
選考方法・試験内容	資格に該当すると認められた者は、第一次試験及び第二次試験を免除し、第三次試験で適性検査、論文試験、個人面接及び模擬授業を受験する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				11				11
	平成26年度採用者数(名)								0
	平成27年度受験者数(名)				7				7
	平成27年度採用者数(名)				1				1
平成28年度受験者数(名)			1	3				4	

(横浜市)

選考名称	特別選考4(スポーツ等特別選考)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	受験資格を満たし、次の実績を収めている人。 (1)スポーツに関する実績 野球(硬式、軟式)、ソフトボール、サッカー、バスケットボール、バレーボール(6人制、9人制)、バドミントン、テニス(硬式、軟式)、卓球、陸上競技、水泳(競泳種目)、柔道、剣道、において、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間にオリンピック、パラリンピック、世界選手権大会、アジア競技大会、東アジア競技大会、ユニバーシアードで入賞の実績(8位以内)がある人。 (2)音楽に関する実績 平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に全日本吹奏楽コンクール全国大会で金賞を受賞した実績がある人。								
資格要件の確認方法	実績の内容を客観的に示す書類の写し(認定証など)								
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考4該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		0	4	0	0	0		4
	平成26年度採用者数(名)		0	0	0	0	0		0
	平成27年度受験者数(名)		0	2		0	0		2
	平成27年度採用者数(名)		0	0		0	0		0
平成28年度受験者数(名)		0	6	0	0	0		6	

(相模原市)

選考名称	スポーツ・芸術実績者	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校(音楽、美術、保健体育)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受験する受験区分・教科の教諭普通免許状を所有している人又は平成28年3月31日までに取得見込みの人で、受験教科に関する分野(スポーツ分野においては対象種目の指定あり)における全国的規模の競技会、コンクール、展覧会等において、個人又は団体成績1位(相当)の実績(高等学校以降の実績に限る)を収めた者(ただし、種目(部門)・大会(コンクール)規模・参加人数等によっては、資格要件に該当しない場合あり。)							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、実績の内容を客観的に証明する書類の写し(例:表彰状・新聞・雑誌・選手団名簿等)を提出 団体競技等の場合には、本人が出場していると特定できる書類を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、教科専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		3					3
	平成26年度採用者数(名)		2					2
	平成27年度受験者数(名)		1					1
	平成27年度採用者数(名)		0					0
	平成28年度受験者数(名)		2					2

(京都市)

選考名称	フロンティア特別選考 保健体育コース	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校 保健体育	特別免許状の活用	有					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 44 歳以下					
資格要件	一般選考の資格要件に以下の1.及び2.の受験資格を追加 1. 保健体育の分野における高度の専門的な知識・経験又は技能を有する者 2. 選手として、国際的規模の競技会に日本代表として出場した方又は日本選手権大会若しくはこれに準ずる全国的規模の大会において4位以内の成績を収めた者 ※1.及び2.に加え、特別免許状の授与条件を満たしている者は、普通免許状を所有しない者及び取得見込みのない者も受験可能。							
資格要件の確認方法	出願時に表彰状等の競技成績を証明する書類を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:一般教職教養試験・専門筆記試験に替えて論文試験を実施 第2次試験:体育実技・集団面接に替えて個人面接を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			3				3
	平成26年度採用者数(名)			1				1
	平成27年度受験者数(名)		4	3				7
	平成27年度採用者数(名)		1	1				2
	平成28年度受験者数(名)		8					8

(福岡市)

選考名称	スポーツ・芸術特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校(中高枠に限る)、特別支援学校中学部の音楽、美術、保健体育		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	40	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、かつ次の1.又は2.のいずれかの要件を満たす人 1. スポーツ:スポーツの分野において国際的規模の競技会に日本代表として出場した人又は日本選手権大会、これに準ずる全国規模の競技会で特に優秀な成績を収めた人 2. 芸術:音楽、芸術等の分野において国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた人又は全国レベルのコンクール、展覧会等で特に優秀な成績を収めた人								
資格要件の確認方法	実績を客観的に証明できるものの提示(志願書提出時)								
選考方法・試験内容	選考方法:第1次試験前に書類選考を行う。第1次試験合格者の選考は一般選考と別枠で行う。 試験内容:第1次試験は一般教養と論文、第2次試験は一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		-	8	-	0	-	-	8
	平成26年度採用者数(名)		-	1	-	0	-	-	1
	平成27年度受験者数(名)		-	10	-	1	-	-	11
	平成27年度採用者数(名)		-	0	-	1	-	-	1
平成28年度受験者数(名)		-	9	-	0	-	-	9	

(3) 国際貢献活動経験による特別の選考

(東京都)

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	一般選考と同等		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	59
資格要件	以下の全ての要件を満たす者が申込みをすることが可能 1. 平成17年4月1日から平成27年3月31日までの10年間に、独立行政法人国際協力機構法(平成14年法律第136号)に基づく「青年海外協力隊」、「日系社会青年ボランティア」、「シニア海外ボランティア」又は「日系社会シニア・ボランティア」として、派遣経験(教育活動に従事)が2年以上ある者 2. 昭和31年4月2日以降に出生した者								
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する派遣証明書								
選考方法・試験内容	個人面接及び論文								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)								0	

(神奈川県)

選考名称	社会人経験者 イ		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成28年3月31日までに取得見込みの人で、青年海外協力隊等、海外での2年以上の国際貢献活動経験								
資格要件の確認方法	派遣活動を申告する書類の提出。内定者は、派遣活動を証明する書類の提出。								
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除し、個人面接を課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		34	38	101	9	4		186
	平成26年度採用者数(名)		7	4	14	2	1		28
	平成27年度受験者数(名)		22	28	96	12	6		164
	平成27年度採用者数(名)		3	3	12	1	0		19
平成28年度受験者数(名)		35	45	112	10	10		212	

(富山県)

選考名称	特別選考 国際貢献	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成28年3月31日までに取得見込みであり、青年海外協力隊として、継続して2年以上の派遣実績を有する者。							
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)					1		1
	平成26年度採用者数(名)					0		0
	平成27年度受験者数(名)		3			1		4
	平成27年度採用者数(名)		0			0		0
	平成28年度受験者数(名)		1					1

(静岡県)

選考名称	国際貢献活動経験者を対象とした選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアで、継続した2年間の任期を満了した実績を有し、「国際貢献活動経験者を対象とした選考」を希望する者。							
資格要件の確認方法	青年海外協力隊事務局等による派遣実績証明書による。							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2	2	1	3	0		8
	平成26年度採用者数(名)	1	1	1	1	0		4
	平成27年度受験者数(名)	1	2	1	1	0		5
	平成27年度採用者数(名)	0	1	0	0	0		1
	平成28年度受験者数(名)	2	1	4	0	0		7

(愛知県)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校教諭及び中学校教諭の受験区分 高等学校教諭の数学、理科、工業、商業、情報、水産(海洋資源、機関、情報通信)、教員経験者の工業(デザイン)、看護、福祉	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳	以下		
資格要件	<p>ア「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分 次の(ア)又は(イ)の要件を満たす人 ※ 常勤の職として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができる。</p> <p>(ア)昭和50年4月2日以降に生まれた人で、出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小、中、高、特支の教育職を除く。以下常勤の職について同じ。)にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として同一の企業で連続して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。以下勤務実績期間について同じ。)の勤務実績を有する人</p> <p>(イ)昭和50年4月2日以降に生まれた人で、青年海外協力隊として、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間に、2年以上の派遣実績を有する人</p> <p>イ「高等学校教諭」の受験区分 次の(ア)から(ケ)に示す教科について、次のそれぞれの要件を満たすことが必要。</p> <p>(ア)「数学」、「理科」及び「工業」:出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として連続して5年以上の勤務実績を有する人</p> <p>(イ)「商業」(日本商工会議所簿記検定1級等資格所有者) a 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として連続して3年以上の勤務実績を有する人 b 日本商工会議所簿記検定1級、全国経理教育協会簿記能力検定上級、公認会計士、又は税理士の資格を所有、若しくは税理士試験の財務諸表論又は簿記論の科目を合格していること。</p> <p>(ウ)「情報」(基本情報技術者試験等資格所有者) a 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として連続して3年以上の勤務実績を有する人 b 独立行政法人情報処理推進機構が行う情報処理技術者試験において、基本情報技術者試験(FE)、応用情報技術者試験(AP)又は情報処理技術者試験要綱の試験区分に基づく高度試験のうち、いずれか一つ以上の資格を所有していること。 c 情報以外の高等学校教諭の他教科の普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。</p> <p>(エ)「看護」(看護師・看護教員経験者) a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、看護師免許を所有する人 b 次の1.又は2.の勤務実績を有する人 1.出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。2も同じ。)又は看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。2も同じ。)の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。2も同じ。)であり、平成27年4月1日現在、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。2も同じ。)として通算3年以上の勤務実績を有する人 2.出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師又は看護師養成機関の教員であり、平成27年4月1日現在、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師として通算1年以上の勤務実績を有し、かつ、看護師としての勤務実績と看護師養成機関の常勤の教員(看護科での勤務実績を有する実習助手を含む。)としての勤務実績を通算して3年以上有する人</p> <p>(オ)「福祉」(介護福祉士・福祉教員経験者) a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、介護福祉士の資格を有する人 b 出願時において、社会福祉施設の常勤の介護福祉士又は介護福祉士養成機関(福祉科を設置する高等学校を含む。)の教員(福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成27年4月1日現在、常勤の介護福祉士として通算3年以上の勤務実績を有する人</p> <p>(カ)「水産(海洋資源)」 a 高等学校卒業以上の学歴がある人 b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として連続して3年以上の勤務実績を有する人 c 「海洋生物」、「資源増殖」又は「海洋環境」等の海洋資源に関する分野について、民間企業、官公庁等において主たる業務とした人、若しくは大学等において履修又は専攻した人</p> <p>(キ)「水産(機関)」(海技士免許所有者) a 「水産(海洋資源)」に同じ b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の海技士(機関)、あるいは海技士(機関)養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の教員(講師及び実習助手を含む。)であり、平成27年4月1日現在、民間企業、官公庁等の常勤の海技士(機関)又は海技士(機関)養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(講師及び実習助手を含む。)として通算して3年以上の勤務実績を有する人 c 3級海技士(機関)以上の海技士免許状を有すること。</p> <p>(ク)「水産(情報通信)」(総合無線通信士等資格所有者) a 「水産(海洋資源)」に同じ b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、あるいは総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の教員(講師及び実習助手を含む。)であり、平成27年4月1日現在、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、あるいは総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(講師及び実習助手を含む。)として通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 c 総合無線通信士2級以上、又は陸上無線技術士2級以上の資格を所有していること。</p> <p>(ケ)「工業(デザイン)」(教員経験者対象) a 高等学校教諭美術又は高等学校教諭工芸の普通免許状を所有する人 b 出願時において、学校の教員(実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成27年4月1日現在通算して3年以上の勤務実績を有する人</p>							
資格要件の確認方法	「社会人特別選考申告書」に証明書類を添付する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験は論文試験と口述試験を行う。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	19	20	20				59
	平成26年度採用者数(名)	1	3	5				9
	平成27年度受験者数(名)	12	11	12				35
	平成27年度採用者数(名)	1	1	1				3
	平成28年度受験者数(名)	5	12	19				36

(京都府)

選考名称	国際貢献活動等特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)		特別免許状の活用		無			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	共通の受験資格に加えて、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとしての活動経験が通算2年以上ある方							
資格要件の確認方法	実績報告書に、勤務経験(勤務実績)について記入し、実績の詳細をまとめたもの等実績の確認できる書類を提出させて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:面接試験、筆記試験 第2次試験:個人面接、教育実践カテスト及び実技試験(一般選考に同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0

(大阪府)

選考名称	社会人経験者対象の選考 ア教諭普通免許状を所有する者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	法人格を有する民間企業又は官公庁等において、常勤の職としての勤務経験が平成27年3月31日までに通算5年(休職期間を除く)以上あること。勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員等としての活動経験を含めることができる。(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく活動経験を含む。)							
資格要件の確認方法	出願時に願書の在職歴記入欄に経験を記入。合格後に在職証明書等の提出。							
選考方法・試験内容	第1次選考:面接テスト 第2次選考:面接テスト、筆答テスト、実技テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	133	100	129	13	28	8	411
	平成26年度採用者数(名)	29	19	27	2	3	3	83
	平成27年度受験者数(名)	117	95	145	4	24	14	399
	平成27年度採用者数(名)	22	15	23	3	2	4	69
	平成28年度受験者数(名)	99	111	193	6	34	26	469

(山口県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	○ 次に該当する者で、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの 青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティア又は日系社会シニア・ボランティアとして、通算2年以上の派遣経験を有する者で、その派遣経験により、グローバル化に対応するコミュニケーション力や異文化理解の能力等を身につけたもの							
資格要件の確認方法	派遣経験を証明する書類							
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、実技(小学校を除く)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、実技(小学校のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	1	1	0				2
	平成27年度採用者数(名)	1	0	0				1
	平成28年度受験者数(名)	0	2	0				2

(さいたま市)

選考名称	青年海外協力隊等派遣特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアの国際貢献活動に従事したことのある方で、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間において、通算2年以上の派遣経験を有する者							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構発行の派遣証明書による確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	2					2
	平成26年度採用者数(名)	0	1					1
	平成27年度受験者数(名)	1	1					2
	平成27年度採用者数(名)	1	0					1
	平成28年度受験者数(名)	1	0					1

(横浜市)

選考名称	特別選考②(社会人・国際貢献活動経験者特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受験資格を満たし、独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員、シニア海外ボランティア又は日系社会青年・シニアボランティアとして平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に1年以上の派遣期間のある人で、派遣の証明書を期限までに提出できる人。							
資格要件の確認方法	派遣証明書の提出							
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考②該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	6	13		0	0		19
	平成26年度採用者数(名)	2	0		0	0		2
	平成27年度受験者数(名)	4	5		2	0		11
	平成27年度採用者数(名)	2	0		1	0		3
	平成28年度受験者数(名)	3	7		0	0		10

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員等経験者・資格取得者 特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	独立行政法人国際協力機構法(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく派遣を含む)に基づく青年海外協力隊員又は日系社会青年ボランティアとして、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に継続して1年以上の派遣実績(派遣期間)を有し、派遣の証明書を提出できる人							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する証明書を第2次試験合格後に提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、教科専門試験、集団討論 第2次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	24	21		2	9		56
	平成26年度採用者数(名)	0	0		0	1		1
	平成27年度受験者数(名)	17	30		6	6		59
	平成27年度採用者数(名)	2	4		1	0		7
	平成28年度受験者数(名)	13	25		4	8		50

(相模原市)

選考名称	社会人経験者(イ)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全受験区分・教科等		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受験する受験区分・教科等の教諭普通免許状を所有している人又は平成28年3月31日までに取得見込みの人で、青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして、通算2年以上の派遣期間のある者							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	1			0		1
	平成26年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成27年度受験者数(名)	0	0			0		0
	平成27年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成28年度受験者数(名)	0	0			0		0

(浜松市)

選考名称	特別選考C		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受験資格を満たし、かつ、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアで、原則として継続した2年間の実績を有した者							
資格要件の確認方法	派遣実績証明書(青年海外協力隊事務局長等による実績証明書)							
選考方法・試験内容	第1次選考の教職教養・一般教養を課題作文(国際貢献活動経験に関わるテーマ)に替えて行い、それ以外は、一般選考受験者と同じ内容で行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	0			0		0
	平成26年度採用者数(名)	0	0			0		0
	平成27年度受験者数(名)	2	0			0		2
	平成27年度採用者数(名)	1	0			0		1
	平成28年度受験者数(名)	1	0			0		1

(京都市)

選考名称	国際貢献活動経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	募集する全区分		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	5名程度			満	44	歳以下	
資格要件	一般選考の資格要件に加え、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとしての派遣実績を有する者							
資格要件の確認方法	出願時に独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局発行の派遣証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験：一般教職教養に替えて論文試験を実施 第2次試験：集団面接に替えて個人面接を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	7	6	2	1			16
	平成26年度採用者数(名)	0	1	0	0			1
	平成27年度受験者数(名)	4	1	2	1			8
	平成27年度採用者数(名)	1	0	1	0			2
	平成28年度受験者数(名)		4			1		5

(福岡市)

選考名称	社会人等特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	40	歳以下	
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、かつ平成17年4月1日から平成27年6月30日までの間に独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして、2年以上の派遣実績がある人							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が交付する派遣証明書の提出(志願書提出時)							
選考方法・試験内容	選考方法：一般選考と別枠で行うが、選考区分は「(4)民間企業等経験による特別の選考」と同一枠で募集 試験内容：第1次試験は専門教科、一般教養、論文、第2次試験は一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	3	2	0	1	0	0	6
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)	1	2	1	1	0	0	5
	平成27年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成28年度受験者数(名)	3	3	0	0	0	0	6

(4) 民間企業等勤務経験による特別の選考

(北海道・札幌市)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	高等学校(工業、商業、英語、看護、水産)又は特別支援学校自立活動(視覚障害教育、肢体不自由教育、言語障害教育)		特別免許状の活用				有		
募集人員	若干名		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	49	歳以下
資格要件	上記対象となる教科の教育職員免許状を有していない者で、教科に関する専門的知識や技能(資格)を有し、実務経験のあるもの 1. 高等学校の募集する教科又は自立活動に関する専門的知識や技能(資格)を有する者 2. 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者 3. 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者								
資格要件の確認方法	実務経験に係る職歴証明書及び証明機関の発行する資格(技術)証明書(開封無効)又は資格(技能)を証明できる書類の写しを出願時に提出(出願時に写しを提出した場合は、第1次検査時に原本を確認)								
選考方法・試験内容	第1次検査については一般教養及び教職教養のみ実施。第2次検査については教科等指導法検査の代わりに小論文検査を課すほかは、一般選考と同様である。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				2	1			3
	平成26年度採用者数(名)				2	0			2
	平成27年度受験者数(名)				0	2			2
	平成27年度採用者数(名)				0	1			1
平成28年度受験者数(名)				2	3			5	

(青森県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	高等学校英語及び水産(水産工学)		特別免許状の活用				有		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	一般選考の受験資格に加え、 1. 出願時に民間企業等(私立学校教員や専門学校講師など教育に関連する事業等に従事する者を除く。)に、正職員として5年以上の勤務経験を有する者 【高等学校英語の受験者について】 2. 出願時に実用英語技能検定試験1級、TOEIC860点以上、TOEFL PBT600点以上(CBT250点以上、iBT100点以上)のいずれかの資格等を有する者 3. 免許状を有しない場合は、上記1.、2.に加え、5年間以上英語に関連する業務又は英語を使用する業務の実務経験を有すること 【高等学校水産(水産工学)の受験者について】 4. 3級海技士(内熱機関)又は3級海技士(機関)の海技免状のいずれかの資格等を有する者 5. 免許状を有しない場合は、上記1.、4.に加え、5年間以上漁船又は商船の乗船履歴を有すること								
資格要件の確認方法	【高等学校英語】 実用英語技能検定試験合格証明書、TOEICやTOEFLのスコアシートの写しを提出 【高等学校水産(水産工学)】 3級海技士(内熱機関)又は3級海技士(機関)の海技免状の写しを提出								
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接 第二次試験:面接(模擬授業・個人面接)、適性検査、小論文、実技試験								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				2				2
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				1				1
	平成27年度採用者数(名)				0				0
平成28年度受験者数(名)				2				2	

(岩手県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校(工業(機械)、水産・商船(機関))		特別免許状の活用		有				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳	以下	
資格要件	工業(機械)においては、博士の学位を有する者、又は民間企業等の従事者で平成27年4月1日現在、同一企業等で3年以上の勤務経験がある者で、いずれも工業(機械)に関する高度な専門的知識や技能を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者。水産・商船(機関)においては、3級海技士(航海又は機関)の資格を有し、平成27年4月1日現在、5年以上の資格に基づく実務経験があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者。								
資格要件の確認方法	高度な専門知識や技能を修得したことを証明できる書類を提出させ確認(論文、勤務先の所属長による推薦書、取得している資格等)。								
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				2				2
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				3				3
	平成27年度採用者数(名)				2				2
平成28年度受験者数(名)				0				0	

(秋田県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校教諭等		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	49	歳	以下	
資格要件	英語、韓国朝鮮語のいずれかについて専門的知識及び技能を有し、民間企業・公官庁等での該当言語を使用した実務経験が5年以上であり、かつ、英語の場合は次のいずれかの資格を有する者 ・実用英語検定1級 ・TOEIC900点以上 ・TOEFL(PBT)600点以上 ・TOEFL(iBT)100点以上								
資格要件の確認方法	志願書、最終学校の卒業(見込み)証明書、在職証明書、実績証明書、所持資格の証明書の写し								
選考方法・試験内容	1次:総合教養、小論文、面接 2次:適性検査、論文、面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				1				1
	平成26年度採用者数(名)				1				1
	平成27年度受験者数(名)				1				1
	平成27年度採用者数(名)				0				0
平成28年度受験者数(名)				0				0	

(山形県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続			継続		
対象となる校種・教科	中学校英語、特別支援学校中学部英語、高校英語・電気		特別免許状の活用			無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)							
資格要件	当該教科の免許状を有する者又は取得見込みの者で、志望する教科・科目と関連する実務経験(学校教育に直接携わる業務を除く)を5年以上継続して有する者又は有する見込みの者。							
資格要件の確認方法	当該教科の免許状の写し又は免許状取得見込み証明書及び履歴書の提出。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験において、教職教養・一般教養の代わりに小論文を課す。それ以外は一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		1	7				8
	平成26年度採用者数(名)		0	2				2
	平成27年度受験者数(名)		2	7				9
	平成27年度採用者数(名)		0	2				2
	平成28年度受験者数(名)		0	4				4

(茨城県)

対象となる校種・教科	高等学校理科(物理・化学・生物・地学)、高等学校農業、高等学校工業、高等学校水産、高等学校英語		新規・継続			継続		
			特別免許状の活用			有		
年齢制限	基本的年齢制限と同じ		満			44		歳以下
資格要件	<p>【高等学校理科(物理・化学・生物・地学)、高等学校農業、高等学校工業】</p> <p>1.教育職員免許状を有していない方で、2.正規職員としての民間企業や官公庁で継続して3年以上の勤務があり、3.出願する教科に関する高度の専門的な知識又は技能(博士号、一級建築士等)を勤務経験等を通して身に付けた方で、4.特別免許状の授与条件を満たす方</p> <p>【高等学校水産】</p> <p>1.航海又は機関の3級海技士免許を保有し、2.水産と関連する実務経験(海技士養成機関での常勤の教員としての勤務経験を一部含む)を3年以上有する方で、3.特別免許状の授与条件を満たす方</p> <p>【高等学校英語】</p> <p>1.英語を母語とし、2.教育職員免許状を有していない方で、3.日本国内において国公立高等学校(中等教育学校を含む)で英語教育に関連する4年以上の実務経験(ALTや常勤の英語講師等)があり、4.教員の職務を行う上で必要とされる日本語の能力を有し、5.特別免許状の授与条件を満たす方</p>							
資格要件の確認方法	勤務実績証明書(様式あり)、免許や資格の写しを提出する							
免除される試験科目	第1次試験のうち、専門教科試験を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)			13				13
	平成27年度採用者数(名)			3				3
	平成28年度受験者数(名)			3				3

(栃木県)

選考名称	特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	a 高等学校の福祉 b 高等学校の電気、機械 c 高等学校の家庭	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	44	歳以下			
資格要件	a 高等学校の福祉・・・介護福祉士資格を有し、介護福祉士として5年以上の実務経験がある者、又は看護師等の資格を有し、看護師等として5年以上の実務経験のある者。 b 高等学校の電気、機械・・・大学を卒業している者又は卒業見込みの者で、工業の教科についての高度な専門的知識・技能を有し、民間企業、官公庁等に常勤として7年以上の実務経験がある者。 c 高等学校の家庭・・・専門調理師資格を有する者、又は、調理師資格を有する者で調理師として10年以上実務経験のある者。							
資格要件の確認方法	a 高等学校の福祉・・・介護福祉士又は看護師等の資格を証明する書類。自己推薦書及び5年以上の実務経験を証明する書類により書類選考。 b 高等学校の電気、機械・・・7年以上の実務経験を証明する書類、自己推薦書、教科についての高度な専門的知識・技能に関する資格等を証明する書類により書類選考。 c 高等学校の家庭 1 専門調理師の資格取得を証明する書類、自己推薦書。2 調理師の資格取得を証明する書類、自己推薦書、実務経験を証明する書類により書類選考。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、第1次試験のうち一般教養試験を免除し、集団面接の代わりに個人面接を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			3				3
	平成26年度採用者数(名)			1				1
	平成27年度受験者数(名)			4				4
	平成27年度採用者数(名)			0				0
	平成28年度受験者数(名)			2				2

(群馬県)

選考名称	社会人特別選考試験	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	現に正規職員として勤務し、平成28年3月31日までに同一の民間企業又は官公庁等(ただし、いずれも教育に関する事業を除く。)を継続して5年以上勤務した経験があり、出願する教科等に関する高度な専門的な知識若しくは技能又は勤務経験等を通して身に付けた優れた経営的能力を有する人							
資格要件の確認方法	出願時に資格証明書、論文が掲載された学術誌、表彰状の写しなどを添付した人は、第1次選考の当日にその原本を持参し、試験会場で係員が確認する。							
選考方法・試験内容	「一般教養・教職に関する科目」を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2	3	15	1	1		22
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成27年度受験者数(名)	0	1	13	0	2		16
	平成27年度採用者数(名)	0	0	2	0	0		2
	平成28年度受験者数(名)	0	7	19	0	3		29

(埼玉県1)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高校(看護・家庭・福祉) 特別支援(自立活動)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	<p>◆看護 次のア、イ、ウの要件を全て満たす者。                      ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。                      イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。                      ウ 次の1.又は2.のいずれかを満たす者。                      1.看護師の資格を有し、国公立又は民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む。)として、5年以上の実務経験を有する者。                      2.国公立又は民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む。)として3年以上の実務経験と看護に関する教職としての経験を合算して5年以上の経験を有する者。                      ※勤務期間については、志願する日までに常勤又は常勤に準ずる職員として勤務した期間をもって通算するものとする。</p> <p>◆家庭 次のア、イ、ウの要件を全て満たす者。                      ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。                      イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。                      ウ 次の1.又は2.のいずれかを満たす者。                      1.平成27年3月31日までに調理師法第8条の3第1項に規定する調理技術に関する審査に合格し同法第21条第1項の認定証書の交付を受けた者。                      2.調理師であって、調理師として5年以上の実務経験を有する者。</p> <p>◆福祉 次のア、イ、ウの要件を全て満たす者。                      ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。                      イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。                      ウ 介護福祉士の資格を有し、介護福祉士として5年以上の実務経験を有する者。</p> <p>◆自立活動 次のア、イ、ウの要件を全て満たす者。                      ア 高等学校卒業以上の学歴を有する者。                      イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。                      ウ 国公立又は民間病院等において、看護師(助産師、保健師を含む。)として3年以上の実務経験を有する者。</p>							
資格要件の確認方法	資格証明書の写し及び実務に関する証明書							
選考方法・試験内容	第1次試験免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			6				6
	平成26年度採用者数(名)			2				2
	平成27年度受験者数(名)			4	7			11
	平成27年度採用者数(名)			1	1			2
	平成28年度受験者数(名)			8	8			16

(埼玉県2)

選考名称	社会人特別選考(理科)		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	高校(理科)		特別免許状の活用		有			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	<p>次のア～ウの要件を全て満たす者。                      ア 理科分野に関する修士又は博士の学位を有する者。                      イ 教育職員免許法第5条第1項各号のいずれにも該当しない者。                      ウ 法人格を有する民間企業、研究機関、大学、短期大学、官公庁において、理科分野に関する実務経験が直近5年間で3年以上の者。</p>							
資格要件の確認方法	修士又は博士の学位記の写し、実務に関する証明書及び理科分野に関する研究内容・実務経験についての申出書							
選考方法・試験内容	第1次試験は、筆答試験(一般教養・教職科目)に代えて論文試験。第2次試験は、総合読解に代えて論文試験。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)			5				5

(千葉県・千葉市)

選考名称	養護教諭特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	・教育職員免許法に規定する養護教諭普通免許状を有する者又は平成28年3月31日までに取得見込みの者 ・昭和31年4月2日以降に生まれた方 ・看護師免許を有しており、平成27年4月1日現在で、正規採用の看護師として3年以上の実務経験を有する者(現在、看護師として勤務していなくても可。)※ 保健師、助産師としての実務経験は含まない。							
資格要件の確認方法	実務経験証明で確認する。							
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養、専門教科を免除し、小論文、集団面接のみを課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)					19		19
	平成26年度採用者数(名)					2		2
	平成27年度受験者数(名)					15		15
	平成27年度採用者数(名)					2		2
	平成28年度受験者数(名)					12		12

(神奈川県)

選考名称	社会人経験者 ア	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種等・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成28年3月31日までに取得見込みの人で、法人格を有する民間企業、官公庁(原則として神奈川県教育委員会を除く)等で常勤社員・職員(教員を除く)として平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間に通算3年以上の勤務経験							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は、職歴証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除し、個人面接を課す。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	34	38	101	9	4		186
	平成26年度採用者数(名)	7	4	14	2	1		28
	平成27年度受験者数(名)	22	28	96	12	6		164
	平成27年度採用者数(名)	3	3	12	1	0		19
	平成28年度受験者数(名)	35	45	112	10	10		212

(新潟県)

選考名称	高等学校教諭「工業」特別選考制度	新規・継続	本年度新規						
対象となる校種・教科	高等学校教諭・工業	特別免許状の活用	有						
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ						
	(具体的に)		満	59	歳以下				
資格要件	(1) 大学を卒業、又は大学院を修了していること。 (2) 研究施設、民間企業、官公庁(公立学校の工業の実習助手を含む)において、正規職員として、受験前過去6年間で、通算3年以上の工業に関する実務経験を有し、次の要件ア及びイを満たす者。 ア 工業の教科に関する専門的な知識、経験又は技能を有すること。 イ 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっていること。								
資格要件の確認方法	出願の際に、職歴を記載した特別選考調書を提出。第2次検査合格後に、勤務証明書を提出。								
選考方法・試験内容	第1次検査:筆答検査Ⅰ、筆答検査Ⅱ(教科の基礎的な問題)※論文は免除 第2次検査:個人面接Ⅰ、個人面接Ⅱ								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)							—	
	平成26年度採用者数(名)							—	
	平成27年度受験者数(名)							—	
	平成27年度採用者数(名)							—	
	平成28年度受験者数(名)			7				7	

(富山県)

選考名称	特別選考 社会人経験	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ						
	(具体的に)		満	59	歳以下				
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成28年3月31日までに取得見込みであり、法人格を有する同一の民間企業、官公庁等において正社員又は正規職員として、平成17年4月1日から平成27年3月31日までの間に継続して5年以上の勤務を有する者。								
資格要件の確認方法	第2次検査の結果通知後、任用候補者名簿に登載された者のみに在職・勤務証明書を提出させる。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	4	29		1	1		35	
	平成26年度採用者数(名)	2	1		0	0		3	
	平成27年度受験者数(名)	5	25		1	4		35	
	平成27年度採用者数(名)	2	4		1	2		9	
	平成28年度受験者数(名)	8	17		0	5		30	

(山梨県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	高等学校 農業(食品化学)工業(機械・電気・電子・工業化学)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	54	歳以下	
資格要件	大学を卒業している者、昭和36年4月2日以降に出生した者で、受験しようとする教科に関する専門分野の勤務経験(学校・教育施設・企業等の正規職員)が3年以上ある者(教員免許状はなくても可)、免許状を有しない場合は、特別免許状の授与条件を満たす者							
資格要件の確認方法	受験する教科に関する実務経歴証明書(書式の指定なし)、受験する教科に関する専門分野の資格証明書等がある場合はその写しを出願時に提出する。							
選考方法・試験内容	第1次検査において、一般・教職教養検査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)			15				15

(岐阜県)

選考名称	理工系特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・数学、理科(物理、化学、生物)、工業(機械系、電気・電子系、建築系)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	下記の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア)民間企業・官公庁等において、正社員あるいは正規職員等として3年以上の継続する勤務歴を有し、その勤務経験により志願する教科等に関する専門的な知識又は技能を有する者 (イ)志願する教科等に係る専門的な知識を有し、理工系の博士号を有する者							
資格要件の確認方法	(ア)による志願者については、該当となる職歴を証明する書類。(事業所の代表者又は任命権者による証明がなされたもの。様式は問わない。) (イ)による志願者については、該当する博士号の学位証明書。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験において、筆記試験を論文試験に代える。他は一般受験者と同一。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)			6				6
	平成27年度採用者数(名)			0				0
	平成28年度受験者数(名)			5				5

(静岡県)

選考名称	民間企業等での勤務経験を有する者を対象とした選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	高等学校・工業		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	大学院の課程に学んだ経験があり、平成27年4月1日現在において、工業関係の修士以上の学位を取得済みであり、民間企業、研究機関等において工業関係の業務に従事し、3年以上の勤務経験を有すること。							
資格要件の確認方法	修士号取得に関する証明書、勤務経験証明書							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
平成28年度受験者数(名)				2				2

(愛知県) (再掲: (3) 国際貢献活動経験による特別の選考)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校教諭及び中学校教諭の受験区分 高等学校教諭の数学、理科、工業、商業、情報、水産 (海洋資源、機関、情報通信)、教員経験者の工業(デザイン)、看護、福祉	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	<p>ア「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分 次の(ア)又は(イ)の要件を満たす人 ※ 常勤の職として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができる。 (ア)昭和50年4月2日以降に生まれた人で、出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職(小、中、高、特支の教育職を除く。以下常勤の職について同じ。)にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として同一の企業で連続して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。以下勤務実績期間について同じ。)の勤務実績を有する人 (イ)昭和50年4月2日以降に生まれた人で、青年海外協力隊として、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間に、2年以上の派遣実績を有する人</p> <p>イ「高等学校教諭」の受験区分 次の(ア)から(ケ)に示す教科について、次のそれぞれの要件を満たすことが必要。 (ア)「数学」、「理科」及び「工業」: 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として連続して5年以上の勤務実績を有する人 (イ)「商業」(日本商工会議所簿記検定1級等資格所有者) a 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として連続して3年以上の勤務実績を有する人 b 日本商工会議所簿記検定1級、全国経理教育協会簿記能力検定上級、公認会計士、又は税理士の資格を所有、若しくは税理士試験の財務諸表論又は簿記論の科目を合格していること。 (ウ)「情報」(基本情報技術者試験等資格所有者) a 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として連続して3年以上の勤務実績を有する人 b 独立行政法人情報処理推進機構が行う情報処理技術者試験において、基本情報技術者試験(FE)、応用情報技術者試験(AP)又は情報処理技術者試験要綱の試験区分に基づく高度試験のうち、いずれか一つ以上の資格を所有していること。 c 情報以外の高等学校教諭の他教科の普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。 (エ)「看護」(看護師・看護教員経験者) a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、看護師免許を所有する人 b 次の1.又は2.の勤務実績を有する人 1.出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師(助産師、保健師を含む。2.も同じ。)又は看護師養成機関(専攻科を設置する高等学校を含む。2.も同じ。)の教員(看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。2.も同じ。)であり、平成27年4月1日現在、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師(助産師、保健師を含む。2.も同じ。)として通算3年以上の勤務実績を有する人 2.出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師又は看護師養成機関の教員であり、平成27年4月1日現在、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師として通算1年以上の勤務実績を有し、かつ、看護師としての勤務実績と看護師養成機関の常勤の教員(看護科での勤務実績を有する実習助手を含む。)としての勤務実績を通算して3年以上有する人 (オ)「福祉」(介護福祉士・福祉教員経験者) a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、介護福祉士の資格を有する人 b 出願時において、社会福祉施設の常勤の介護福祉士又は介護福祉士養成機関(福祉科を設置する高等学校を含む。)の教員(福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成27年4月1日現在、常勤の介護福祉士として通算3年以上の勤務実績を有する人 (カ)「水産(海洋資源)」 a 高等学校卒業以上の学歴がある人 b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の職にあり、平成27年4月1日現在、常勤の職として連続して3年以上の勤務実績を有する人 c 「海洋生物」、「資源増殖」又は「海洋環境」等の海洋資源に関する分野について、民間企業、官公庁等において主たる業務とした人、若しくは大学等において履修又は専攻した人 (キ)「水産(機関)」(海技士免許所有者) a 「水産(海洋資源)」に同じ b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の海技士(機関)、あるいは海技士(機関)養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の教員(講師及び実習助手を含む。)であり、平成27年4月1日現在、民間企業、官公庁等の常勤の海技士(機関)又は海技士(機関)養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(講師及び実習助手を含む。)として通算して3年以上の勤務実績を有する人 c 3級海技士(機関)以上の海技士免許状を有すること。 (ク)「水産(情報通信)」(総合無線通信士等資格所有者) a 「水産(海洋資源)」に同じ b 出願時において、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、あるいは総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の教員(講師及び実習助手を含む。)であり、平成27年4月1日現在、民間企業、官公庁等の常勤の総合無線通信士又は陸上無線技術士、あるいは総合無線通信士又は陸上無線技術士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む。)の常勤の教員(講師及び実習助手を含む。)として通算して3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人 c 総合無線通信士2級以上、又は陸上無線技術士2級以上の資格を所有していること。 (ケ)「工業(デザイン)」(教員経験者対象) a 高等学校教諭美術又は高等学校教諭工芸の普通免許状を所有する人 b 出願時において、学校の教員(実習助手及び非常勤の職にある者を含む。)であり、平成27年4月1日現在通算して3年以上の勤務実績を有する人</p>							
資格要件の確認方法	「社会人特別選考申告書」に証明書類を添付する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験は論文試験と口述試験を行う。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	19	20	20				59
	平成26年度採用者数(名)	1	3	5				9
	平成27年度受験者数(名)	12	11	12				35
	平成27年度採用者数(名)	1	1	1				3
	平成28年度受験者数(名)	5	12	19				36

(京都府)

選考名称	スペシャリスト特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・理科、工業、情報		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	10名以内			満	49	歳以下	
資格要件	民間企業、大学又は研究機関等における勤務経験が通算して5年以上ある方(国・公・私立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校における勤務経験を除く。)で、その勤務経験により、受験科目の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する方。特別免許状の授与条件を満たす方。工業は、ロボット工学の分野における実績のある方							
資格要件の確認方法	名簿記載された場合に在職証明書等を提出させて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			1				1
	平成26年度採用者数(名)			0				0
	平成27年度受験者数(名)			11				11
	平成27年度採用者数(名)			1				1
	平成28年度受験者数(名)			11				11

(大阪府1)(再掲:(3)国際貢献活動経験による特別の選考)

選考名称	社会人経験者対象の選考 ア教諭普通免許状を所有する者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	法人格を有する民間企業又は官公庁等において、常勤の職としての勤務経験が平成27年3月31日までに通算5年(休職期間を除く)以上あること。勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員等としての活動経験を含めることができる。(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく活動経験を含む。)							
資格要件の確認方法	出願時に願書の在職歴記入欄に経験を記入。合格後に在職証明書等の提出。							
選考方法・試験内容	第1次選考:面接テスト 第2次選考:面接テスト、筆答テスト、実技テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	133	100	129	13	28	8	411
	平成26年度採用者数(名)	29	19	27	2	3	3	83
	平成27年度受験者数(名)	117	95	145	4	24	14	399
	平成27年度採用者数(名)	22	15	23	3	2	4	69
	平成28年度受験者数(名)	99	111	193	6	34	26	469

(大阪府2)

選考名称	社会人経験者対象の選考 イ特別免許状の授与を前提とする者	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	「高校・高等部」の工業実習	特別免許状の活用	有						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる						
	(具体的に)		満	59	歳以下				
資格要件	次の1.から4.の全てを満たしていること。 1. 平成27年3月31日までに、職業能力開発促進法で定める技能士(1級機械加工技能士又は2級機械加工技能士)の資格を取得していること。 2. 高等学校教諭の「工業」又は「工業実習」の普通免許状を所有(所有資格を得ている場合を含む。)していないこと。 3. 高等学校を卒業した者。(通常の課程以外の課程におけるこれに相当するものを終了した者を含む。)ただし、文部科学大臣において高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有すると認められた者を含む。その他、教育職員免許法第5条第1項の各号に該当しないこと。 34 法人格を有する民間企業又は官公庁等において、常勤の職としての勤務経験が平成27年3月31日までに通算5年(休職期間を除く。)以上あること。なお、勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法(平成14年12月6日法律第136号)の規定に基づく青年海外協力隊員としての活動経験を含めることができます。(廃止前の国際協力事業団法の規定に基づく活動経験を含む。)								
資格要件の確認方法	出願時、願書に在職歴及び資格を記入し、技能検定の合格証書の写しを添付。第2次選考の面接テスト受験当日に技能検定の合格証書の原本を提示。								
選考方法・試験内容	第1次選考:面接テスト 第2次選考:面接テスト、筆答テスト、実技テスト								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	
	平成27年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	
	平成27年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	
	平成28年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	

(奈良県)

選考名称	社会人を対象とした特別選考	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	高等学校 数学、理科(物理、化学、生物)、農業、工業(建築、情報)、商業、情報、家庭(製菓)	特別免許状の活用	有						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる						
	(具体的に)		満	44	歳以下				
資格要件	1. 大学を卒業、又は大学院を修了している者 2. 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条のいずれにも該当しない者 3. 数学、理科(物理、化学、生物)を受験する者は、昭和51年4月2日以降に生まれた者で、研究施設、民間企業(教育事業を除く)、官公庁(公立学校を除く)に、現に正規職員として3年以上の勤務経験を有する者。 4. 農業、工業(建築、情報)、商業、情報を受験する者は、昭和46年4月2日以降に生まれた者で、受験する教科に関わる3年以上の実務経験を有する者。 5. 家庭(製菓)を受験する者は、昭和46年4月2日以降に生まれた者で、平成28年3月31日現在で、製菓衛生師免許取得後3年以上の実務経験を有する者で、かつ、7年以上の実務経験を有する者。 6. 受験する校種、教科の教諭普通免許状の有無は問いません。								
資格要件の確認方法	合格後に、在職・勤務証明書等の提出をさせ、確認する。								
選考方法・試験内容	一般選考に準ずるが、第1次試験の一般教養試験に替えて、個人面接を実施している。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)			17				17	
	平成26年度採用者数(名)			3				3	
	平成27年度受験者数(名)			12	2			14	
	平成27年度採用者数(名)			0	1			1	
	平成28年度受験者数(名)			9				9	

(兵庫県)

選考名称	特別免許状授与を前提とした社会人特別選考		新規・継続			継続		
対象となる校種・教科	高等学校・看護		特別免許状の活用			有		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)					満	49	歳以下
資格要件	教育職員免許状を有しない社会人で、平成28年3月31日現在、休職、育児休業の期間を除き、国公立及び民間病院等において正規職員の看護師として5年以上の勤務経験を有する者(看護学校等の教官経験を含む)							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
選考方法・試験内容	一般の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			3				3
	平成26年度採用者数(名)			1				1
	平成27年度受験者数(名)			0				0
	平成27年度採用者数(名)			0				0
	平成28年度受験者数(名)			2				2

(鳥取県)

選考名称	普通免許状を有しない社会人実務経験者を対象とした選考		新規・継続			継続		
対象となる校種・教科	高等学校教諭・家庭、農業、工業(工業化学)、商業		特別免許状の活用			有		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)					満	49	歳以下
資格要件	欠格条項に該当しないこと及び年齢制限を満たした上、志願する試験区分、教科の普通免許状を有していないが、学士、修士、又は博士の学位を授与された者で、志願する教科(科目等)について高度な専門的知識・技能を有し、民間企業、官公庁(教育関係機関を除く)等に正職員として5年以上の実務経験を有する者							
資格要件の確認方法	職歴を証明する書類							
選考方法・試験内容	他の受験者と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)			2				2
	平成27年度採用者数(名)			0				0
	平成28年度受験者数(名)			0				0

(岡山県)

選考名称	特別選考D[社会人を対象とした特別選考]		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	1. 高等学校の「工業(専門分野は限定しない)」 2. 高等学校の「看護」		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	<p>次の各号のいずれにも該当する者                      (ア)一般選考の受験資格を満たす者。ただし、志望する校種・職種、教科等の教諭普通免許状を有しない者又は取得見込みでない者も出願することができる。                      (イ)次のいずれかの要件を満たす者。                      1. 民間企業、官公庁(教職以外)において、出願時に申し出る教科(科目)と関連する3年以上の職務経験を有し、かつ申し出る教科(科目)に関する高度な専門的知識・技能を有する者。                      ※「職務経験」の期間とは、正規職員として就業した期間が該当し、複数の職務経験がある場合には、通算することができる。                      2. 看護師免許証を有し、かつ看護師、保健師又は助産師(いずれも正規職員)として出願時に3年以上の実務経験を有する者。</p>								
資格要件の確認方法	<p>1. 出願時に、特別選考調書を提出させるとともに、申し出る教科(科目)に関する高度な専門的知識・技能を有していることを証明できるもの(証明機関の発行する資格(技能)証明書(開封無効)又は資格(技能)を証明できる書類の写し)があれば提出させる。ただし、写しの提出者は第1次試験の面接時に、原本を持参させる。                      2. 出願時に、特別選考調書及び看護師免許証の写しを提出させる。ただし、第1次試験の面接時に、原本を持参させる。</p>								
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				14				14
	平成26年度採用者数(名)				5				5
	平成27年度受験者数(名)				18				18
	平成27年度採用者数(名)				9				9
	平成28年度受験者数(名)				15				15

(広島県・広島市)

選考名称	社会人を対象とした特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校(工業、看護)		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	<p>地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であり、かつ、昭和31年4月2日以降に生まれた者であって、次の要件を満たす者                      ・高等学校を卒業していること、又は、高等学校を卒業した者と同年以上の資格を有していること。                      ・実務経験について                      「工業」の受験については、民間企業(私立学校を除く。)、官公庁又は公立学校の実習助手において、正規職員として受験前過去6年間(平成21年度から平成26年度まで。)で通算3年以上の工業に関する実務経験があること。                      「看護」の受験については、看護師免許証を有し、国公立又は民間病院等において、正規職員の看護師(助産師、保健師、看護学校等の教官経験を含む。)として通算5年以上の実務経験があること。                      採用候補者として登載された場合、該当教科の教育職員免許状(普通免許状)を有しない者は、広島県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要がある。</p>								
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出								
選考方法・試験内容	第1次試験:個人面接、グループワーク 第2次試験:個人面接、模擬授業、実技試験								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				16				16
	平成26年度採用者数(名)				2				2
	平成27年度受験者数(名)				10				10
	平成27年度採用者数(名)				1				1
	平成28年度受験者数(名)				5				5

(山口県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	○ 次に該当する者で、かつ教員の職務を行うのに必要な素養と熱意を有するもの 現に(出願時点で)民間企業等に5年以上継続勤務する者で、その勤務経験により、出願する校種・教科(科目等)に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められるもの							
資格要件の確認方法	志願書類等							
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、実技(小学校を除く)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、実技(小学校のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	5	4				10
	平成26年度採用者数(名)	1	0	0				1
	平成27年度受験者数(名)	0	4	4				8
	平成27年度採用者数(名)	0	0	0				0
	平成28年度受験者数(名)	0	9	3				12

(徳島県)

選考名称	社会人を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	民間企業等で、平成27年3月末現在、通算して5年以上、正規社員として勤務し、その勤務経験により、出願する教科等に関する専門的な知識又は技能を有する者							
資格要件の確認方法	民間企業等で、平成27年3月末現在、通算して5年以上、正規社員として勤務し、その勤務経験により、出願する教科等に関する専門的な知識又は技能を有する者。また、高等学校教諭の農業、工業、商業、又は看護に出願を希望する者のうち、特別免許状の取得条件を満たす者。							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除 他は一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	8	11	3	1		24
	平成26年度採用者数(名)	1	1	1	0	1		4
	平成27年度受験者数(名)	1	7	8	4	0		20
	平成27年度採用者数(名)	0	0	1	1	0		2
	平成28年度受験者数(名)	1	6	7	2	0		16

(香川県)

選考名称	特別選考Ⅰ①	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭及び栄養教諭	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	小学校の教諭志願者を除く志願者のうち民間企業等において通算3年以上の勤務経験(教育に関する職務を除く。)を有する者で、その勤務経験により、出願する教科・科目等に関する高度の専門的な知識又は技能を有すると認められ、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者(なお、勤務経験には、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験を含めることができる。)							
資格要件の確認方法	第2次選考試験の際に、出願教科・科目に関連する勤務先の所属長等による推薦書を提出させる。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	5	13	1	0	0	19
	平成26年度採用者数(名)	0	0	2	0	0	0	2
	平成27年度受験者数(名)	0	15	15	2	2	1	35
	平成27年度採用者数(名)	0	0	1	1	0	0	2
	平成28年度受験者数(名)	0	11	7	0	7	0	25

(佐賀県)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校…理科、英語、保健体育、技術、家庭 高等学校…理科(物理・化学・生物)、英語、保健体育、家庭、工業(機械・電気)、商業	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	選考試験科目教科(科目)について、特に秀でた知識・技能を有する者で、官公庁、法人格を有する民間企業(教職以外)において、一つの職場で正社員又は正規職員として5年以上の勤務経験があり(平成27年3月31日現在)、かつ教員としての職務を行うのに必要な資質と熱意を有する者。							
資格要件の確認方法	取得資格や実績を証明するものを提出させ、事務局で照合し確認を行う							
選考方法・試験内容	第一次試験における一般・教職教養試験を免除する。第一次試験における他の試験や実技等及び第二次試験については、原則一般選考と同様に行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	0	7	0	0	0	7
	平成26年度採用者数(名)	0	0	1	0	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)	0	1	3	0	0	0	4
	平成27年度採用者数(名)	0	1	0	0	0	0	1
	平成28年度受験者数(名)	0	0	2	0	0	0	2

(長崎県)

選考名称	社会人特別採用選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	募集する全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	民間企業等(公立及び私立の小・中・高・特別支援学校を除く)において、平成20年4月1日以降平成27年5月31日までに通算5年以上の勤務経験を有する者。又は、青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア等として、平成22年4月1日以降、平成27年5月31日までに通算2年以上の国際貢献活動の経験を有する者。							
資格要件の確認方法	社会人特別採用選考申請書の提出。第2次試験の合格者には、職歴確認のため在職証明書の提出を求める。							
選考方法・試験内容	第1次試験の「教職・一般教養試験」を免除する以外は、一般選考と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	7	9	18	7	5		46
	平成26年度採用者数(名)	1	0	1	0	0		2
	平成27年度受験者数(名)	6	8	10	6	6		36
	平成27年度採用者数(名)	1	1	1	1	1		5
	平成28年度受験者数(名)	3	12	11	2	7		35

(大分県)

選考名称	特別選考(Ⅱ)(社会人特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	2名			満	40	歳以下	
資格要件	一般選考に必要なとされる要件に加え、次の(1)から(3)の要件を全て満たす者に限る。 (1) 次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 志望種に応ずる教諭普通免許状を現に有している者又は平成28年3月31日までに取得見込みの者 イ (1)のアに該当しない者で、次の1.及び2.に該当するもの(中学校教諭志望者に限る。) 1. 志望する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者 2. 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者 (2) 昭和50年4月2日以降に生まれた者 (3) 民間企業・官公庁等において常勤の職(国公立学校・学習塾・予備校等の教育職を除く。)として平成27年6月1日現在5年以上継続して勤務している者							
資格要件の確認方法	上記(3)については、最終合格者に勤務先が発行する在職証明書の提出を求める。							
選考方法・試験内容	第1次試験の教養試験及び専門試験に代えて、小論文を実施する。(他は一般選考と同様)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	4	4					8
	平成26年度採用者数(名)	1	0					1
	平成27年度受験者数(名)	2	3					5
	平成27年度採用者数(名)	0	0					0
	平成28年度受験者数(名)	1	4					5

(宮崎県)

選考名称	社会人を対象とした特別選考試験Ⅰ・Ⅱ		新規・継続			継続			
対象となる校種・教科	Ⅰ：高等学校(工業、商業)・特別支援学校知的ほか Ⅱ：高等学校(福祉)		特別免許状の活用			有			
募集人員	その他		年齢制限			基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)	Ⅰ：一般採用見込み数に含める Ⅱ：採用予定数を明示する(1名)				満	59	歳以下	
資格要件	Ⅰ：民間企業(私立学校・学習塾・予備校等を除く)・官公庁等(公立学校を除く)に正規職員として継続して5年以上勤務経験を有する者で、その勤務経験により高等学校(工業、商業)又は特別支援学校知的他に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者。 Ⅱ：看護師等の資格を有し、看護師等として5年以上の実務経験のある者。教員免許状を有さず、採用候補者として登録された場合、宮崎県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格する必要がある。								
資格要件の確認方法	特別選考試験申請書及びその資格を証明するものを出願時に提出。								
選考方法・試験内容	小論文及び個人面接。 合格者は、一般選考試験の第一次選考試験合格者と共に、第二次選考試験を受験する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				5	2			7
	平成26年度採用者数(名)				1	0			1
	平成27年度受験者数(名)				4	2			6
	平成27年度採用者数(名)				1	0			1
	平成28年度受験者数(名)				4	3			7

(鹿児島県)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続			本年度新規			
対象となる校種・教科	高校の家庭、工業(インテリア)、看護		特別免許状の活用			有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限			基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)					満	45	歳以下	
資格要件	(1) 高校家庭：調理師法第8条の3第1項に規定する調理技術に関する審査に合格し、同法施行規則第21条第1項の認定証書の交付を受けた者(専門調理師)、若しくは調理師の資格をもち、調理師として5年以上の実務経験を有する者 (2) 高校工業(インテリア)：民間企業、官公庁(教職除く)等での勤務経験が5年以上あり、その勤務経験によりインテリアや工業デザインに関する高度な専門的知識や技能を有すると認められる者 (3) 国公立又は民間の医療機関で看護師(保健師、助産師、看護学校等の教官を含む)として、5年以上の勤務経験を有する者								
資格要件の確認方法	出願時に証明できる資格の写しを提出(1次試験当日原本確認)								
選考方法・試験内容	1次試験における教職教養試験の免除 高校家庭は、上記に加え2次試験の被服実技を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
	平成28年度受験者数(名)				3				3

(さいたま市)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)			満	58	歳以下			
資格要件	民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員として、通算3年以上の勤務経験(休職期間等、勤務の実態がない期間を除く)を有する者								
資格要件の確認方法	勤務証明書による確認								
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に代えて論文試験を実施								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	25	19			7	2	53	
	平成26年度採用者数(名)	2	0			1	1	4	
	平成27年度受験者数(名)	20	29			3	1	53	
	平成27年度採用者数(名)	0	0			1	0	1	
	平成28年度受験者数(名)	16	19			0	2	37	

(横浜市)

選考名称	特別選考②(社会人・国際貢献活動経験者特別選考)	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)			満	59	歳以下			
資格要件	受験資格を満たし、同一の民間企業等※1における継続勤務歴が、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に3年以上(受験区分が中学校・高等学校の数学及び理科の場合は2年以上)ある人。								
資格要件の確認方法	職歴証明書又は在職証明書の提出								
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考②該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	75	126	1	5	12		219	
	平成26年度採用者数(名)	13	12	0	0	2		27	
	平成27年度受験者数(名)	50	85		5	8		148	
	平成27年度採用者数(名)	11	3		1	1		16	
	平成28年度受験者数(名)	47	74		8	7		136	

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員等経験者・資格取得者 特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	民間企業又は官公庁等において常勤の職(国公立学校の教員経験を除く)として、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に通算3年以上勤務した経験(休職期間等勤務の実態がない期間を除く)を有し、必要とする職歴証明を提出できる人							
資格要件の確認方法	任命権者等の証明を受けた職歴証明書を第2次試験合格後に提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、教科専門試験、集団討論 第2次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	24	21		2	9		56
	平成26年度採用者数(名)	0	0		0	1		1
	平成27年度受験者数(名)	17	30		6	6		59
	平成27年度採用者数(名)	2	4		1	0		7
	平成28年度受験者数(名)	13	25		4	8		50

(相模原市)

選考名称	社会人経験者(ア)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全受験区分・教科等		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	受験する受験区分・教科等の教諭普通免許状を所有している人又は平成28年3月31日までに取得見込みの人で、「民間企業(法人)」及び「官公庁等(国公立学校は除く)で常勤社員・職員として平成20年4月1日から平成27年3月31日までの7年間に、通算5年以上又は一つの民間企業、官公庁で継続して3年以上の勤務経験(育児休業、休職、停職等の期間を除く)を有する者(ただし、申込締切日時点で相模原市教育委員会(市立学校は含まれない。)に勤務しているものを除く。)							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	18	19			3		40
	平成26年度採用者数(名)	2	4			0		6
	平成27年度受験者数(名)	13	27			4		44
	平成27年度採用者数(名)	1	0			0		1
	平成28年度受験者数(名)	9	11			3		23

(福岡市)

選考名称	社会人等特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 40 歳以下					
資格要件	平成17年4月1日から平成27年4月30日までの間に法人格を有する同一の民間企業(私立学校も含む)の正社員又は同一の官公庁等の正規職員として、継続して5年以上の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く)がある人							
資格要件の確認方法	職歴証明者の提出(第2次試験合格者のみ提出)							
選考方法・試験内容	選考方法:一般選考と別枠で行うが、選考区分は「(3)国際貢献活動経験による特別選考」と同一枠で募集 試験内容:第1次試験は専門教科・一般教養・論文 第2次試験は一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	10	11	2	3	7	1	34
	平成26年度採用者数(名)	1	0	0	0	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)	7	16	1	2	3	2	31
	平成27年度採用者数(名)	0	1	0	1	0	1	3
	平成28年度受験者数(名)	5	13	2	1	0	0	21

(5) 教職経験による特別の選考

(宮城県・仙台市)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)							
資格要件	1.出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の実習助手、寄宿舎指導員、常勤講師、非常勤講師、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舎指導員のいずれかとして勤務しており(休業等の者を除く)、平成22年4月1日から平成27年5月19日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者。 2.出願時に学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上勤務している(休業等の者を除く)者。							
資格要件の確認方法	出願時に提出する人物証明書							
選考方法・試験内容	第1次選考については「専門教養」、「実技(実技のある教科のみ)」、「集団面接」、第2次選考については一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	257	261	39		48	3	608
	平成26年度採用者数(名)	71	46	9		7	1	134
	平成27年度受験者数(名)	246	255	35		43	1	580
	平成27年度採用者数(名)	53	49	7		6	1	116
	平成28年度受験者数(名)	205	218	42		37	12	514

※ 常勤講師の中には、宮城県内の市町村が小学校・中学校で臨時的任用をしている教育職員(採用条件として教員免許の所有を定め、勤務時間が1週当たり38時間45分以上の者)を含む。また、非常勤講師については、採用条件として教員免許の所有を定めているものとする。

(山形県)

選考名称	現職教員特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)							
資格要件	一般受験資格を満たし、平成28年3月31日現在、本県以外において、志願する校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職で、国立大学法人附属学校並びに公立の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の正式採用教員として、継続して5年以上在職している40歳未満の心身共に健康な者。							
資格要件の確認方法	在職証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験において、教職教養・一般教養の代わりに小論文を課す。それ以外は一般選考と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	15	10	2	0	1	0	28
	平成26年度採用者数(名)	3	3	1	0	0	0	7
	平成27年度受験者数(名)	14	8	1	1	0	0	24
	平成27年度採用者数(名)	4	2	0	1	0	0	7
	平成28年度受験者数(名)	12	5	1	1	1	0	20

(福島県1)

選考名称	特別選考Ⅰ(教職経験者特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種、全教科(科目)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満	50	歳	以下		
資格要件	1. 教諭や養護教諭(現職、過去の実績を問わない)として継続して3年以上の教職経験がある者 2. 一般選考に示した受験資格を有する者 3. 平成28年4月1日現在、満27歳以上50歳以下の者(本県の教諭で他の校種・教科を希望する場合は満27歳以上であれば可)							
資格要件の確認方法	任命権者が発行する職歴証明書により確認する。							
選考方法・試験内容	第一次試験:小論文、指導案作成・模擬授業(高校の保体、音楽、美術、書道及び家庭の受験者を除く)、実技試験(中学校の音楽、美術、保体、技術、家庭、高校の保体、音楽、美術、書道、家庭)及び個人面接 第二次試験:一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	58	17	21	13	3		112
	平成26年度採用者数(名)	28	6	1	4	1		40
	平成27年度受験者数(名)	46	18	19	6	1		90
	平成27年度採用者数(名)	32	6	1	1	0		40
	平成28年度受験者数(名)	45	24	14	11	0		94

(福島県2)

選考名称	特別選考Ⅱ(臨時的任用教員経験者特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種、全教科(科目)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	45	歳	以下		
資格要件	1. 本県内の公立学校及び本県内の国立大学法人附属学校において、臨時的任用教員として直近の3年度間に通算15か月以上の教職経験がある教員 2. 一般選考に示した受験資格を全て有する者							
資格要件の確認方法	特別選考Ⅱ受験資格申告書及び該当期間における辞令のコピーを添付して提出させて確認する。							
選考方法・試験内容	第一次試験:筆答試験(教職教養を除く)、実技試験(小学校、中学校の音楽、美術、保体、技術、家庭、高校の保体、音楽、美術、書道、家庭及び特支のうちこれに該当する者)及び集団面接 第二次試験:一般選考と同様							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	275	344	300	106	55		1,080
	平成26年度採用者数(名)	34	26	31	14	12		117
	平成27年度受験者数(名)	223	322	256	90	60		951
	平成27年度採用者数(名)	39	31	15	12	0		97
	平成28年度受験者数(名)	195	315	218	89	56		873

(茨城県)

選考名称	講師等経験者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校、中学校(国・数・理・保体・英)、高等学校(国・数・保体・英・工・農・商)、特別支援学校、養護教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	小学校50名程度、中学校27名程度、高等学校12名程度、特別支援学校7名程度、養護教諭若干名			満	44	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格を満たした者で、本県内の臨時的任用の講師・養護助教諭・実習助手・寄宿舎指導員(非常勤講師は除く)として勤務し、直近4年で24か月以上の勤務経験を有する方、又は直近4年で12か月以上かつ志願時において臨時的任用講師等として勤務している方。								
資格要件の確認方法	講師等経験者特別選考勤務実績証明書(様式あり)を提出する。								
選考方法・試験内容	第1次試験の一般教養・教職専門試験を免除する。(単願のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		87	73	57	44	15		276
	平成26年度採用者数(名)		43	22	11	4	2		82
	平成27年度受験者数(名)		203	164	86	74	58		585
	平成27年度採用者数(名)		60	46	11	7	3		127
平成28年度受験者数(名)		204	162	86	62	63		577	

(栃木県1)

選考名称	教職経験により一部試験を免除した選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種、教科、科目		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	現在、正規任用の主幹教諭、指導教諭、教諭又は養護教諭(いずれも、臨時的任用教職員及び非常勤講師を除く)として勤務し、都道府県(栃木県は除く)又は指定都市において、平成28年3月31日まで継続して3年以上の勤務が見込まれる者(休職、育休等の期間を除く)。ただし、受験する校種、教科・科目と同一の教職経験を2年以上有している者とする。								
資格要件の確認方法	在職証明書(様式自由、任命権者の証明したもの)を提出させるとともに、履歴書に勤務経験のある校種、教科・科目等を記載させ、書類選考を実施。								
選考方法・試験内容	対象となった者には、1次試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		20	4	3	4	1		32
	平成26年度採用者数(名)		18	3	1	3	0		25
	平成27年度受験者数(名)		21	6	6	3	2		38
	平成27年度採用者数(名)		10	2	2	2	0		16
平成28年度受験者数(名)		25	6	4	3	1		39	

(栃木県2)

選考名称	講師等の経験により一部試験を免除した選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種、教科、科目	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	44	歳以下			
資格要件	平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間に栃木県内の講師(非常勤講師を含む)等として通算で12か月以上の勤務をしている者であり、かつ、平成27年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受け、平成28年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において同校種、教科、科目を志望する者。							
資格要件の確認方法	「平成27年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)」のコピー、勤務状況報告書の提出。							
選考方法・試験内容	対象となった者には、1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	14	18	13	5	1		51
	平成26年度採用者数(名)	9	12	9	4	0		34
	平成27年度受験者数(名)	15	15	12	3	1		46
	平成27年度採用者数(名)	7	7	7	2	0		23
	平成28年度受験者数(名)	7	15	15	0	4		41

(群馬県1)

選考名称	現職教員特別選考試験	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	志願する募集区分の校種と同じ校種の国公立学校の正規教員として現に勤務し、平成27年3月31日現在、休職及び育児休業の期間を除き、3年以上在職する人							
資格要件の確認方法	自己申告による							
選考方法・試験内容	「小学校教育・中学校教育・特別支援学校教育・高等学校教育・養護に関する科目」のみ受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	17	3	5	3	2		30
	平成26年度採用者数(名)	9	2	3	3	0		17
	平成27年度受験者数(名)	8	11	2	2	2		25
	平成27年度採用者数(名)	5	3	0	2	1		11
	平成28年度受験者数(名)	12	16	0	3	1		32

(群馬県2)

選考名称	臨時的任用教員経験者特別選考試験		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科			特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に群馬県の公立学校(幼稚園は除く)で臨時的任用教員又はわかばプラン非常勤講師等として、36か月以上勤務した経験を有する人。							
資格要件の確認方法	経験月数を証明する辞令の写し(無い場合は在職証明書(写しも可))を提出。							
選考方法・試験内容	「小学校教育・中学校教育・特別支援学校教育・高等学校教育・養護に関する科目」のみ受験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	85	127	83	29	22		346
	平成26年度採用者数(名)	34	33	9	8	1		85
	平成27年度受験者数(名)	26	174	79	32	23		334
	平成27年度採用者数(名)	5	41	10	7	0		63
	平成28年度受験者数(名)	46	276	114	60	29		525

(埼玉県1)

選考名称	臨時的任用教員経験者特別選考A選考、B選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員、栄養教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>◆臨時的任用教員経験者特別選考A選考                      埼玉県内の公立学校(さいたま市立小学校・中学校・特別支援学校(小・中学部)を除く。)及び同県内国立大学法人が設置する学校における常勤の臨時的任用教員又は任期付短時間勤務教員としての経験を直近3年間で7か月以上有する者。ただし、以下に掲げる要件に留意する。                      ・臨時的任用教員等の経験は、上記に掲げる学校での経験とする。なお、埼玉県内の市町村で単独に採用する常勤の教員経験期間も対象とする。                      ・直近3年間とは、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの期間とする。                      ・経験校種と出願校種は異なってもよい。                      ・経験教科と出願教科は異なってもよい。                      ・経験月数の数え方は、発令期間が1か月の中に1日でも存在すれば、当該月は経験月とする。                      ・経験期間は、連続している必要はない。また、異校種の経験を合算することができる。                      ・非常勤講師の経験は対象とはならない。</p> <p>◆臨時的任用教員経験者特別選考B選考                      ・上記「A選考」の受験資格を全て満たし、平成27年度埼玉県公立学校教員採用選考試験(26年度実施)第1次試験に合格した者。(志願区分・教科(科目)が同一のものに限る。また、平成27年度埼玉県公立学校教員採用選考試験で第1次試験全て免除された者は除く。)</p>							
資格要件の確認方法	現勤務校又は最終勤務校の保管する履歴書の写しで、所属長が原本証明したもの。							
選考方法・試験内容	臨時的任用教員経験者特別選考A選考…第1次試験は、筆答試験(一般教養・教職教養)に代えて面接試験 臨時的任用教員経験者特別選考B選考…第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1,023	999	609		107	0	2,738
	平成26年度採用者数(名)	288	254	118		10	0	670
	平成27年度受験者数(名)	1,011	956	525	245	117	0	2,854
	平成27年度採用者数(名)	283	196	80	81	13	0	653
	平成28年度受験者数(名)	1,036	945	499	253	129	0	2,862

(埼玉県2)

選考名称	経験者特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教員、栄養教員		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)								
資格要件	埼玉県内の公立学校における志願区分に該当する本採用教員としての教職歴が平成27年3月31日現在2年以上の者又は埼玉県外の公立学校における志願区分に該当する本採用教員としての教職歴を平成27年3月31日現在2年以上有し、平成27年4月1日現在引き続き本採用教員として任用されている者。 ただし、以下に掲げる要件に留意する。 ・「教職歴」とは学校教育法第1条に規定する小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校での経験をいう。 ・「教職歴」に、休職(休業)期間は含まない。休職(休業)とは、病気や出産・育児などにより勤務しない期間のことをいう。 ・中等教育学校における教職歴については、前期課程を中学校、後期課程を高等学校の教職歴とみなす。前期課程及び後期課程の双方を同時に担当した期間については、1週間当たりの授業時間数が前期課程の方が多い場合に中学校、後期課程の方が多い場合は、高等学校の教職歴とみなす。 ・経験教科と出願教科は異なってもよい。								
資格要件の確認方法	履歴書の写し(県内公立学校の本採用教員経験者においては、本採用最終勤務校、県外公立学校の本採用教員は現勤務校の保管する履歴書の写しで、所属長が原本証明したもの)								
選考方法・試験内容	第1次試験免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		51	23	28		7	0	109
	平成26年度採用者数(名)		18	12	13		3	0	46
	平成27年度受験者数(名)		59	33	22	15	7	0	136
	平成27年度採用者数(名)		39	16	10	8	3	0	76
平成28年度受験者数(名)		44	13	18	17	8	0	100	

(神奈川県1)

選考名称	正規教員経験者		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)								
資格要件	公立学校の正規教員として平成27年3月31日までに2年以上(休職、育児休業等の期間を除く)の勤務経験(ただし、受験する校種等・教科の免許状を所有し、かつ同一の教職経験に限る)								
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は、職歴証明書の提出。								
選考方法・試験内容	第1次試験において筆記試験を免除し、個人面接を課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		74	45	61	15	9		204
	平成26年度採用者数(名)		26	7	16	8	5		62
	平成27年度受験者数(名)		57	35	64	12	7		175
	平成27年度採用者数(名)		20	7	15	5	1		48
平成28年度受験者数(名)		72	23	68	17	9		189	

(神奈川県2)

選考名称	臨時的任用職員経験者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>A 神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を含む)の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として平成23年4月1日から平成27年3月31日までの4年間に通算2年以上の勤務経験(ただし、受験する校種等・教科の免許状を所有し、かつ同一の教職経験に限る。)</p> <p>B 神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を除く)の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として平成25年4月1日から平成27年3月31日までの2年間に通算1年以上の勤務経験を有し、平成27年5月1日現在も神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を除く)の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として任用されていること(ただし、受験する校種等・教科の免許状を所有し、かつ同一の教職経験に限る。)</p> <p>C 平成26年度実施の第2次試験における不合格者のうち、「不合格(臨時的任用職員候補者)」の通知を受け、平成27年4月に神奈川県内公立学校(県内政令指定都市立の学校を除く)の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として任用されていること(ただし、任用された校種の受験に限る。)</p> <p>※ なお、上記A、B及びCのいずれにおいても、特別支援学校を受験する場合に、特別支援学校教諭(盲・聾・養護学校教諭)免許状の所有の有無を問わない。</p>							
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類の提出。内定者は、職歴証明書の提出。							
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験を免除し、個人面接を課す。ただし、高等学校、特別支援学校区分の受験者は、筆記試験のうち一般教養・教職専門試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	303	330	185	241	49		1,108
	平成26年度採用者数(名)	104	129	52	63	12		360
	平成27年度受験者数(名)	371	338	207	245	50		1,211
	平成27年度採用者数(名)	108	104	40	74	9		335
	平成28年度受験者数(名)	429	357	223	223	52		1,284

(石川県)

選考名称	正規教員としての勤務経験を有する受験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校及び高等学校、養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	<p>一般選考の受験資格を全て満たし、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)として、平成27年3月31日現在、3年以上(休職、育児休業の期間を除く)の勤務経験があり、かつ、次の1.2.いずれかに該当する者</p> <p>1. 現に、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)である者</p> <p>2. 過去に、国公立学校の正規教員(教諭、養護教諭)であった者で、本県国公立学校の講師(臨時的任用又は非常勤)として、平成26年4月1日から平成28年3月末日までに11か月以上の勤務経験(見込みを含む)を有する者</p>							
資格要件の確認方法	出願時には自己申告書を提出し、採用候補者となった者は、受験資格に該当する職歴証明を提出							
選考方法・試験内容	小学校教諭等：一般選考の試験内容から、筆記試験及び実技試験を免除 中学校教諭等及び高等学校教諭等、養護教諭：一般選考の試験内容から筆記試験における総合教養を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	37	16	中に含む		2		55
	平成26年度採用者数(名)	10	4	2		0		16
	平成27年度受験者数(名)	33	10	中に含む		5		48
	平成27年度採用者数(名)	11	0	0		2		13
	平成28年度受験者数(名)	31	17	中に含む		3		51

(富山県)

選考名称	特別選考 教職経験	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成28年3月31日までに取得見込みであり、国立大学法人又は地方公共団体が設置する学校(幼稚園を除く)の主幹教諭、指導教諭、教諭又は養護教諭として平成27年3月31日まで継続して3年以上の勤務経験(休職、育児休暇等の期間を除く)があり、かつ出願時も引き続き任用中の者。							
資格要件の確認方法	第2次検査の結果通知後、任用候補者名簿に記載された者のみに在職・勤務証明書を提出させる。							
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	7	5		6	2		20
	平成26年度採用者数(名)	4	4		4	1		13
	平成27年度受験者数(名)	9	9		3			21
	平成27年度採用者数(名)	5	1		1			7
	平成28年度受験者数(名)	8	9		3			20

(山梨県)

選考名称	教職経験者を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満 54 歳以下					
資格要件	次の1.~3.のいずれかの経験を有する者 1. 過去において山梨県又は他の都道府県・政令指定都市の公立の小・中・高・特別支援学校の教諭若しくは養護教諭・栄養教諭として3年以上正規教員として勤務した経験を有する者 2. 現に他の都道府県・政令指定都市の公立の小・中・高・特別支援学校の教諭若しくは養護教諭・栄養教諭として正規教員の職にある者 3. 平成23年4月1日以降、山梨県の公立学校の小・中・高・特別支援学校の臨時的任用教職員として、平成28年3月31日現在で通算3年以上の勤務経験(見込みも含む)がある者							
資格要件の確認方法	県内の場合は在職経歴書で確認。県外で正規教員として勤務した経験者及び現に正規教員の職にある者は、任命権者の教育委員会発行の履歴証明書を提出させる。							
選考方法・試験内容	第一次検査において、一般・教職教養検査を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	50	49	52	32	9	0	192
	平成26年度採用者数(名)	22	14	9	9	2	0	56
	平成27年度受験者数(名)	48	61	60	26	11	0	206
	平成27年度採用者数(名)	18	17	11	8	5	0	59
	平成28年度受験者数(名)	72	54	86	31	11	0	254

(長野県)

選考名称	正規教員経験者を対象とした選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	長野県内の国公立学校の正規教員として5年以上の教職経験(育児休業等の期間を含む)があり、出産、育児及び介護等を理由に退職した者。小学校・中学校・特別支援学校教諭は、平成26年度又は平成27年度に長野県内の公立小・中・特別支援学校の常勤・非常勤講師の経験を有する者。高等学校教諭は、平成26年度又は平成27年度に長野県内の公立高等学校の常勤・非常勤講師の経験を有する者。							
資格要件の確認方法	履歴書の記入による。							
選考方法・試験内容	一次選考は専門教科(二次選考の際に参考とする)と書類審査、二次選考は個人面接を2回実施、適性検査、小学校、中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語、特別支援学校は実技あり。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	4	7	1	1			13

(静岡県)

選考名称	教職経験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	ウ 静岡県内外の国公立学校において、教諭又は養護教諭として平成27年3月31日までに2年以上の実務経験をもつ者 エ 静岡県内の国公立学校において、臨時的任用講師又は臨時的任用養護教諭として、平成26年度に勤務実績を有し、かつ、直近の過去3年度(平成24年度から平成26年度まで)で通算24か月以上勤務した者							
資格要件の確認方法	教職経験者を対象とした選考申請書(勤務歴証明)							
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	132	48	117	123	18		438
	平成26年度採用者数(名)	39	13	26	28	3		109
	平成27年度受験者数(名)	32	19	28	30	6		115
	平成27年度採用者数(名)	11	9	8	11	0		39
	平成28年度受験者数(名)	30	19	24	30	8		111

(愛知県1)

選考名称	現職教諭特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	国立大学法人が設置する学校又は公立学校の正規任用の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にあり、平成27年4月1日現在において、3年以上(休職、育児休業等の期間は除く。)の勤務実績を有する人。							
資格要件の確認方法	出願資格を確認できる、任用の期間及び現職にあることなどがわかる在職期間証明書、職歴証明書又は履歴書の写し等を提出する。							
選考方法・試験内容	選考試験の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	46	12	45	15	2	2	122
	平成26年度採用者数(名)	21	7	13	3	0	1	45
	平成27年度受験者数(名)	36	14	48	18	8	0	124
	平成27年度採用者数(名)	15	7	13	6	0	0	41
	平成28年度受験者数(名)	43	16	52	22	7	0	140

(愛知県2)

選考名称	元教諭・講師経験者特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	<p>次のア及びイを共に満たす人に限る。</p> <p>ア 平成27年4月1日以降に、愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の職員(正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭を除き、非常勤の職にある者を含む。)として勤務し、出願時に勤務する学校において所属長の推薦が得られた人</p> <p>イ 次の(ア)又は(イ)において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人</p> <p>※ 次の(ア)の勤務実績と(イ)の勤務実績は合算することができる。</p> <p>(ア) 元教諭としての勤務実績 平成27年3月31日までに、国立大学法人が設置する学校又は公立学校において正規任用の教諭、養護教諭及び栄養教諭としての勤務実績を有すること。</p> <p>(イ) 講師経験者としての勤務実績 平成20年4月1日から平成27年3月31日までの7年間に、国立大学法人が設置する学校又は公立学校において講師(非常勤の職にある者を除く。)又は養護教諭及び栄養教諭(正規任用者及び非常勤の職にある者を除く。)としての勤務実績を有すること。</p> <p>※ 勤務実績の算定方法について 元教諭又は講師(非常勤の職にある者を除く。)として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができる。</p>							
資格要件の確認方法	所定の「元教諭・講師経験者特別選考推薦書」の[受験者記入欄]に必要事項を記入の上、出願時に勤務する愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く。)の所属長が作成した推薦書を提出する。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	255	160	93	67	52	1	628
	平成26年度採用者数(名)	64	30	31	22	16	0	163
	平成27年度受験者数(名)	244	176	88	72	51	1	632
	平成27年度採用者数(名)	45	38	26	20	14	0	143
	平成28年度受験者数(名)	281	213	109	82	64	1	750

(愛知県3)

選考名称	介護理由退職者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次の全ての要件を満たす人に限る。 ア 愛知県内の公立学校(名古屋市立学校を除く)の正規任用教員(教諭・養護教諭・栄養教諭)であった人が、平成24年3月31日以降に、介護を理由にして退職し、出願時に退職校の校長が作成した「介護理由退職者特別選考証明書」の提出ができる人(退職時と同一校種、同一教科での出願に限る) イ 出願時に、退職日から3年以内の人							
資格要件の確認方法	「介護理由退職者特別選考証明書」の提出							
選考方法・試験内容	第2次試験の集団討議、個人面接及び小論文での選考							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	1	0	0	0	0	2
	平成26年度採用者数(名)	0	1	0	0	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)	1	0	0	0	0	0	1
	平成27年度採用者数(名)	1	0	0	0	0	0	1
	平成28年度受験者数(名)	0	0	0	1	1	0	2

(大阪府1)

選考名称	教職経験者等対象の選考 ア現職教諭・常勤講師等経験者一部選考免除対象者		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>【現職教諭】 次の1.及び2.を満たしていること。 1. 平成27年4月1日現在、学校教育法上の国立学校、公立学校(大阪府内の学校を除く。)、私立学校に正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を付さない常勤講師(いずれも、期間の定めのない雇用形態で、任期付き採用や臨時的任用の場合を除く。以下「教諭等」という。)として在職(休職中である場合を除く。)しており、平成28年3月31日までに同学校で通算2年(休職期間を除く。)以上の在職経験がある(見込みを含む。)こと。 2. 教諭等として平成28年3月31日現在で1年以上、出願する校種教科等の教育課程内の授業等を担当した(時間数は問わない。休職期間は除く。)実績があること。</p> <p>【常勤講師等経験者一部選考免除対象者】 次の1.及び2.を満たしていること。 1. 前年度採用選考テスト第2次選考結果通知書に一定の成績を修めたことが記載しており、前年度において受験した同一の校種教科(科目)等に出願していること。 2. 平成24年4月1日から平成27年3月31日までの間に大阪府内の公立学校における講師又は養護助教諭としての勤務経験(非常勤の経験は含まない。)がある者で、その勤務経験(休職期間を除く。)が平成27年3月31日までに通算3年以上あること。(*1)又は、平成27年4月1日現在、大阪府内の公立学校(大阪府立、堺府立の学校を除く。)における実習助手又は寄宿舎指導員(いずれも正規職員に限る。)として在職(休職期間を除く。)しており、平成27年3月31日までにその勤務経験が通算3年(休職期間を除く。)以上あること。(*2) (*1)大阪府内の同一の公立学校(大阪府立、堺府立、豊能地区市町立の学校を除く。)において講師又は養護助教諭として、平成27年5月7日から平成27年7月17日までの間、継続して発令されている者で、「校長・市町村教育委員会評価」を希望する者は、その勤務経験が平成27年3月31日までに通算1年以上あること。 (*2)大阪府内の同一の公立学校(大阪府立、堺府立の学校を除く。)において実習助手又は寄宿舎指導員(いずれも正規職員に限る。)として、平成27年7月17日までに在職予定の者で、「校長・市町村教育委員会評価」を希望する者は、その勤務経験が平成27年3月31日までに通算1年以上あること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時に願書の在職歴記入欄に経験を記入。合格後に在職証明書等の提出。							
選考方法・試験内容	<p>【現職教諭】第1次選考:面接テスト、第2次選考:面接テスト 【常勤講師等経験者一部選考免除対象者】第2次選考:面接テスト</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	69	52	97	10	12	1	241
	平成26年度採用者数(名)	14	11	24	5	5	1	60
	平成27年度受験者数(名)	76	50	102	7	7	0	242
	平成27年度採用者数(名)	26	21	31	1	2	0	81
	平成28年度受験者数(名)	50	32	73	2	14	1	172

(大阪府2)

選考名称	教職経験者等対象の選考 イ常勤講師経験者・実習助手・寄宿舎指導員		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>【常勤講師経験者】 次の1.及び2.を満たしていること。 1. 平成25年4月1日から平成27年3月31日までの間に大阪府内の公立学校において講師又は養護助教諭としての勤務経験(非常勤の経験は含まない。)があること。 2. その勤務経験が平成27年3月31日までに通算3年(休職期間を除く。)以上あること。 ※大阪府内の同一の公立学校(大阪市内、堺市立、豊能地区市町立の学校を除く。)において講師又は養護助教諭として、平成27年5月7日から平成27年7月17日までの間、継続して発令されている者で、「校長・市町村教育委員会評価」を希望する者は、その勤務経験が平成27年3月31日までに通算1年以上あること。</p> <p>【実習助手・寄宿舎指導員】 次の1.及び2.を満たしていること。 1. 平成27年4月1日現在、大阪府内の公立学校(大阪市内、堺市立の学校を除く。)において実習助手又は寄宿舎指導員(いずれも正規職員に限る。)として在職(休職期間を除く。)していること。 2. その在職期間が平成27年3月31日までに通算3年(休職期間を除く。)以上あること。 ※大阪府内の同一の公立学校(大阪市内、堺市立学校を除く。)において実習助手又は寄宿舎指導員(いずれも正規職員に限る。)として、平成27年7月17日まで在職予定の者で、「校長・市町村教育委員会評価」を希望する者は、その勤務経験が平成27年3月31日までに通算1年以上あること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時に願書の在職歴記入欄に経験を記入。合格後に在職証明書等の提出。							
選考方法・試験内容	第1次選考:面接テスト 第2次選考:面接テスト、筆答テスト、実技テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	276	349	254	40	71	0	990
	平成26年度採用者数(名)	53	106	51	4	3	0	217
	平成27年度受験者数(名)	334	520	411	29	109	0	1403
	平成27年度採用者数(名)	68	98	75	5	10	0	256
	平成28年度受験者数(名)	348	525	380	19	117	0	1389

(奈良県)

選考名称	教職経験特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	実習助手以外の募集する全校種		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	受験する校種で、現に国立及び公立(奈良県以外)学校教諭、私立学校の正規の現職教員として3年以上勤務(平成26年3月31日現在における勤務年数)している人、若しくは奈良県内の公立学校において、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間で通算3年(36か月)以上常勤講師の経験がある人							
資格要件の確認方法	出願時の願書・在職証明							
選考方法・試験内容	1次試験時の一般教養の免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	37	27	12	5	4	0	85
	平成26年度採用者数(名)	7	11	0	3	0	0	21
	平成27年度受験者数(名)	33	15	14	8	4	0	74
	平成27年度採用者数(名)	7	5	2	2	0	0	16
	平成28年度受験者数(名)	154	140	47	46	26	10	423

(鳥取県)

選考名称	現職教諭を対象とした選考		新規・継続		継続					
対象となる校種・教科	全ての試験区分		特別免許状の活用		無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)				満	49	歳以下			
資格要件	一般選考の受験資格に加え、他の都道府県の公立又は国立大学法人が設置する学校に教諭として正式に採用され、志願する試験区分の校種に、少なくとも平成25年4月1日から平成28年3月31日までの間勤務する者									
資格要件の確認方法	任命権者による履歴の証明									
選考方法・試験内容	第一次選考試験における全ての筆記試験及び技能・実技試験を免除し、面接試験のみ実施									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)		14	3		1			18	
	平成26年度採用者数(名)		9	3		0			12	
	平成27年度受験者数(名)		8	4		2			14	
	平成27年度採用者数(名)		6	2		0			8	
									平成28年度受験者数(名)	20

(岡山県・岡山市1)

選考名称	特別選考E[教職経験者を対象とした特別選考]		新規・継続		継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)				満	59	歳以下			
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)本県の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭(いずれも正規教員)として、2年以上の勤務経験(受験する校種・職種と同一の勤務経験に限る。)がある者で、退職日から10年を経過していない者。ただし、昭和31年4月2日以降に生まれた者。									
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書を提出させる。									
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において筆記試験を免除し、特別面接を実施する。									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)		2	1	0	0	0	0	3	
	平成26年度採用者数(名)		2	1	0	0	0	0	3	
	平成27年度受験者数(名)		1	3	0	0	1	0	5	
	平成27年度採用者数(名)		0	2	0	0	1	0	3	
									平成28年度受験者数(名)	3

(岡山県・岡山市2)

選考名称	特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]		新規・継続				継続				
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用				無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)						満	44	歳以下		
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)次の要件を全て満たす者。 1. 平成27年度(平成26年実施)岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験で、第1次試験の結果、第2次試験の受験資格を得た者。ただし、特別選考C[講師経験者を対象とした特別選考]又は特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考で受験した者を除く。 2. 平成27年度、常勤講師等又は非常勤講師として岡山県の公立学校等で勤務し、出願時に所属長の推薦を得た者。										
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書、所属長の推薦書及び平成27年度(平成26年実施)岡山県公立学校教員採用候補者選考試験の第1次試験又は第2次試験の結果通知の写しを提出させる。										
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。										
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計		
	平成26年度受験者数(名)		69	46	57	19	7		198		
	平成26年度採用者数(名)		37	16	33	12	4		102		
	平成27年度受験者数(名)		57	55	36	19	13	3	183		
	平成27年度採用者数(名)		32	24	18	11	7	3	95		
			平成28年度受験者数(名)		65	44	26	15	6	0	156

(広島県・広島市1)

選考名称	現職教員を対象とした特別選考		新規・継続				継続			
対象となる校種・教科	一般選考と同じ(養護教諭を除く)		特別免許状の活用				無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)						満	59	歳以下	
資格要件	一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次のア及びイの要件を満たす者 ア 国公立学校における正規職員(広島県、広島市の正規職員を除く。)として、平成27年3月31日までに通算して3年以上(受験する職種(実習助手(正規職員及び臨時的任用職員)、助教諭、非常勤講師は教諭とみなす。)、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。休職等の期間を除く。以下同じ。)の教職経験があること。 イ 出願時に国公立学校における正規職員であり、かつ、平成28年3月31日まで引き続き勤務予定であること。									
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出									
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)		39	9	15	2			65	
	平成26年度採用者数(名)		8	5	3	0			16	
	平成27年度受験者数(名)		34	11	16	3			64	
	平成27年度採用者数(名)		15	5	2	1			23	
			平成28年度受験者数(名)		42	14	15	3		74

(広島県・広島市2)

選考名称	臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	一般選考と同じ		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次の要件を満たす者。                  教諭の受験は、次のア又はイの要件のいずれかを満たす者であること。                  ア 広島県・広島市の公立学校で、正規職員(実習助手に限る。)、育休任期付職員、臨時的任用職員、非常勤講師等として、受験前過去4年間(平成23年度から平成26年度まで)で通算36か月以上の教科に関する教職経験(受験する職種(実習助手、助教諭、非常勤講師は教諭とみなす。)、校種(特別支援学校は各部)、教科(科目、分野)と同一の教職経験に限る。休職等の期間を除く。以下同じ。)があること。                  イ 広島県・広島市の公立学校で過去に正規職員として通算3年以上の教科に関する教職経験及び広島県・広島市の公立学校の育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等としての受験前過去2年間(平成25年度及び平成26年度)で通算12か月以上の教科に関する教職経験があること。                  養護教諭の受験は、次のア又はイの要件のいずれかを満たす者であること。                  ア 広島県・広島市の公立学校で、育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等として、受験前過去4年間(平成23年度から平成26年度まで)で通算36か月以上の養護に関する教職経験があること。                  イ 広島県・広島市の公立学校で過去に正規職員として通算3年以上の教職経験及び広島県・広島市の公立学校の育休任期付職員、臨時的任用職員又は非常勤講師等として受験前過去2年間(平成25年度及び平成26年度)で通算12か月以上の養護に関する教職経験があること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:集団面接、グループワーク 第2次試験:個人面接、模擬授業、実技試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	188	187	116	21	28		540
	平成26年度採用者数(名)	58	44	16	7	8		133
	平成27年度受験者数(名)	176	185	113	25	31		530
	平成27年度採用者数(名)	50	33	15	11	2		111
	平成28年度受験者数(名)	167	197	107	33	31		535

(徳島県1)

選考名称	本県での教職経験を有する者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	過去に、本県に所在する公立の小・中・高等学校・特別支援学校の教諭又は養護教諭の職にあった者							
資格要件の確認方法	履歴書等							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除 他は一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	0	0	0	0		1
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0		0
	平成27年度受験者数(名)	1	1	0	0	0		2
	平成27年度採用者数(名)	1	0	0	0	0		1
	平成28年度受験者数(名)	0	0	1	0	0		1

(徳島県2)

選考名称	現職教員を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	現に、他の都道府県に所在する国公立の小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校に勤務し、平成27年3月末現在、3年以上在籍する教員(臨時的任用に係る者を除く)							
資格要件の確認方法	履歴書等 公立学校共済組合員証等の写し(第2次審査時提出)							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除 他は一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	29	13	8	3	1		54
	平成26年度採用者数(名)	16	3	0	0	1		20
	平成27年度受験者数(名)	24	11	5	2	0		42
	平成27年度採用者数(名)	7	2	0	1	0		10
	平成28年度受験者数(名)	23	10	4	1	0		38

(徳島県3)

選考名称	臨時教員に係る特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	過去5年間(平成22~26年度)に36月以上、本県の小・中・高等学校・特別支援学校で臨時教員等としての勤務経験を有する者							
資格要件の確認方法	「臨時教員の勤務歴等に係る証明書(国・市町村、私立学校の発令がある場合)」及び「臨時教員の勤務歴等に係る申立書」							
選考方法・試験内容	第1次審査の筆記審査(教養)免除 他は一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	88	79	97	33	24		321
	平成26年度採用者数(名)	15	11	11	4	5		46
	平成27年度受験者数(名)	82	79	102	32	25		320
	平成27年度採用者数(名)	11	18	14	4	4		51
	平成28年度受験者数(名)	89	68	116	39	23		335

(香川県1)

選考名称	特別選考 I ②	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる						
	(具体的に)		満	59	歳以下				
資格要件	過去において本県又は他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にあった者。								
資格要件の確認方法	当該都道府県・指定都市の教育委員会の発行する履歴書証明書を出願時に提出させる。								
選考方法・試験内容	総合教養を免除する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	4	4	5	3	0	0	16	
	平成26年度採用者数(名)	4	2	1	0	0	0	7	
	平成27年度受験者数(名)	8	3	5	6	2	0	24	
	平成27年度採用者数(名)	4	2	0	2	1	0	9	
	平成28年度受験者数(名)	4	3	7	4	0	0	18	

(香川県2)

選考名称	特別選考 I ③	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる						
	(具体的に)		満	59	歳以下				
資格要件	現に他の都道府県・指定都市の公立学校の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にある者。								
資格要件の確認方法	願書に記載された職歴内容で確認する。								
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	30	16	12	2	3	0	63	
	平成26年度採用者数(名)	9	7	3	1	1	0	21	
	平成27年度受験者数(名)	24	10	11	8	2	1	56	
	平成27年度採用者数(名)	11	5	4	1	0	0	21	
	平成28年度受験者数(名)	23	8	12	9	6	1	59	

(香川県3)

選考名称	特別選考 I ⑤	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、 養護教諭、栄養教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	本県の国公立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校において、講師等(臨時的に任用され、非常勤(週30時間以上)を含む。)として勤務している講師及び養護助教諭をいう。以下同じ。)として、平成23年4月1日から平成27年6月3日までの間に、通算24力か月以上の勤務実績(異校種の勤務実績を合算することができる。)がある者							
資格要件の確認方法	発令庁が香川県の場合、講師等を対象として特別選考による受験申請書を、発令庁が香川県以外の場合には在職証明書を、受験者より提出させる。							
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	124	100	41	20	33	0	318
	平成26年度採用者数(名)	26	23	5	9	1	0	64
	平成27年度受験者数(名)	68	82	41	18	58	0	267
	平成27年度採用者数(名)	14	19	10	7	2	0	52
	平成28年度受験者数(名)	77	88	39	16	64	5	289

(愛媛県1)

選考名称	教職経験者特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満	49	歳以下			
資格要件	本県の、学校教育法(昭和22年法律第26号)第2条第2項に規定する国立学校又は公立学校の教員として5年以上の教職経験(期限付任用又は臨時的任用である期間及び休職、育児休業等の期間を除く。)を有する者							
資格要件の確認方法	教職経験者特別選考申請書による。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験の筆記試験の一部(一般教養及び教職専門科目)を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	4	4	0	0	0	0	8
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)	4	2	1	0	0	0	7
	平成27年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成28年度受験者数(名)	3	1	0	0	0	0	4

(愛媛県2)

選考名称	現職教員特別選考	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	59
資格要件	本県以外の都道府県の、学校教育法(昭和22年法律第26号)第2条第2項に規定する国立学校又は公立学校の教員として勤務している者で5年以上の教職経験(期限付任用又は臨時的任用である期間及び休職、育児休業等の期間を除く。)を有する者								
資格要件の確認方法	現職教員特別選考申請書による。								
選考方法・試験内容	第1次選考試験の筆記試験の一部(一般教養及び教職専門科目)を免除する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	5	5	0	2	0	0	12	
	平成26年度採用者数(名)	1	1	2	0	0	0	4	
	平成27年度受験者数(名)	8	8	1	0	0	0	17	
	平成27年度採用者数(名)	1	2	0	0	0	0	3	
	平成28年度受験者数(名)	6	7	2	0	1	0	16	

(鹿児島県)

選考名称	優秀教員特別選考	新規・継続	継続						
対象となる校種・教科	全ての校種・教科	特別免許状の活用	無						
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	45
資格要件	他都道府県又は政令指定都市の学校等に勤務している正規教員で、過去に文部科学省及び都道府県又は政令指定都市において、優秀教員表彰等を受けた者								
資格要件の確認方法	出願時に証明できる資格の写しを提出(1次試験当日原本確認)								
選考方法・試験内容	1次試験における教職教養試験の免除								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	0	0	0		0	0	0	
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0		0	0	0	
	平成27年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	
	平成27年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	
	平成28年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0	

(さいたま市1)

選考名称	経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	国公立の小学校・中学校・特別支援学校(小学部・中学部)において、本採用教員として2年以上の勤務経験を有する方を対象とする。ただし、養護教員、栄養教員については国公立高等学校経験者も含む。							
資格要件の確認方法	本採用最終勤務校の保管する履歴書の写しによる確認							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	38	14			1		53
	平成26年度採用者数(名)	10	4			0		14
	平成27年度受験者数(名)	42	14			2		58
	平成27年度採用者数(名)	13	5			0		18
	平成28年度受験者数(名)	31	15			5		51

(さいたま市2)

選考名称	臨任教員勤務実績特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	58	歳以下	
資格要件	次の1.~3.のいずれかに該当する者 1. さいたま市立の小学校・中学校・特別支援学校の臨時的任用教員として、平成25年4月1日から平成27年3月31日までの2年間に於いて、通算170日以上勤務期間を有する者。 2. さいたま市スクールアシスタント(さいたま市の旧少人数指導等支援員等を含む)として、平成25年4月1日から平成27年3月31日までの2年間に於いて、通算170日以上の実勤務日数を有する者。 3. さいたま市立の小学校・中学校・特別支援学校の臨時的任用教員及びさいたま市スクールアシスタント(さいたま市の旧少人数指導等支援員等を含む)の勤務実績を有する場合、臨時的任用教員の勤務期間と、スクールアシスタントの実勤務日数を加えた期間が、平成25年4月1日から平成27年3月31日までの2年間に於いて、通算170日以上である者。 * 旧少人数指導等支援員等とは、少人数指導等支援員、学級等支援員、特別支援学級等補助員、通級指導教室補助員、英会話講師をいう。							
資格要件の確認方法	人事管理データにより確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	153	182			17		352
	平成26年度採用者数(名)	35	41			2		78
	平成27年度受験者数(名)	143	178			13		334
	平成27年度採用者数(名)	41	44			2		87
	平成28年度受験者数(名)	148	182			16		346

(横浜市)

選考名称	特別選考①(教職経験者特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>受験資格を満たし、受験区分に該当する「国及び地方公共団体が設置する学校における正規教員又は臨時的任用職員」、若しくは「私立学校又は文部科学大臣から認定を受けている日本人学校で常勤として勤務する教員」としての教職歴が、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に通算1年以上(休職等により勤務しなかった期間は含まない)ある人。</p> <p>(1)小学校応募者は、小学校における教諭としての教職歴が1年以上必要。</p> <p>(2)中学校・高等学校応募者は、中学校又は高等学校における教職歴が1年以上必要だが、中等教育学校又は高等専門学校における教諭としての教職歴を中学校の教職歴とみなし通算できる。</p> <p>(3)特別支援学校応募者は、特別支援学校(盲学校、聾学校、養護学校を含む)における教諭としての教職歴が通算して1年以上必要。</p> <p>(4)養護教諭応募者は、校種に関係なく養護教諭としての教職歴が1年以上必要。</p> <p>(5)非常勤講師の勤務歴は、特別選考①の受験資格とならない。</p>							
資格要件の確認方法	職歴証明書又は在職証明書の提出							
選考方法・試験内容	要件を満たす人は、特別選考①該当者として第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	403	450	7	90	54		1,004
	平成26年度採用者数(名)	112	68	2	30	10		222
	平成27年度受験者数(名)	413	469		72	51		1,005
	平成27年度採用者数(名)	92	66		20	6		184
	平成28年度受験者数(名)	418	411	13	81	44		967

(川崎市1)

選考名称	特別選考 I (正規教員経験者 特別選考)		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>国公立学校において正規教員として、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に、通算2年以上勤務した経験(休職・育児休業等の期間を除く)を有し、必要とする職歴証明を提出できる人</p>							
資格要件の確認方法	任命権者の証明を受けた職歴証明書を第2次試験合格後に提出							
選考方法・試験内容	<p>第1次試験:小論文、集団討論</p> <p>第2次試験:一般選考と同じ</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	37	18		4	6		65
	平成26年度採用者数(名)	9	3		1	1		14
	平成27年度受験者数(名)	40	20		10	3		73
	平成27年度採用者数(名)	8	5		1	2		16
	平成28年度受験者数(名)	13	5		11	1		30

(川崎市2)

選考名称	特別選考Ⅱ(臨時的任用職員・非常勤講師経験者 特別選考)		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)								
資格要件	川崎市立学校において臨時的任用職員又は非常勤講師(週20時間以上)として、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの間に通算11か月以上勤務した経験を有する人								
資格要件の確認方法	過去の任用歴を確認する								
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、集団討論 第2次試験:一般選考と同じ								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		119	138		12	13		282
	平成26年度採用者数(名)		41	50		8	4		103
	平成27年度受験者数(名)		126	120		19	8		273
	平成27年度採用者数(名)		28	35		5	3		71
	平成28年度受験者数(名)		121	135		34	10		300

(相模原市1)

選考名称	正規教員経験者		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全受験区分・教科等		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)								
資格要件	国、地方公共団体又は学校法人が設置する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の正規教員として平成27年3月31日までに2年以上の勤務経験(育児休業、休職、停職等の期間を除く)を有する者(受験区分・教科等と同一の教職経験でなくても可)								
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出								
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、一般教養・教職専門試験及び教科専門試験を免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		23	31			0		54
	平成26年度採用者数(名)		1	2			0		3
	平成27年度受験者数(名)		26	20			0		46
	平成27年度採用者数(名)		5	1			0		6
	平成28年度受験者数(名)		25	20			3		48

(相模原市2)

選考名称	臨時的任用職員・非常勤講師経験者	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全受験区分・教科等	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	<p>ア 地方公共団体が設置する小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の臨時的任用職員(非常勤講師を除く)として平成23年4月1日から平成27年3月31日までの4年間に、通算2年以上の勤務経験を有する者(受験区分・教科等と同一の教職経験でなくても可)</p> <p>イ 相模原市立の小学校、中学校の臨時的任用職員又は非常勤講師として平成25年4月1日から平成27年3月31日までの2年間に、通算11か月以上の勤務経験を有し、かつ、平成27年4月1日から平成27年4月30日までの間に、相模原市立の小学校、中学校の臨時的任用職員又は非常勤講師として任用実績がある者(受験区分・教科等と同一の教職経験でなくても可)</p>							
資格要件の確認方法	第2次試験合格後、職歴証明書を提出							
選考方法・試験内容	第1次試験のうち、一般教養・教職専門試験及び教科専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	93	94			8		195
	平成26年度採用者数(名)	28	27			0		55
	平成27年度受験者数(名)	85	107			7		199
	平成27年度採用者数(名)	12	17			2		31
	平成28年度受験者数(名)	90	112			6		208

(新潟市)

選考名称	教職経験者特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	<p>受験資格を満たしている人で、国・公・私立小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の正規教員として、5年以上の勤務経験があり、優れた知識・技能を有し、即戦力として活躍できる人。</p>							
資格要件の確認方法	職歴証明書							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	17	5		1	0		23
	平成26年度採用者数(名)	2	0		0	0		2
	平成27年度受験者数(名)	9	5		0	0		14
	平成27年度採用者数(名)	1	2		0	0		3
	平成28年度受験者数(名)	12	3		0	0		15

(静岡市)

選考名称	教職経験者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	以下の1.から3.までのいずれかに該当 1. 現に国公立学校の教諭又は養護教諭(これらのうち任用期間を付した教諭等は含まない)として平成27年4月1日現在、在職している者 2. 国公立学校で教諭又は養護教諭(これらのうち任用期間を付した教諭等は含まない)として通算3年間以上の実勤務経験のある者 3. 静岡市内の国公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭として、平成26年度に勤務実績を有し、かつ、直近の3か年度(平成24年度から平成26年度まで)で通算18か月以上勤務した者。ただし、臨時的任用講師等には、非常勤講師は含まない。							
資格要件の確認方法	教職経験者を対象とした選考対象とした選考申請書(最終勤務校又は現在勤務校の所属長証明を得たもの)を提出							
選考方法・試験内容	1次試験の教職・一般教養に代えて課題作文を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	33	24			10		67
	平成26年度採用者数(名)	5	5			4		14
	平成27年度受験者数(名)	37	36			7		80
	平成27年度採用者数(名)	5	14			2		21
	平成28年度受験者数(名)	41	27			7		75

(浜松市1)

選考名称	特別選考Bーア		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	国公立学校に勤務する現職正規教員であって、平成27年4月1日現在在籍し、3年以上の勤務経験をもつ者							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長が作成する勤務実績証明書を提出する。							
選考方法・試験内容	第1次選考を面接と適性検査のみとする。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	8	4			0		12
	平成26年度採用者数(名)	6	1			0		7
	平成27年度受験者数(名)	6	3			0		9
	平成27年度採用者数(名)	5	0			0		5
	平成28年度受験者数(名)	9	4			0		13

(浜松市2)

選考名称	特別選考B-イ	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	国公立小・中学校に勤務する現職正規教員であって、平成27年4月1日現在在籍し、実務経験3年未満の勤務経験をもつ者							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長が作成する勤務実績証明書を提出する。							
選考方法・試験内容	第1次選考試験の「課題作文、教職教養・一般教養」を免除し、それ以外は、一般選考受験者と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2	0			0		2
	平成26年度採用者数(名)	1	0			0		1
	平成27年度受験者数(名)	1	0			0		1
	平成27年度採用者数(名)	1	0			0		1
	平成28年度受験者数(名)	3	0			0		3

(浜松市3)

選考名称	特別選考B-ウ	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	平成26年度に国公立学校で講師としての勤務経験を有し、直近の2年間で通算12か月以上勤務した者、国公立学校の正規教員であって、通算12か月以上の勤務経験をもつ者、静岡県内教育施設の職員として平成26年度に通算10か月以上勤務した者							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長・職場の所属長が作成する勤務実績証明書を提出する。							
選考方法・試験内容	第1次選考の「教職教養・一般教養」と「課題作文」を選択して受験することができ、それ以外は一般選考受験者と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	64	32			15		111
	平成26年度採用者数(名)	11	6			2		19
	平成27年度受験者数(名)	62	42			10		114
	平成27年度採用者数(名)	12	6			0		18
	平成28年度受験者数(名)	68	35			11		114

(堺市2)

選考名称	現職教諭対象の選考		新規・継続		継続					
対象となる校種・教科	全校種等(教科)		特別免許状の活用		無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)				満	59	歳以下			
資格要件	1.「一般選考」の資格要件を満たしていること。 2.平成27年4月1日現在、国公立の幼稚園、小学校、中学校又は特別支援学校において、正規任用の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を附さない常勤講師として、同都道府県又は政令指定都市の公立学校に在職しており、平成28年3月31日までに同都道府県又は同政令指定都市の公立学校で通算して2年以上の在職経験がある(見込み含む。)こと。									
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。 選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出。									
選考方法・試験内容	面接									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)		17	12			1	1	31	
	平成26年度採用者数(名)		4	5			1		10	
	平成27年度受験者数(名)		8	6			2		16	
	平成27年度採用者数(名)		3	1			2		6	
			平成28年度受験者数(名)	14	8			1	2	25

(堺市2)

選考名称	講師等経験者対象の選考(ア)		新規・継続		本年度新規					
対象となる校種・教科	全校種		特別免許状の活用		無					
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)				満	59	歳以下			
資格要件	平成27年4月1日から平成27年6月4日までの間に堺市立学校園において、講師、養護助教諭又は実習助手(期限付き任用を含む。)としての勤務経験(非常勤としての勤務経験を含む。)があること(任用期間は問わない。)									
資格要件の確認方法	校園長から提出される講師評価による。									
選考方法・試験内容	小論文を免除し、講師評価を面接点に反映する。専門教養試験と面接試験のみの試験方法となる。									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)								—	
	平成26年度採用者数(名)								—	
	平成27年度受験者数(名)								—	
	平成27年度採用者数(名)								—	
			平成28年度受験者数(名)	116	145			20	0	281

(北九州市1)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	過去正規教員・・・過去10年間(平成27年3月31日まで)で、小学校、中学校又は特別支援学校(国公私立を問わない)の正規教員として、通算3年間以上の勤務経験がある者(ただし、受験する試験区分及び教科と同一の場合に限る。) 講師経験者・・・過去10年間(平成27年3月31日まで)で、北九州市立学校の常勤講師、非常勤講師、養護助教諭又は栄養代理職員として、通算3年以上の勤務経験がある者								
資格要件の確認方法	志願書提出時に在職証明書を提出させる。								
選考方法・試験内容	第一次試験のうち、筆記試験の教職教養を免除。その他の試験は一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		63	49		20	9	4	145
	平成26年度採用者数(名)		18	19		7	1	1	46
	平成27年度受験者数(名)		48	41		17	9	3	118
	平成27年度採用者数(名)		8	8		8	1	1	26
平成28年度受験者数(名)		71	80		28	11	12	202	

(北九州市2)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	現職教員・・・現に小学校、中学校又は特別支援学校(国公私立を問わない。)の正規教員として勤務している者(ただし、受験する試験区分及び教科と同一の場合に限る。)								
資格要件の確認方法	志願書提出時に在職証明書を提出させる								
選考方法・試験内容	第一次試験を全て免除し、第二次試験で模擬授業及び面接試験を行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		0	0		0	0	0	0
	平成26年度採用者数(名)		0	0		0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)		18	4		1	1	0	24
	平成27年度採用者数(名)		9	2		1	0	0	12
平成28年度受験者数(名)		14	11		5	2	0	32	

(福岡市)

選考名称	教職経験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種、全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>一般選考の受験資格(年齢以外)を満たし、かつ次の1.及び2.をいずれも満たす人</p> <p>1. 高等学校教諭以外の採用区分は、平成17年4月1日から平成27年4月30日までの間に、国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校において、正規教員として通算3年以上又は常勤講師(フルタイム勤務のみ。養護助教諭含む。)として通算5年以上(正規教員としての勤務期間を含めてもよい。)の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く。)がある人</p> <p>高等学校教諭の採用区分は、平成17年4月1日から平成27年4月30日までの間に、国公立の高等学校又は中等教育学校後期課程において、正規教員として通算3年以上又は常勤講師(フルタイム勤務のみ。)として通算5年以上(正規教員としての勤務期間を含めてもよい。)の勤務経験(休職、育児休業等の期間を除く。)がある人</p> <p>2. 昭和31年4月2日以降に出生した人</p>							
資格要件の確認方法	職歴証明書の提出(第2次試験合格者のみ)							
選考方法・試験内容	<p>選考方法: 一般選考と別枠で行う。満40歳以下の場合、一般選考との併願が可能</p> <p>試験内容: 第1次試験は一般教養、論文(併願者は、加えて専門教科)。第2次試験は一般選考と同じ。</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	159	100	7	48	20	1	335
	平成26年度採用者数(名)	14	15	3	9	5	0	46
	平成27年度受験者数(名)	137	77	6	50	15	2	287
	平成27年度採用者数(名)	37	13	1	12	0	0	63
	平成28年度受験者数(名)	116	89	8	59	15	1	288

(豊能地区1)

選考名称	常勤講師等経験者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>常勤講師経験者: 平成25年4月1日から平成27年3月31日までに大阪府内の公立学校における講師又は養護助教諭としての勤務経験がある人で、その勤務経験が平成27年3月31日までの間に通算3年以上あること。又は平成25年4月1日から平成27年3月31日までの間に豊能地区内の小・中学校における講師又は養護助教諭としての勤務経験が平成27年3月31日までに通算2年以上あること。</p>							
資格要件の確認方法	出願時は願書により確認。合格後は在職証明書等の提出により確認。							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト 面接、第2次選考テスト 面接、筆答、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	67	72			11		150
	平成27年度採用者数(名)	0	3			0		3
	平成28年度受験者数(名)	51	50			9		110

(豊能地区2)

選考名称	現職教諭対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	平成27年4月1日現在、学校教育法上の国立学校、公立学校(大阪府内の学校を除く。)、私立学校に教諭等として在職しており、平成28年3月31日までに通算2年以上の在職経験があること。							
資格要件の確認方法	出願時は願書により確認。合格後は在職証明書等の提出により確認。							
選考方法・試験内容	第1次選考テスト 面接、第2次選考テスト 面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	9	13			1		23
	平成27年度採用者数(名)	0	2			0		2
平成28年度受験者数(名)	15	14			4		33	

(6)いわゆる「教師養成塾」生を対象とした特別の選考

(埼玉県)

選考名称	埼玉県教員採用セミナー特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	平成26年度埼玉県教員採用セミナー受講生							
資格要件の確認方法	出願時の志願書により確認							
選考方法・試験内容	論文試験及び面接試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	74						74
	平成26年度採用者数(名)	73						73
	平成27年度受験者数(名)	77						77
	平成27年度採用者数(名)	77						77
	平成28年度受験者数(名)	79						79

(東京都)

選考名称	東京教師養成塾生を対象とした特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、特別支援学校小学部、特別支援学校中学部高等部・国語、社会、数学、理科、英語、保健体育		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)	150名程度			満		歳以下	
資格要件	申込日現在、東京教師養成塾に在籍し、平成27年3月31日までに確実に修了できる見込みの者。養成塾の資格については、小学校教諭一種免許状課程又は特別支援学校教諭一種免許状課程認定大学(大学院を含む。)で、東京都教育委員会が連携する大学に在籍し、東京教師養成塾の講座等に参加でき、平成27年3月に卒業又は修了見込みで、「推薦基準」に基づき学長が推薦する者。							
資格要件の確認方法	東京教師養成塾に確認。							
選考方法・試験内容	一般選考とは別の日程で個人面接のみ実施する。 東京教師養成塾の作成した「講座の履修状況報告書」を徴し、総合的に判定する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							149
	平成26年度採用者数(名)							143
	平成27年度受験者数(名)							149
	平成27年度採用者数(名)							142
	平成28年度受験者数(名)							0

(神奈川県)

選考名称	カレッジ修了者	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校・特別支援学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	受験する校種等・教科の教員普通免許状を所有している人又は平成28年3月31日までに取得見込みの人で、「かながわティーチャーズカレッジ(チャレンジコース)」の平成26年度修了者							
資格要件の確認方法	修了を申告する書類の提出							
選考方法・試験内容	第1次試験において、筆記試験のうち、一般教養・教職専門試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	53						53
	平成26年度採用者数(名)	29						29
	平成27年度受験者数(名)	58						58
	平成27年度採用者数(名)	37						37
	平成28年度受験者数(名)	71			16			87

(京都府)

選考名称	京都府「教師力養成講座」修了者に係る大学推薦特別推薦特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 49 歳以下					
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度実施の京都府「教師力養成講座」を良好な成績で修了した方。</li> <li>・平成28年3月において、大学を卒業見込み若しくは修了見込みの方。</li> <li>・小学校教諭の普通免許状又は中学校教諭の普通免許状を現に有する方又は平成28年3月31日までに確実に取得できる見込みの方。</li> <li>・昭和41年4月2日以降に生まれた方。</li> <li>・京都府公立学校(京都市立学校を除く。)教員(小学校、中学校)を志望する方。</li> <li>・京都府内どこにでも勤務できる方。ただし、北部採用枠については、京都府北部地域(綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町)において採用後10年間程度勤務できる方。</li> <li>・地方公務員法第16条各号(欠格条項)、学校教育法第9条各号(欠格事由)及び教育職員免許法第5条(授与)第1項ただし書きの各号に該当しない方。</li> </ul>							
資格要件の確認方法	大学からの推薦書類及び志願書類により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:面接試験(筆記試験免除) 第2次試験:個人面接、教育実践カテスト及び実技試験(一般選考に同じ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	39	13		5			57
	平成26年度採用者数(名)	28	7		3			38
	平成27年度受験者数(名)	42	19		9			70
	平成27年度採用者数(名)	33	9		6			48
	平成28年度受験者数(名)	42	15		9			66

(大阪府)

選考名称	大阪教志セミナー修了者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	次の1.及び2.を満たしていること。 1. 平成26年度大阪教志セミナーを修了し、修了証を取得していること。 2. 平成26年度大阪教志セミナーにおいて受講した同一の校種教科(科目)等に出願していること。							
資格要件の確認方法	修了証の写しを出願時に添付。							
選考方法・試験内容	第2次選考:面接テスト、筆答テスト、実技テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	95	37	40	16	5	0	193
	平成26年度採用者数(名)	70	26	23	5	2	0	126
	平成27年度受験者数(名)	98	40	46	11	6	0	201
	平成27年度採用者数(名)	72	23	24	4	4	0	127
	平成28年度受験者数(名)	92	46	44	10	4	0	196

(岡山県・岡山市)

選考名称	特別選考F[「教師への道」研修修了者を対象とした特別選考]		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	44	歳以下	
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)平成26年度に岡山県教育委員会が実施した「教師への道」研修を修了した者。ただし、平成27年度(平成26年実施)岡山県・岡山市公立学校教員候補者採用試験を特別選考Fで受験した者は除く。							
資格要件の確認方法	出願時に特別選考調書及び「教師への道」研修の修了証書の写しを提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者には、第1次試験において面接試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	35	22	9	1	4	0	71
	平成26年度採用者数(名)	17	3	0	1	0	0	21
	平成27年度受験者数(名)	56	11	10	4	9	0	90
	平成27年度採用者数(名)	24	2	2	3	3	0	34
	平成28年度受験者数(名)	49	5	10	1	13	0	78

(山口県)

選考名称	山口県教師力向上プログラム修了者特別選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	49	歳以下			
資格要件	平成26年度山口県教師力向上プログラムを修了した者							
資格要件の確認方法	平成26年度山口県教師力向上プログラム修了証書の写し							
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接、実技							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
平成28年度受験者数(名)	27							27

(横浜市)

選考名称	特別選考⑤(アイ・カレッジ特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	横浜市教育委員会が設置するアイ・カレッジ(よこはま教師塾)の卒業生であること。							
資格要件の確認方法	アイ・カレッジの成績表の提出							
選考方法・試験内容	成績優秀者は一次試験を免除する。それ以外の人には第一次試験で「教科専門試験」、「一般教養・教職専門試験」の代わりに「指導案に関する試験」を実施する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	60	23	0	4	0		87
	平成26年度採用者数(名)	41	14	0	3	0		58
	平成27年度受験者数(名)	46	32		0	0		78
	平成27年度採用者数(名)	31	12		0	0		43
平成28年度受験者数(名)	61	24	0	2	0		87	

(静岡市)

選考名称	特別選考試験		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	15～20人程度			満	59	歳以下	
資格要件	第6期しずおか教師塾の卒塾を認定された者で、「特別選考試験」を希望する者							
資格要件の確認方法	しずおか教師塾の卒塾認定書							
選考方法・試験内容	専門試験、課題作文、適性検査、個人面接試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	32						32
	平成26年度採用者数(名)	18						18
	平成27年度受験者数(名)	30						30
	平成27年度採用者数(名)	21						21
平成28年度受験者数(名)	31						31	

(7) 過去の合格者で大学院進学・修了後の採用を希望して辞退した者に対する特別の選考

(福井県)

選考名称	平成28年度大学院修士課程修了時特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	4名			満	59	歳以下		
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、次の1.及び2.のいずれにも該当する者。 1. 平成26年度又は平成27年度福井県公立学校教員採用選考試験において、平成28年度福井県公立学校教員採用選考の大学院修士課程修了時特別選考受験を認められた者。 2. 平成28年3月31日までに、選択して受験した専門教科の専修免許状を取得見込みの者。								
資格要件の確認方法	大学院修士課程の成績証明書 平成26年度及び平成27年度福井県公立学校教員採用選考試験関係公文書								
選考方法・試験内容	個人面接、適性検査、レポート								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								4
	平成26年度採用者数(名)			2	1				3
	平成27年度受験者数(名)			2	3				6
	平成27年度採用者数(名)			3	3				6
			3	1					4

(愛知県)

選考名称	大学院進学による採用辞退者に対する特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	次のア、イ、又はウの要件を満たすことが必要である。 ア 「平成25年度(24年実施)愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)進学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次の1.及び2.の要件を共に満たし、「平成25年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)での選考とする。 1. 平成28年3月31日までに大学院修士課程を修了見込みであること。 2. 平成28年4月1日までに、平成25年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。 イ 「平成26年度(25年実施)愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)進学又は在学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次の1.及び2.の要件を共に満たし、「平成26年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)での選考とする。 1. 平成28年3月31日までに大学院修士課程を修了見込みであること。 2. 平成28年4月1日までに、平成26年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。 ウ 「平成27年度(26年実施)愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院(教職大学院を含む。)在学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次の1.及び2.の要件を共に満たし、「平成27年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)での選考とする。 1. 平成28年3月31日までに大学院修士課程を修了又は修了見込みであること。 2. 平成28年4月1日までに、平成27年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。								
資格要件の確認方法	1. 願書の所定欄に、平成27年度(昨年度)以前に受験した際の受験番号を記入する。 2. 大学院修了見込み証明書を出願時に提出する。								
選考方法・試験内容	第2次試験の口述試験(集団討議及び個人面接)を行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		14	11	9	0	0	0	34
	平成26年度採用者数(名)		13	6	4	0	0	0	23
	平成27年度受験者数(名)		16	2	9	0	0	0	27
	平成27年度採用者数(名)		10	2	6	0	0	0	18
			8	1	7	1	0	0	17

(大阪府)

選考名称	大学院進(在)学者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	次の1.から3.の全てを満たしていること。 1. 平成26年度又は平成27年度教員採用選考テストに合格後、大学院進(在)学を理由として大阪府教育委員会に申出書を提出の上、採用を辞退していること。 2. 平成27年度中に大学院修士課程等を修了すること。 3. 平成28年度4月1日までに平成26年度又は平成27年度教員採用選考テストで合格した校種教科の専修免許状が取得できること。ただし、複数の免許要件を課した募集区分の場合は、要件となる免許のいずれかで専修免許状を取得できること。							
資格要件の確認方法	願書請求時に対象者の確認。							
選考方法・試験内容	第2次選考:面接テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	18	17	17	1	1	0	54
	平成26年度採用者数(名)	7	16	14	1	1	5	44
	平成27年度受験者数(名)	7	8	11	2	0	0	28
	平成27年度採用者数(名)	5	5	9	2	0	0	21
	平成28年度受験者数(名)	3	9	16	0	0	0	28

(奈良県)

選考名称	大学院・教職大学院特別選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	その他		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	前年度承認者数			満	39	歳以下	
資格要件	平成27年度奈良県教員採用試験合格者で、大学院・教職大学院特別選考受験承認書を受理している人のみ							
資格要件の確認方法	出願時の大学院・教職大学院特別選考受験承認書							
選考方法・試験内容	第2次試験の個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	2						2

(堺市)

選考名称	大学院進(在)学者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種等(教科)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	1. 「一般選考」の資格要件を満たしていること。 2. 次の(ア)(イ)(ウ)の全てを満たしていること。 (ア)平成26年度又は平成27年度堺市立学校教員採用選考試験(以下、それぞれ「H26試験」「H27試験」という。)に合格後、大学院修士課程(教職大学院を含む。以下同じ。)に進学又は在学中を理由として堺市教育委員会に申請書を提出し、採用を辞退していること。 (イ)平成27年度中に大学院修士課程を修了すること。 (ウ)平成28年4月1日までに「H26試験」又は「H27試験」で合格した校種等(教科)の専修免許状が取得できること。							
資格要件の確認方法	願書を堺市教育委員会に請求。資格要件を満たす人に願書を送付。 願書の経歴記入欄に受験資格に該当する免許要件等を記入。 選考試験合格後、修了証明書、専修免許状の写し等を提出。							
選考方法・試験内容	面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	0			0	0	0
	平成26年度採用者数(名)	0	0			0	0	0
	平成27年度受験者数(名)	2	2			0	0	4
	平成27年度採用者数(名)	2	2			0	0	4
	平成28年度受験者数(名)	3	2			0	0	5

(豊能地区)

選考名称	大学院進(在)学者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	・大阪府と合同実施した平成26年度教員採用選考テストに合格後、大学院進学を理由として申出書を提出の上、採用を辞退していること。 ・平成27年度中に大学院修士課程等を修了し、平成28年度4月1日までに専修免許状が取得できること。							
資格要件の確認方法	願書請求時に対象者の確認を実施。							
選考方法・試験内容	第2次選考テスト 面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	1	2					3
	平成27年度採用者数(名)	0	2					2
	平成28年度受験者数(名)		1					1

(8) 特定の教科や地域などの条件を付した特別の選考

(北海道)

選考名称	工業・水産特別選考		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	工業(電気通信)及び水産(商船)		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	49
資格要件	・工業(電気通信): 高等学校教諭の普通免許状(工業)を有している者で、第1級又は第2級総合無線通信士の免許を所有しているもの ・水産(商船): 高等学校教諭の普通免許状(商船)を有している者で、1級、2級又は3級海技士(航海)の免許を所有しているもの								
資格要件の確認方法	証明機関の発行する資格(技術)証明書(開封無効)又は資格(技能)を証明できる書類の写しを出願時に提出(出願時に写しを提出した場合は、第1次検査時に原本を確認)								
選考方法・試験内容	第1次検査については一般教養及び教職教養のみ実施。第2次検査については一般選考と同様である。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)				1				1	

(岩手県)

選考名称	特定教科特別選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	高等学校(家庭、水産・商船(機関))		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	49
資格要件	家庭においては、「家庭」の高等学校教諭の普通免許状、及び「管理栄養士」又は「栄養士」の資格を有する者(いずれも平成28年3月31日までに取得見込みの者も受験可)。水産・商船(機関)においては、水産か商船(機関)の普通免許状を有し(平成28年3月31日までに取得見込みの者も受験可)、かつ3級海技士の資格を有する者(取得しようとする者も受験可)。								
資格要件の確認方法	教員免許状及び必要な資格を確認できる書類を提出させ確認。								
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)								0
	平成27年度受験者数(名)				1				1
	平成27年度採用者数(名)				0				0
平成28年度受験者数(名)				2				2	

(千葉県・千葉市)

選考名称	特定教科特別選考		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	高等学校・看護、福祉、水産		特別免許状の活用		有				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	平成27年4月1日現在で、次の1.、2.のいずれかに該当する者 【看護】 1. 正規採用の看護師、保健師、助産師として3年以上の実務経験を有する者 2. 看護師、保健師、助産師のいずれかの資格を有し、看護師養成機関の専任教員(実習助手を含む)として3年以上の実務経験を有する者 【福祉】 1. 正規採用の介護福祉士として3年以上の実務経験がある者 2. 介護福祉士資格を有し、介護福祉士養成機関(福祉科を設置する高等学校を含む)の専任教員(福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤講師を含む)として3年以上の実務経験を有する者 【水産】 1. 正規採用の3級海技士(航海)(機関)として3年以上の実務経験がある者 2. 3級海技士(航海)又は3級海技士(機関)の資格を有し、海技士養成機関(水産科を設置する高等学校を含む)の専任教員(水産科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤講師を含む)として3年以上の実務経験がある者 ※1.2.とも現在、勤務していなくても可								
資格要件の確認方法	実務経験証明で確認する。								
選考方法・試験内容	第1次選考において、教職教養、専門教科を免除し、小論文、集団面接のみを課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
					10				10

(東京都)

選考名称	小学校(理科コース)		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校全科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	39	歳以下		
資格要件	昭和51年4月2日以降に出生し、小学校教諭普通免許状及び理科の中学校又は高等学校教諭普通免許状を取得済みの者又は平成28年4月1日までに取得する見込みの者を対象とする。								
資格要件の確認方法	合格発表後に免許状の写しを提出させる。								
選考方法・試験内容	一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		57						57
	平成26年度採用者数(名)		11						11
	平成27年度受験者数(名)		60						60
	平成27年度採用者数(名)		12						12
			59						59

(神奈川県)

選考名称	社会人経験者 ウ		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校・水産		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	教員普通免許状を所有していない社会人経験者。3級海技士(航海又は機関)の資格を有し、平成27年3月31日現在、資格に基づく実務経験が3年以上あり、教育職員免許法第5条第3項による特別免許状の申請が可能な人								
資格要件の確認方法	職歴を申告する書類。内定後、職歴証明書の提出。								
選考方法・試験内容	第1次試験において、一般教養・教職専門試験を免除し、個人面接を課す。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				1				1
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				0				0
	平成27年度採用者数(名)				0				0
平成28年度受験者数(名)				0				0	

(富山県1)

選考名称	特別選考 特定資格		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成28年3月31日までに取得見込みであり、以下の受検種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者 全ての種目…臨床心理士 中高理科(全科目)・工業(薬業)…薬剤師 中高英語…TOEIC860点以上・TOEFL iBT100点以上又はPBT600点以上・実用英語技能検定1級 中高家庭…調理師 中高工業(建築)…1級建築士 中高看護…看護師、助産師、保健師 中高情報…情報処理技術者試験合格者(詳細は実施要項参照) 中高福祉…介護福祉士・医師・看護師 特別支援学校…理学療法士、作業療法士、言語聴覚士								
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			10					10
	平成26年度採用者数(名)			6					6
	平成27年度受験者数(名)			8					8
	平成27年度採用者数(名)			2					2
平成28年度受験者数(名)			12					12	

(富山県2)

選考名称	特別選考 特定資格		新規・継続				本年度新規		
対象となる校種・教科	中学校・高等学校 看護		特別免許状の活用				有		
募集人員	若干名		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	高等学校卒業以上の学歴及び看護師免許を有する者で、次の(1)及び(2)を満たし、かつ(3)～(5)のいずれかの条件を満たす者。 (1) 昭和31年4月2日以降に生まれた者 (2) 学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しない者 (3) 平成27年3月31日までに、看護師、助産師又は保健師として通算5年以上の実務経験を有する者 (4) 平成27年3月31日までに、看護師、助産師又は保健師として通算3年以上の実務経験を有し、看護師養成機関の専任教員(実習助手を含む。)としての勤務経験を通算5年以上有する者 (5) 平成27年3月31日までに、看護師、助産師又は保健師として通算3年以上の実務経験を有し、養護教諭又は教諭(校種及び教科を問わない。ただし、幼稚園教諭は除く。)の普通免許状を有する者又は平成28年3月31日までに取得見込みの者。								
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)				2				2	

(静岡県1)

選考名称	ポルトガル語・スペイン語が堪能な者を対象とした選考		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	小学校教員、中学校教員、養護教員		特別免許状の活用				無		
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	日常生活や学校で必要なポルトガル語又はスペイン語を理解し、口頭で表現できる。								
資格要件の確認方法	ポルトガル語・スペイン語を母国語とする試験委員と口頭面接を実施し、その語学力、表現力を確認する。								
選考方法・試験内容	ポルトガル語・スペイン語を母国語とする試験委員と口頭面接を実施するほかは、一般選考と同様とする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		3	3			0		6
	平成26年度採用者数(名)		1	0			0		1
	平成27年度受験者数(名)		2	4			0		6
	平成27年度採用者数(名)		2	1			0		3
平成28年度受験者数(名)		1	3			0		4	

(静岡県2)

選考名称	博士号取得した者を対象とした選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校・理科		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	大学院の課程に学んだ経験があり、平成27年4月1日現在において、博士の学位を取得済みであること。								
資格要件の確認方法	博士号取得に関する証明書								
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				13				13
	平成26年度採用者数(名)				1				1
	平成27年度受験者数(名)				11				11
	平成27年度採用者数(名)				3				3
平成28年度受験者数(名)				13				13	

(静岡県3)

選考名称	医療機関等での勤務経験を有する者を対象とした選考		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	高等学校・福祉		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	大学の課程に学んだ経験があり、平成27年4月1日現在において、学士以上の学位を取得済みで、看護師、保健師又は助産師の資格を持ち、資格取得後、医療機関等において、医療、福祉関係の業務に従事し、平成27年3月31までに5年以上の勤務経験があること。								
資格要件の確認方法	卒業証明書、勤務経験証明書、看護師、保健師又は助産師の免許状の写し								
選考方法・試験内容	教職・一般教養を課題作文に代える以外は、一般選考と同様とする。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)				1				1	

(佐賀県1)

選考名称	小学校特別選考(算数)	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 39 歳以下					
資格要件	「小学校教諭の普通免許状」及び「中学校教諭の数学の普通免許状又は高等学校教諭の数学の普通免許状」の所有者又は平成28年3月末までに取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	「中学校教諭の数学の普通免許状又は高等学校教諭の数学の普通免許状」の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込み証明書を受験申込時に提出する。							
選考方法・試験内容	第一次試験及び第二次試験共に、まず小学校特別選考(数学)を行い、そこで合格できなかった者については、一般選考の小学校教諭等の選考対象となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	8						8

(佐賀県2)

選考名称	小学校特別選考(理科)	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 39 歳以下					
資格要件	「小学校教諭の普通免許状」及び「中学校教諭の理科の普通免許状又は高等学校教諭の理科の普通免許状」の所有者又は平成28年3月末までに取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	「中学校教諭の理科の普通免許状又は高等学校教諭の理科の普通免許状」の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込み証明書を受験申込時に提出する。							
選考方法・試験内容	第一次試験及び第二次試験共に、まず小学校特別選考(理科)を行い、そこで合格できなかった者については、一般選考の小学校教諭等の選考対象となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	9						9

(熊本県)

選考名称	高等学校教諭等(海洋漁業)特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	高等学校・水産	特別免許状の活用	無					
募集人員	採用予定数を明示する	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に) 1名程度		満 39 歳以下					
資格要件	高等学校教諭等(水産)又は高等学校教諭等(商船)の普通免許状を現に所有している者又は平成28年3月31日までに取得見込みであり、かつ3級海技士(航海)の海技免状を現に有している者又は平成28年3月31日までに取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	本人記述の志願書(資格記載欄及び履歴)で確認							
選考方法・試験内容	論述、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)			1				1

(さいたま市)

選考名称	小学校音楽専科特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 58 歳以下					
資格要件	小学校で主に音楽の授業を行う教員を希望する者で、小学校教諭普通免許状及び中学校教諭普通免許状の音楽を所有している者又は平成28年3月31日までに取得見込みの者							
資格要件の確認方法	教員免許状の写し又は教員免許取得見込み証明書の提出							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	31						31
	平成26年度採用者数(名)	6						6
	平成27年度受験者数(名)	23						23
	平成27年度採用者数(名)	5						5
	平成28年度受験者数(名)	34						34

(京都市)

選考名称	フロンティア特別選考 理数エコース		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校・数学、中学校・理科、高等学校・数学、高等学校・理科、高等学校・工業		特別免許状の活用		有				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	一般選考の資格要件に以下の1.又は2.の受験資格を追加 1. 平成27年3月31日時点で、博士号を取得している者で、受験教科の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する者 2. 大学・企業又は研究機関等において、研究・開発・調査等に関する勤務経験から、受験教科の分野における高度な専門的知識・経験又は技能を有する者 ※特別免許状の授与条件を満たしている者は、普通免許状を所有しない者及び取得見込みのない者も受験可能。								
資格要件の確認方法	1. 出願時に学位授与証明書を提出。 2. 内定時に職歴証明書を提出。								
選考方法・試験内容	第1次試験：一般教職教養・専門筆記に替えて論文試験を実施 第2次試験：集団面接に替えて個人面接を実施								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			7	24				31
	平成26年度採用者数(名)				1				1
	平成27年度受験者数(名)			5	12				17
	平成27年度採用者数(名)			1	1				2
	平成28年度受験者数(名)			4	19				23

(9) その他の資格や経歴等による特別の選考

(岩手県) (再掲: (4) 民間企業等勤務経験による特別の選考)

選考名称	社会人特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校(工業(機械)、水産・商船(機関))		特別免許状の活用		有				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)							満	49
資格要件	工業(機械)においては、博士の学位を有する者、又は民間企業等の従事者で平成27年4月1日現在、同一企業等で3年以上の勤務経験がある者で、いずれも工業(機械)に関する高度な専門的知識や技能を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者。水産・商船(機関)においては、3級海技士(航海又は機関)の資格を有し、平成27年4月1日現在、5年以上の資格に基づく実務経験があり、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を有する者。								
資格要件の確認方法	高度な専門知識や技能を修得したことを証明できる書類を提出させ確認(論文、勤務先の所属長による推薦書、取得している資格等)。								
選考方法・試験内容	書類審査の結果、選考された者について、面接試験(口頭試問を含む)を実施。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				2				2
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				3				3
	平成27年度採用者数(名)				2				2
平成28年度受験者数(名)				0				0	

(秋田県1)

選考名称	栄養教諭特別選考(任用換え)		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	栄養教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)	5名程度						満	55
資格要件	秋田県内の市町村立学校又は県立学校の学校栄養職員の現職(3年以上の勤務経験)又は、秋田県の学校栄養職員として採用され、3年以上の学校の勤務経験があり、現在、人事交流等により市町村や県の部局、秋田大学教育文化学部附属学校に勤務している者。・栄養教諭普通免許状を有する者(平成28年3月31日までの取得見込みを含む)。								
資格要件の確認方法	所持資格証明書、在職証明書								
選考方法・試験内容	第一次選考試験:なし 第二次選考試験:小論文、面接、適性検査、模擬授業								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)							12	12	

(秋田県2)

選考名称	社会人特別選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	高等学校教諭等	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と異なる					
	(具体的に)		満	49	歳以下			
資格要件	理学、農学、工学における博士の学位を有する者で、社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者							
資格要件の確認方法	志願書、最終学校の卒業証明書又は卒業証書の写し、博士号の学位を証明できるもの(写しでも可)、研究業績書(様式自由、A4判、2枚以内)、「志望の動機と抱負」(様式自由、A4判の用紙に800字以内)							
選考方法・試験内容	第一次選考試験:書類選考 第二次選考試験:小論文、面接、適性検査							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)			10				10

(山形県)

選考名称	教職大学院修了見込者特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	一般受験資格を満たし、平成26年4月から教職大学院に在籍し平成28年3月に修了見込みの者で、平成24年度以降実施した山形県公立学校教員選考試験に合格した者。ただし、合格した校種・教科・科目又は養護教諭・栄養教諭の職についてのみ志願できる。							
資格要件の確認方法	志願書類と平成24、25年度データ(氏名、生年月日、試験合否等)により確認。							
選考方法・試験内容	第一次選考試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成28年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0

(茨城県)

選考名称	大学等推薦特別選考		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	一般選考で採用する全校種・職種・教科・科目		特別免許状の活用					無	
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)	小10名程度、中各1名程度、特支1名程度(茨城県教育委員会が指定する教科)						満	現役学生
資格要件	茨城県公立学校教員を第一志望とする方。成績が優秀であるとともに、茨城県の教員として優れた実践力を発揮することが期待できる方で、茨城県教育委員会が指定する大学等の学長等が推薦する方。平成28年3月31日までに、大学、大学院を卒業見込み若しくは修了見込みである方。								
資格要件の確認方法	指定する大学に送付した「大学等推薦特別選考実施要項」に基づき、必要書類を大学等が取りまとめて郵送する。								
選考方法・試験内容	第一次試験を全て免除								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)			10	6		1			17

(栃木県1)

選考名称	若手人材を対象とする一部試験を免除した選考		新規・継続					継続	
対象となる校種・教科	全校種、教科・科目		特別免許状の活用					無	
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限					基本的年齢制限と異なる	
	(具体的に)							満	29
資格要件	平成27年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受け、平成28年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において同校種、教科、科目を志望する者。								
資格要件の確認方法	「平成27年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)」のコピーを提出。								
選考方法・試験内容	対象となった者には、1次試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		24	25	9	3	5		66
	平成26年度採用者数(名)		21	13	5	1	3		43
	平成27年度受験者数(名)		23	24	9	7	7		70
	平成27年度採用者数(名)		18	14	5	6	0		43
平成28年度受験者数(名)		31	23	14	5	4		77	

(栃木県2)

選考名称	特別支援学級担当等の経験により一部試験を免除した選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	小中学校併せて15名程度			満	44	歳以下	
資格要件	ア、イ、ウのいずれかに該当する者。 ア 特別支援学校教諭免許状をすでに取得あるいは取得見込みの者。 イ 平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間に栃木県内の講師(非常勤講師を含む)等として通算で12か月以上の特別支援学級担当又は特別支援学校勤務経験がある者。 ウ 平成27年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受けた者。ただし、小・中学校を受験した者。							
資格要件の確認方法	自己推薦書に加えて、上記アの者は特別支援学校教諭免許状の写し又は取得見込み証明書、上記イの者は勤務状況報告書、上記ウの者は平成27年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について(通知)のコピーを提出。							
選考方法・試験内容	書類選考で対象となった者で、上記ア又はイの者は、第1次試験の一般教養試験と集団面接を免除。上記ウの者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	68	56					124
	平成27年度採用者数(名)	11	9					20
	平成28年度受験者数(名)	64	57					121

(埼玉県)

選考名称	大学推薦特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校(理科、技術)、高校(数学、理科)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	以下の1.~3.(高等学校においては4.を含む。)の全ての要件を満たす者のうち、大学等が推薦する者 1. 埼玉県の教員となることを第1希望とし、埼玉県教育委員会が求める教師像にふさわしい資質と能力を有する者 2. 平成28年3月31日までに大学等を卒業見込み又は修了見込みの者 3. 健康で、学業成績が優秀であり、豊かな人間性を有する者 4. 高校(数学、理科)に関しては、平成28年3月31日までに高等学校教諭専修免許状(数学又は理科)を所有している者又は取得見込みの者							
資格要件の確認方法	大学が作成した推薦書							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	104	76	13				193
	平成26年度採用者数(名)	76	41	7				124
	平成27年度受験者数(名)	112	41	9				162
	平成27年度採用者数(名)	77	21	7				105
	平成28年度受験者数(名)	145	46	10				201

(富山県) (再掲: (1) 英語の資格による特別の選考)

選考名称	特別選考 特定資格		新規・継続				継続		
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	若干名		年齢制限				基本的年齢制限と同じ		
	(具体的に)						満	59	歳以下
資格要件	受検種目・受検教科(科目)の教諭普通免許状を所有するか、平成28年3月31日までに取得見込みであり、以下の受検種目ごとの資格のいずれかを出願時に有する者 全ての種目…臨床心理士、中高理科(全科目)・工業(業業)…薬剤師、中高英語…TOEIC860点以上・TOEFL iBT100点以上又はPBT600点以上・実用英語技能検定1級、中高家庭…調理師、中高工業(建築)…1級建築士、中高看護…看護師、助産師、保健師、中高情報…情報処理技術者試験合格者(詳細は実施要項参照)、中高福祉…介護福祉士・医師・看護師、特別支援学校…理学療法士、作業療法士、言語聴覚士								
資格要件の確認方法	出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。								
選考方法・試験内容	1次検査…小論文、専門教科筆答検査、個人面接、集団面接 2次検査…教養、適性検査、個人面接、選択実技(小学校、特別支援(小)の受検者のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			10					10
	平成26年度採用者数(名)			6					6
	平成27年度受験者数(名)			8					8
	平成27年度採用者数(名)			2					2
	平成28年度受験者数(名)			12					12

(福井県1)

選考名称	教育エキスパート特別選考 中高一貫教育分野		新規・継続				本年度新規		
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用				無		
募集人員	若干名		年齢制限				基本的年齢制限と異なる		
	(具体的に)						満	64	歳以下
資格要件	中学校又は高等学校の教諭の普通免許状を所有し、国・公・私立の中等教育学校又は併設型中高一貫校での勤務経験をおおむね5年以上有する者。								
資格要件の確認方法	辞令の写し又は在職証明書の提出								
選考方法・試験内容	小論文、個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
	平成28年度受験者数(名)								2

(福井県2)

選考名称	教育エキスパート特別選考 専門的産業教育(観光教育)分野		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	高等学校(商業、公民、地理歴史)		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、高等学校の商業、公民、地理歴史、社会のいずれかの教諭の普通免許状を所有(見込も含む)し、観光実務又は観光教育指導等の経験をおおむね5年以上有し、観光教育について専門的な知識をもつ者。								
資格要件の確認方法	辞令の写し又は在職証明書の提出								
選考方法・試験内容	小論文、個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)								0	

(福井県3)

選考名称	グローバル教育特別選考 英語教育分野		新規・継続					本年度新規	
対象となる校種・教科	中学校又は高等学校・英語		特別免許状の活用					無	
募集人員	若干名		年齢制限					基本的年齢制限と同じ	
	(具体的に)							満	59
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、中学校又は高等学校の英語の教諭の普通免許状を所有し、英語を母語とした外国籍を有する者、又は長期間(おおむね10年以上)英語圏に在住し、英語の堪能な日本人で、国・公・私立中学校、高等学校、中等教育学校において、英語科の指導の実務経験を有する者。								
資格要件の確認方法	辞令の写し又は在職証明書の提出								
選考方法・試験内容	小論文、個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)								0	

(長野県1)

選考名称	発達障がい児童生徒特別支援のための選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥多動性障害)、広汎性発達障害等、発達障害に関する専門の知識を有し、学校やNPO等で当該児童生徒に関わった経験が平成28年3月31日現在で3年以上ある者。							
資格要件の確認方法	履歴書、学校やNPO等の所属長の推薦書							
選考方法・試験内容	「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択(「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」と同様)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2	1					3
	平成26年度採用者数(名)	0	1					1
	平成27年度受験者数(名)	2	1					3
	平成27年度採用者数(名)	0	0					0
	平成28年度受験者数(名)	1						1

(長野県2)

選考名称	博士号取得者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校(数学、理科)、高等学校(数学、理科)		特別免許状の活用		有			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	数学分野又は理科分野における博士の学位を有し、教員の職務を行うのに必要な熱意と見識をもち、理数好きの生徒を育てる意欲のある者。中学校教諭志願者は、中学校教諭免許状を有すること。高等学校教諭志願者は、教員免許資格の有無は問わない。							
資格要件の確認方法	履歴書、所属長等の推薦書並びに博士号の学位を証明するもの(写しも可)							
選考方法・試験内容	「一般選考」又は「社会人を対象とした選考」のどちらかを選択。一次選考は免除。二次選考は他と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			9				9
	平成26年度採用者数(名)			1				1
	平成27年度受験者数(名)			8				8
	平成27年度採用者数(名)			2				2
	平成28年度受験者数(名)		1	15				16

(長野県3)

選考名称	補欠合格者を対象とした選考		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	前年度、本県の教員採用選考で補欠合格(B判定)となった者で、前年度と同一の校種・区分を志願する者。前年度に受験した校種・区分で受験。							
資格要件の確認方法	前年度採用選考の補欠合格者名簿							
選考方法・試験内容	一次選考免除。二次選考は他と同様。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
平成28年度受験者数(名)	9	16	8	7	4		44	

(長野県4)

選考名称	大学推薦選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	小学校・中学校教諭志願者は、小学校及び中学校教諭免許状をいずれも有している者(取得見込みを含む)で、中学校教諭免許状については、「国語・社会・数学・理科・英語」のうち1教科以上、これに加え「音楽・美術・保健体育・技術・家庭」のうち1教科以上、計2教科以上の複数免許状を有している者(取得見込みを含む)。特別支援学校教諭志願者は、小学校、中学校、特別支援学校教諭免許状(免許状の領域は問わない)をいずれも有している者(取得見込みを含む)。長野県教育委員会が依頼した大学の推薦を受けた者で、平成28年3月に卒業見込み又は大学院修了見込みの者。							
資格要件の確認方法	依頼した大学長の推薦書							
選考方法・試験内容	一次選考は専門教科(二次選考の際に参考とする)と書類審査、二次選考は個人面接を2回実施、適性検査、小学校、中学校音楽、中学校保健体育、中学校英語、特別支援学校は実技あり。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	5	5					10
	平成26年度採用者数(名)	5	5					10
	平成27年度受験者数(名)	5	6					11
	平成27年度採用者数(名)	5	5					10
平成28年度受験者数(名)	7	4		5			16	

(岐阜県1)

選考名称	理工系特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校・数学・理科(物理、化学、生物)、工業(機械系、電気・電子系、建築系)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	下記の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア)民間企業・官公庁等において、正社員あるいは正規職員等として3年以上の継続する勤務歴を有し、その勤務経験により志願する教科等に関する専門的な知識又は技能を有する者 (イ)志願する教科等に係る専門的な知識を有し、理工系の博士号を有する者								
資格要件の確認方法	(ア)による志願者については、該当となる職歴を証明する書類。(事業所の代表者又は任命権者による証明がなされたもの。様式は問わない。) (イ)による志願者については、該当する博士号の学位証明書。								
選考方法・試験内容	第1次選考試験において、筆記試験に代えて論文試験を実施。ほかは一般受験者と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)								0
	平成27年度受験者数(名)				6				6
	平成27年度採用者数(名)								0
平成28年度受験者数(名)				5				5	

(岐阜県2)

選考名称	多文化共生特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)	若干名			満	59	歳以下		
資格要件	児童生徒及び保護者に対して、文化や生活習慣の違いを説明できる程度のポルトガル語又はタガログ語の語学力を有する者								
資格要件の確認方法	第1次選考試験の面接試験の一部を当該外国語により行う。								
選考方法・試験内容	第1次選考試験の面接試験の一部を当該外国語により行う。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		1						1
	平成26年度採用者数(名)								0
	平成27年度受験者数(名)		1	1					2
	平成27年度採用者数(名)			1					1
平成28年度受験者数(名)			1					1	

(愛知県1)

選考名称	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)堪能者選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校の全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)が堪能(児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを図り、文化や生活習慣の違いを説明できる程度の語学力を有すること。)であること。							
資格要件の確認方法	自己申告による							
選考方法・試験内容	第1次試験の口述試験に加えて、当該外国語による面接を行い、面接を行い、面接の結果を成績に加味する。それ以外については、「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	10	30		3			43
	平成26年度採用者数(名)	2	5		1			8
	平成27年度受験者数(名)	10	16		1			27
	平成27年度採用者数(名)	2	1		0			3
	平成28年度受験者数(名)	11	19		1			31

(愛知県2)

選考名称	昨年度の補欠者に対する特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	「平成27年度愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「補欠」であった人が、「平成27年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科[科目]で受験する場合。							
資格要件の確認方法	願書の所定欄に、昨年度の受験番号を記入する。							
選考方法・試験内容	第1次試験免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	56	25	21	18	9	2	131
	平成26年度採用者数(名)	27	12	12	13	4	2	70
	平成27年度受験者数(名)	43	37	25	9	8	0	122
	平成27年度採用者数(名)	20	16	9	7	2	0	54
	平成28年度受験者数(名)	33	42	18	19	7	2	121

(愛知県3)

選考名称	大学推薦特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	中学校教諭・数学、理科、技術 高等学校教諭・数学、理科、工業 特別支援学校教諭・技術、工業(機械)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次の全ての要件を満たす人に限る。 ア 愛知県の教員として勤務することを第一志望とする人 イ 受験区分・教科に対応する教員免許状取得のための課程許可を受けている大学(短期大学、大学院を含む)を卒業見込みの人で、在学する大学の学長又は学部長の推薦が得られた人							
資格要件の確認方法	「大学推薦特別選考推薦書」の提出							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		32		1			33
	平成26年度採用者数(名)		14		0			14
	平成27年度受験者数(名)		23		1			24
	平成27年度採用者数(名)		12		1			13
	平成28年度受験者数(名)		24	22	0			46

(愛知県4)

選考名称	教職大学院修了見込み者特別推薦		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	次の要件を満たす人に限る。 ア 現在、教職大学院の在籍し、平成28年3月31日までに修了見込みの人 イ 愛知県の教員として勤務することを第一志望とする人							
資格要件の確認方法	「教職大学院修了見込み証明書」、「教職大学院成績証明書」、「教職大学院修了見込み者特別選考推薦書」、「教職大学院で学んだことを教員としてどう生かすかについて」の作文の提出							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除する。第2次試験は「一般選考」と同じ。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	24	6	5	0	0	0	35
	平成26年度採用者数(名)	4	1	0	0	0	0	5
	平成27年度受験者数(名)	15	4	2	0	0	0	21
	平成27年度採用者数(名)	6	3	1	0	0	0	10
	平成28年度受験者数(名)	13	2	2	0	0	0	17

(愛知県5)

選考名称	特別支援教育に関する特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	<p>ア 「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分 次の要件を満たす人 (ア) 小中学校の特別支援教育担当を強く希望する人 (イ) 「盲学校教諭免許」、「聾学校教諭免許」、「養護学校教諭免許」について、いずれかを現に所有している人、又は、特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち1領域以上が記された普通免許状を現に所有している人、又は平成28年3月31日までに取得見込みの人 イ 「特別支援学校教諭」の受験区分 (ア) 「盲学校教諭免許」「聾学校教諭免許」「養護学校教諭免許」について、そのうち2種類以上を現に所有している人、又は、特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち2領域以上が記された普通免許状を現に所有している人、又は平成28年3月31日までに取得見込みの人。 なお、「盲学校教諭免許」「聾学校教諭免許」「養護学校教諭免許」について、そのうち1種類を現に所有し、かつ、特別支援学校教諭免許について、「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」の領域のうち1領域以上が記された普通免許状を現に所有している人、又は平成28年3月31日までに取得見込みの人</p>							
資格要件の確認方法	「特別支援学校教諭の領域が記された普通免許状の写し」又は「普通免許状取得見込み証明書」の提出							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験の成績に加味する。また「特別支援学校教諭」の受験区分へ出願した人は第1次試験においては、論文試験と口述試験を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	59	10		214			283
	平成27年度採用者数(名)	22	0		32			54
	平成28年度受験者数(名)	75	5		161			241

(京都府1)

選考名称	スペシャリスト特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校・英語		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	10名以内			満	49	歳以下	
資格要件	英語を母語とする方。日本国内において、英語教育関係の職の勤務経験が5年以上ある方。教員の職務を行う上で必要とされる日本語の能力を有する方。特別免許状の授与条件を満たす方。							
資格要件の確認方法	実績報告書に、勤務経験(勤務実績)について記入し、実績の詳細をまとめたもの等実績の確認できる書類を提出させて確認							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、個人面接(筆記試験のうち一般教養と専門教科を免除) 第2次試験:個人面接、教育実践力テスト(実技試験を免除)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		0	1				1
	平成27年度採用者数(名)		0	1				1
	平成28年度受験者数(名)			0				0

(京都府2)

選考名称	大学推薦特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校、中学校(数学、理科)、高等学校(数学、理科)、特別支援学校		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	49	歳以下	
資格要件	<p>・平成28年3月において、上記免許状取得のための対象となる大学等を卒業見込み若しくは修了見込みの方。</p> <p>・小学校教諭一種(専修)免許状、中学校(数学)教諭一種(専修)免許状若しくは中学校(理科)教諭一種(専修)免許状又は高等学校(数学)教諭一種(専修)免許状若しくは高等学校(理科)教諭一種(専修)免許状又は特別支援学校教諭一種(専修)免許状を現に有する方又は平成28年3月31日までに確実に取得できる見込みの方。ただし、特別支援学校については、小学校、中学校及び高等学校のうちいずれかの普通免許状を合わせて有する方又は平成28年3月31日までに確実に取得できる方。</p> <p>・昭和41年4月2日以降に生まれた方。</p> <p>・京都府公立学校(京都市立学校を除く。)教員(小学校、中学校(数学、理科)、高等学校(数学、理科)又は特別支援学校)となることを強く志望し、京都府が求める教員像にふさわしい資質と能力を備えた方。公立学校教員としての適性を有し、健康かつ学業成績が優秀な方。</p> <p>・京都府内どこにでも勤務できる方。ただし、北部採用枠については、京都府北部地域(綾部市、福知山市、舞鶴市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町)において採用後10年間程度勤務できる方。</p> <p>・地方公務員法第16条各号(欠格条項)、学校教育法第9条各号(欠格事由)及び教育職員免許法第5条(授与)第1項ただし書きの各号に該当しない方。</p>							
資格要件の確認方法	大学からの推薦書類及び志願書類により確認							
選考方法・試験内容	<p>第1次試験：面接試験(筆記試験免除)</p> <p>第2次試験：個人面接、教育実践カテスト及び実技試験(一般選考に同じ)</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	94	25	37	32			188
	平成26年度採用者数(名)	26	7	12	14			59
	平成27年度受験者数(名)	79	15	33	18			145
	平成27年度採用者数(名)	19	5	5	9			38
	平成28年度受験者数(名)	61	16	22	15			114

(大阪府1)

選考名称	理科教育推進の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	「中学校・中学部」及び「高校・高等部」の理科		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳以下	
資格要件	<p>次の1.から3.のいずれかを満たしていること。</p> <p>1. 法人格を有する民間企業又は官公庁等において、理科教育に関連する研究・開発部門等において、常勤の職としての勤務経験が平成27年3月31日までに通算5年(休職期間を除く。)以上あること。</p> <p>2. 高度専門型理系教育指導者養成プログラム又は大阪府理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー)養成拠点構築プログラム(学生向けプログラム)を平成28年3月31日までに修了(見込みを含む。)し、修了証を取得(予定)していること。</p> <p>3. 平成22年4月1日から平成27年3月31日までに、独立行政法人日本学術振興会の科学研究費補助金奨励研究の採択を受けた研究に従事するなどの、自然科学に関する研究助成を受けた研究に従事した経験がある者又は小柴昌俊科学教育賞などの自然科学に関する受賞歴のある者。</p>							
資格要件の確認方法	出願時、願書に在職歴、資格又は助成を受けた研究、賞の内容を記入し、資格要件を証明する書類を添付。							
選考方法・試験内容	<p>第1次選考：面接テスト</p> <p>第2次選考：面接テスト、筆答テスト</p>							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	0	6	0	0	0	6
	平成26年度採用者数(名)	0	0	3	0	0	0	3
	平成27年度受験者数(名)	0	4	6	0	0	0	10
	平成27年度採用者数(名)	0	1	2	0	0	0	3
	平成28年度受験者数(名)	0	6	10	0	0	0	16

(大阪府2)

選考名称	大学等推薦者対象の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	「小学校」、「小中いきいき連携」、「中学校・中学部」の国語・数学・理科・技術・家庭、「高校・高等部」の国語・数学・理科(物理・化学・生物・地学)・工業(機械・電気・工業化学)、「特別支援学校(幼稚部・小学部共通、小学部、中学部、高等部)」、「中学部」及び「高等部」については、募集する全ての教科科目)		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳	以下
資格要件	推薦対象の校種教科の教諭一種普通免許状取得のための課程認定を受けている大学、又は推薦対象の校種教科の教諭専修普通免許状取得のための課程認定を受けている大学院及び教職大学院在籍者のうち、推薦基準の全ての要件を満たす者で、大学等が推薦する者。							
資格要件の確認方法	大学を通じて推薦にかかる必要書類を提出。							
選考方法・試験内容	第2次選考:面接テスト、筆答テスト、実技テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	95	52	53	13	0	0	213
	平成26年度採用者数(名)	67	34	20	8	0	0	129
	平成27年度受験者数(名)	161	82	48	13	0	0	304
	平成27年度採用者数(名)	99	54	27	5	0	0	185
	平成28年度受験者数(名)	148	82	60	14	0	0	304

(大阪府3)

選考名称	特別支援教育推進の選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	『特別支援学校』の「幼稚部・小学部共通」、「小学部」、「中学部」、「高等部」		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる			
	(具体的に)				満	50	歳	以下
資格要件	出願に必要な校種・教科・科目等の免許状に加えて、特別支援学校教諭免許状を所有(見込みを含む)すること。							
資格要件の確認方法	合格後、免許状の原本を提示。							
選考方法・試験内容	第1次選考:面接テスト 第2次選考:面接テスト、筆答テスト、実技テスト							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	40	22	101	5	1	169
	平成26年度採用者数(名)	0	22	7	18	1	0	48
	平成27年度受験者数(名)	0	67	44	147	0	0	258
	平成27年度採用者数(名)	0	16	4	41	0	0	61
	平成28年度受験者数(名)	0	111	57	223	0	0	391

(大阪府4)

選考名称	教員チャレンジテスト対象の選考		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	全ての校種・教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	平成26年度大阪府教員チャレンジテストにおいて、全問題数に対する正答率が75パーセント以上の者。								
資格要件の確認方法	教員チャレンジテストの結果通知時に送付した書類の原本を出願時に添付。								
選考方法・試験内容	第1次選考:面接テスト 第2次選考:面接テスト、筆答テスト、実技テスト								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)		126	100	152	1	43	6	428	

(和歌山県)

選考名称	博士号取得者特別選考		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	高等学校の数学、理科、工業、農業		特別免許状の活用		有				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	志願する教科に関する博士号を有していれば、教員免許状がなくても受験可能。								
資格要件の確認方法	学位記等の写し								
選考方法・試験内容	一次:作文、面接 二次:論文、実技、面接、適性検査								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)				12				12	

(岡山県・岡山市)

選考名称	特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、小学校(理数)及び中学校の理科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 44 歳以下					
資格要件	次の各号のいずれにも該当する者 (ア)一般選考の受験資格を満たす者。 (イ)「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー:CST)養成拠点構築プログラム」を修了した者(平成28年3月31日までに修了見込みの者を含む)。ただし、過去に岡山県・岡山市公立学校教員採用候補者選考試験を特別選考G[理数系教員養成拠点構築プログラム]修了者を対象とした特別選考で受験した者を除く。							
資格要件の確認方法	出願時に、特別選考調書及び「理数系教員養成拠点構築プログラム」の修了証書又は認定証の写し(修了した者のみ)を提出させる。							
選考方法・試験内容	書類選考の結果、特別選考の対象となった者は、第1次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	16	5					21
	平成26年度採用者数(名)	14	2					16
	平成27年度受験者数(名)	23	5					28
	平成27年度採用者数(名)	14	0					14
	平成28年度受験者数(名)	20	5					25

(広島県・広島市1)

選考名称	グローバル人材を対象とした特別選考【教職経験者(英語)】	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	中学校・高等学校(外国語 英語)	特別免許状の活用	有					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者であり、かつ、昭和31年4月2日以降に生まれた者であって、次の要件を満たす者。 ア 出願時に、外国国籍を有する者であること、又は、出願時に、日本国籍を有する者のうち、過去に外国国籍を有した者であること。 イ 母語が英語であること、又は、それと同等の英語の語学力を有していること。 ウ 外国での居住経験があり、大学(日本国内の4年制大学、又は、それと同等の外国の教育機関とする。)を卒業していること。 エ 広島県・広島市の公立学校で育休任期付職員、臨時的任用職員、非常勤講師、外国語実習助手等として、平成23年4月から平成27年8月までの期間に通算36か月以上の英語の指導に関する教職経験があること。							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認するとともに、面接試験において詳細を確認する。なお、第2次試験の結果通知後に、職歴を証明する書類(発令された履歴事項が全て記載されたもので、任命権者(雇用主)の証明印が必要)を提出							
選考方法・試験内容	個人面接、模擬授業							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		2	3				5
	平成27年度採用者数(名)		0	2				2
	平成28年度受験者数(名)		1	1				2

(広島県・広島市2)

選考名称	グローバル人材を対象とした特別選考【外国人留学生等】		新規・継続		本年度新規			
対象となる校種・教科	一般選考と同じ		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	一般選考の項に掲げる要件を満たす者であって、次のアからウまでの要件を満たす者。 ア 出願時に、外国国籍を有する者であること、又は、出願時に、日本国籍を有する者のうち過去に外国国籍を有した者であること。 イ 外国での居住経験があること。 ウ 出願時に、出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)別表第1の4の表の「留学」の在留資格を有し、同表に定める機関において教育を受ける活動を行う者であること、又は、過去に該当在留資格を有し、当該活動を行った者であること。							
資格要件の確認方法	出願時の受験願により確認するとともに、面接試験において詳細を確認する。							
選考方法・試験内容	一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)		1					1

(山口県1)

選考名称	看護科教諭特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	高等学校看護		特別免許状の活用		有			
募集人員	採用予定数を明示する		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)	高等学校看護 1人程度			満	49	歳以下	
資格要件	看護師免許証を有し、出願時点で、看護師、保健師又は助産師として通算5年以上の実務経験を有する者のうち、次の1.又は2.に該当する者 1. 高等学校教諭の看護の普通免許状を有する者 2. 当該普通免許状の取得又は取得見込みはないが、次に示す実務経験等を有し、その実務経験により出願する教科に関する専門的な知識経験又は技術を有すると認められ、社会的信望があり、かつ教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者							
資格要件の確認方法	志願書類等							
選考方法・試験内容	第一次試験:個人面接(口述試験)、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)			2				2
	平成27年度採用者数(名)			1				1
	平成28年度受験者数(名)			3				3

(山口県2)

選考名称	博士号取得者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校の理科(物理、化学、生物、地学)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	49	歳以下		
資格要件	博士号を有し、高度の専門的な知識又は技能を高等学校理科教育の推進に生かす意欲のある者								
資格要件の確認方法	博士号の学位を証明するもの又はその写しにより確認								
選考方法・試験内容	第一次試験:教科専門、集団面接(討議) 第二次試験:適性検査、小論文、集団面接(模擬授業・討議)、個人面接								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				0				0
	平成26年度採用者数(名)				0				0
	平成27年度受験者数(名)				3				3
	平成27年度採用者数(名)				2				2
平成28年度受験者数(名)				0				0	

(香川県)

選考名称	特別選考 I ④		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	高等学校、特別支援学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	現に本県公立学校において、実習助手又は寄宿舎指導員の職(臨時又は非常勤の者を除く。)に5年以上ある者。								
資格要件の確認方法	願書に記入された職歴内容で確認する。								
選考方法・試験内容	総合教養試験を免除する。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)				2	0			2
	平成26年度採用者数(名)				0	0			0
	平成27年度受験者数(名)				1	0			1
	平成27年度採用者数(名)				0	0			0
平成28年度受験者数(名)				1	0			1	

(佐賀県)

選考名称	小学校特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	39	歳以下			
資格要件	「小学校教諭の普通免許状」及び「中学校教諭の英語の普通免許状又は高等学校教諭の英語の普通免許状」の所有者又は平成28年3月末までに取得見込みの者。							
資格要件の確認方法	「中学校教諭の英語の普通免許状又は高等学校教諭の英語の普通免許状」の写し又は大学等が発行する教育職員免許状取得見込み証明書を受験申込時に提出する。							
選考方法・試験内容	第一次試験及び第二次試験共に、まず小学校特別選考(英語)を行い、そこで合格できなかった者については、一般選考の小学校教諭等の選考対象となる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	13						13
	平成27年度採用者数(名)	5						5
平成28年度受験者数(名)	8						8	

(沖縄県)

選考名称	特定の資格を有する者を対象とした特別選考	新規・継続	本年度新規					
対象となる校種・教科	高等学校・家庭(調理)	特別免許状の活用	無					
募集人員	若干名	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	45	歳以下			
資格要件	ア 高等学校の「家庭」の免許状を所持する者で専門調理師である者 イ 高等学校の「家庭」の免許状を所持する者で調理師免許を有し、調理師免許取得後5年以上調理の業務又は調理実習について教育研究若しくは実地指導の経験を有する者							
資格要件の確認方法	ア 職務経歴書 イ 専門調理師又は調理師免許の資格を有することを示す書類の写し							
選考方法・試験内容	資格に該当すると認められた者は一般選考の第一次試験を受験し、第一次試験に合格した場合は第二次試験を免除する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
平成28年度受験者数(名)			1				1	

(さいたま市1)

選考名称	小学校大学推薦特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 58 歳以下					
資格要件	さいたま市が指定した大学の推薦を受けた者で、平成28年3月に卒業見込みの者又は大学院修了見込みの者							
資格要件の確認方法	大学作成の推薦書により確認							
選考方法・試験内容	第1次試験を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	45						45
	平成26年度採用者数(名)	39						39
	平成27年度受験者数(名)	42						42
	平成27年度採用者数(名)	36						36
	平成28年度受験者数(名)	41						41

(さいたま市2)

選考名称	特別支援教育特別選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小・中	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 58 歳以下					
資格要件	次の1.2を両方満たす者 1. 小学校教諭普通免許状及び特別支援学校教諭普通免許状(領域を問わない)又は特別支援学校教諭普通免許状(領域を問わない)を所有している者(平成28年3月31日までに取得見込みも含む)又は特別支援教育担当者としての経験が直近5年間で2年以上の者。 2. さいたま市立小・中・特別支援学校の特別支援教育担当教員を希望する者。							
資格要件の確認方法	教員免許状の写し(取得見込み証明書)又は実務に関する証明書による確認							
選考方法・試験内容	第1次試験の筆答試験に替えて論文試験を実施。2次試験において、志願区分での実技試験のほか、特別支援教育に関する面接試験を実施。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	23	32					55
	平成26年度採用者数(名)	7	4					11
	平成27年度受験者数(名)	42	29					71
	平成27年度採用者数(名)	11	10					21
	平成28年度受験者数(名)	40	28					68

(横浜市)

選考名称	特別選考③(大学推薦特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校(数学、理科、英語)	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	(1)小学校 受験資格を満たし、小学校一種(専修)普通免許状取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受け、横浜市公立学校教員を第一希望とする人。 (2)中学校・高等学校(数学・理科) 受験資格を満たし、中学校一種(専修)普通免許状(数学又は理科)取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受け、横浜市公立学校教員を第一希望とする人。 (3)中学校・高等学校(英語) 受験資格を満たし、中学校一種(専修)普通免許状(英語)取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受け、横浜市公立学校教員を第一希望とする人。ただし、次の(ア)から(ウ)のいずれかの級・スコアを有する者を対象とする。 (ア) 実用英語技能検定 準1級 (イ) TOEIC(IPは除く) 800点以上 (ウ) TOEFL iBT 80点以上							
資格要件の確認方法	(1)学長による推薦書 (2)学生時代の活動における実績報告書 (3)学業成績証明書(各大学の様式による) (4)級・スコアを証明する書類(英語のみ)							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、合格者は、一次試験を免除する。 書類選考に合格しなかった人は、一般選考第一次試験を受験することができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	108	78					186
	平成26年度採用者数(名)	72	31					103
	平成27年度受験者数(名)	144	101					245
	平成27年度採用者数(名)	83	39					122
	平成28年度受験者数(名)	156	92					248

(川崎市)

選考名称	特別選考Ⅲ(社会人・青年海外協力隊員等経験者・資格取得者 特別選考)	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校・養護教諭	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満 59 歳以下					
資格要件	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、臨床心理士又は看護師のいずれかの資格を有し、その資格に基づく常勤の職として、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間に通算2年以上勤務した経験(休職期間等勤務の実態がない期間を除く)を有し、必要とする職歴証明を提出できる人							
資格要件の確認方法	受験に必要な資格を証明する書類及び任命権者等の証明を受けた職歴証明書を第2次試験合格後に提出							
選考方法・試験内容	第1次試験:小論文、教科専門試験、集団討論 第2次試験:一般選考と同じ							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	24	21		2	9		56
	平成26年度採用者数(名)	0	0		0	1		1
	平成27年度受験者数(名)	17	30		6	6		59
	平成27年度採用者数(名)	2	4		1	0		7
	平成28年度受験者数(名)	13	25		4	8		50

(新潟市)

選考名称	前年度2次受験者特別選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	平成27年度新潟市立小・中学校教員採用選考検査の第2次検査で不合格になった人で、平成27年度と同一校種・教科の受験を希望する人。							
資格要件の確認方法	前年度2次結果通知の写し							
選考方法・試験内容	書類選考を行い、その結果により、筆記検査(I・II)を免除。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	7	6		0	1		14
	平成26年度採用者数(名)	3	2		0	1		6
	平成27年度受験者数(名)	1	2		0	0		3
	平成27年度採用者数(名)	1	2		0	0		3
	平成28年度受験者数(名)	0	0		0	0		0

(静岡市)

選考名称	前年度の補欠者を対象とした選考		新規・継続		継続			
対象となる校種・教科	小学校・中学校・養護教員		特別免許状の活用		無			
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ			
	(具体的に)				満	59	歳以下	
資格要件	前年度の静岡市教員採用選考試験で補欠となったが、採用候補者とならなかった者							
資格要件の確認方法	補欠通知の写しの提出							
選考方法・試験内容	1次の筆記試験(教職・一般教養、教科専門)を免除							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)					1		1
	平成27年度採用者数(名)					0		0
	平成28年度受験者数(名)	4	2			1		7

(浜松市1)

選考名称	バイリンガル選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	日常生活や学校現場に必要なポルトガル語又はスペイン語を理解し、口語及び簡単な文章で表現することができる者							
資格要件の確認方法	受験者の自己申告							
選考方法・試験内容	1次選考時にポルトガル語又はスペイン語による特別面接を行う。 簡単な日常会話及び相談活動を想定した言語能力等を審査する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	6	6					12
	平成26年度採用者数(名)	1	1					2
	平成27年度受験者数(名)	2	5					7
	平成27年度採用者数(名)	0	0					0
	平成28年度受験者数(名)	2	2					4

(浜松市2)

選考名称	発達支援推進教員選考	新規・継続	継続					
対象となる校種・教科	全校種・全教科	特別免許状の活用	無					
募集人員	一般採用見込み数に含める	年齢制限	基本的年齢制限と同じ					
	(具体的に)		満	59	歳以下			
資格要件	特別支援学校教諭普通免許状を取得又は取得見込みの者 特別支援教育担当者としての経験がある者							
資格要件の確認方法	受験者の自己申告							
選考方法・試験内容	1次選考時に特別面接を行う。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	10	3					13
	平成27年度採用者数(名)	6	0					6
	平成28年度受験者数(名)	9	4					13

(京都市)

選考名称	フロンティア特別選考 英語ネイティブコース		新規・継続		本年度新規				
対象となる校種・教科	中学校、高等学校 英語		特別免許状の活用		有				
募集人員	若干名		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	44	歳以下		
資格要件	一般選考の資格要件に以下の1.~4.の受験資格を追加 1. 英語を第一言語とする 2. 大学卒業(学士号取得)以上 3. 平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間で、国公立学校での勤務歴が通算3年以上ある者、又は外国語としての英語指導法に関する課程(TESOL、CELTA)を修了又は平成28年3月31日までに取得見込みである者 4. 教員の職務を行う上で必要とされる日本語能力を有する者 ※1.~4.に加え、特別免許状の授与条件を満たしている者は、普通免許状を所有しない者及び取得見込みのない者も受験可能。								
資格要件の確認方法	出願時に学位授与等証明書を提出。								
選考方法・試験内容	・1次試験 一般教職教養試験・専門筆記試験に替えて論文試験を実施 ・2次試験 一般と同様 ただし、論文試験は英語記述可								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								—
	平成26年度採用者数(名)								—
	平成27年度受験者数(名)								—
	平成27年度採用者数(名)								—
平成28年度受験者数(名)			1	1					2

(大阪市)

選考名称	大学推薦特別選考特例		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	中学校(数学、理科、技術)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	45	歳以下		
資格要件	中学校(数学・理科・技術)の教諭1種(専修)普通免許状取得のための課程認定を受けている大学(大学院)から推薦を受けた人。								
資格要件の確認方法	推薦書・成績証明書								
選考方法・試験内容	推薦書、成績証明書、小論文で判定する								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			32					32
	平成26年度採用者数(名)			12					12
	平成27年度受験者数(名)			13					13
	平成27年度採用者数(名)			6					6
平成28年度受験者数(名)			20					20	

(堺市1)

選考名称	大学等推薦者対象の選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校・特別支援学校小学部、中学校・特別支援学校中学部(国語、数学、理科、美術、技術、保健体育)		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	(1)堺市立学校教員を第1志望とし、平成28年度の採用を希望する者 (2)学業成績が優秀であるとともに、堺市の教員として優れた実践力を発揮することが期待できる者 (3)昭和31年4月2日以降に出生した者 (4)平成28年3月31日までに、上記1で定める大学等を卒業見込み若しくは修了見込みであり、 ≪出願に必要な免許状≫を現に有する者又は平成28年4月1日までに確実に取得できる見込みの者 (5)中学校・特別支援学校中学部(保健体育)においては、柔道、剣道、相撲及びなぎなたのいずれかにおいて3段以上の段位を有する者 (6)地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者								
資格要件の確認方法	大学を通じて提出された推薦書、レポート、成績証明書等より資格要件について確認。選考試験合格後、卒業証明書や免許状の写し等を提出。								
選考方法・試験内容	専門教養、面接(集団討論、個人面接)、実技(美術、保健体育のみ)								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			24					24
	平成26年度採用者数(名)			15					15
	平成27年度受験者数(名)			50					50
	平成27年度採用者数(名)			21					21
			39	38					77

(北九州市)

選考名称	教職大学院修了者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種・全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	59	歳以下		
資格要件	学校教育法の規定に基づく教職大学院を修了した者、又は受験日の属する年度内に修了予定の者								
資格要件の確認方法	志願書提出時に提出させる教職大学院修了証明書(修了予定者は修了見込み証明書)にて確認								
選考方法・試験内容									
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		1	0		0	0	0	1
	平成26年度採用者数(名)		0	0		0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)		2	2		0	0	0	4
	平成27年度採用者数(名)		0	0		0	0	0	0
			3	0		0	0	0	3

(福岡市)

選考名称	教職大学院修了者特別選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	全校種、全教科		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と同じ				
	(具体的に)				満	40	歳以下		
資格要件	区分A:学校教育法の規定に基づく教職大学院を修了した人又は平成28年3月31日までに修了見込みの人 区分B:学校教育法の規定に基づく教職大学院を平成28年4月1日から平成29年3月31日までに修了見込みの人								
資格要件の確認方法	教職大学院における研究実績をまとめたものを提出(志願書提出時) 教職大学院修了(見込み)証明書の提出(第2次試験合格者のみ)								
選考方法・試験内容	選考方法:第1次試験前に書類選考を行う。第1次合格者の選考は一般選考と別枠で行う。 試験内容:第1次試験は、一般教養と論文。第2次試験は一般選考と同じ。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		3	2	0	1	0	0	6
	平成26年度採用者数(名)		0	0	0	1	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)		2	1	0	0	0	0	3
	平成27年度採用者数(名)		0	0	0	0	0	0	0
平成28年度受験者数(名)		4	4	0	1	0	1	10	

(豊能地区)

選考名称	大学等推薦者対象の選考		新規・継続		継続				
対象となる校種・教科	小学校		特別免許状の活用		無				
募集人員	一般採用見込み数に含める		年齢制限		基本的年齢制限と異なる				
	(具体的に)				満	50	歳以下		
資格要件	小学校の教諭一種(専修)普通免許状取得の課程認定を受けている大学、大学院又は教職大学院在籍者のうち、推薦要件を満たす者で、学長等が推薦する者。								
資格要件の確認方法	大学等からの推薦書等により確認								
選考方法・試験内容	第1次選考テスト 面接、第2次選考テスト 面接、筆答、実技								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)								0
	平成26年度採用者数(名)								0
	平成27年度受験者数(名)		53						53
	平成27年度採用者数(名)		26						26
平成28年度受験者数(名)		50						50	